

鉄骨構造標準図

1 一般共通事項

本標準図は鉄骨の工場加工、及び鉄骨の現場施工に適用する。
社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度結果及びその他の結果を添付する

2 工作一般

- (1) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- (2) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (3) 高張力鋼のひずみ矯正は、冷間矯正とする

3 高力ボルト接合

- (1) 本締めするボルトと、仮締めボルトを併用してはならない
- (2) ボルト穴径、締結距離、ボルトピッチ

呼び径	ボルト穴径	最小締結距離(e)					ボルトピッチ(P)
		(1)	(2)	(3)	(2)X(3)の標準	標準	
M12	14	35	22	18	30	50	
M16	18	40	28	22	40	60	
M20	22	50	34	26	40	60	
M22	24	55	38	28	40	60	
M24	26	60	44	32	45	70	

- (注)(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の締結距離
(2) せん断・手動ガス切断の場合の締結距離
(3) 圧延鋼・自動ガス切断・のこ引き鋼・機械仕上縁の場合の締結距離

4 溶接接合

- (1) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適合する JIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

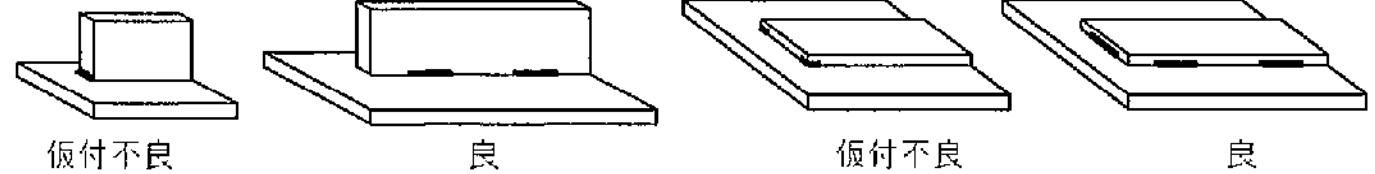
- (2) 溶接方法
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルブ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアガウジング(AAG)

- (3) 溶接姿勢
下向 F 立向 V 横向 H 上向 O

- (4) 仮付溶接
① 仮付溶接は原則として本工事に従事する者が行い、溶接の始終端、隅角部など、強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- ② 裏はつりを行う完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



- (5) エンドタブ
① 完全溶込み溶接部、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける

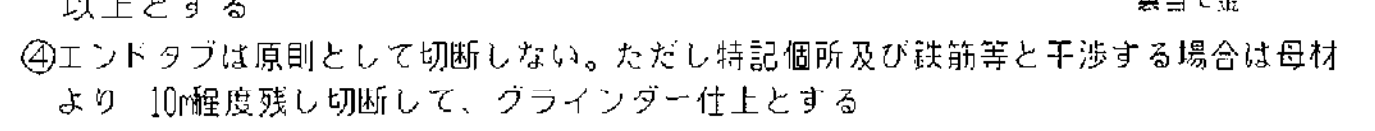
- ② エンドタブの材質は、母材と同質とする
③ エンドタブの長さは、アーク手溶接35mm、その他の溶接: 40mm以上かつ母材厚の2倍以上とする

- ④ エンドタブは原則として切断しない。ただし特記箇所及び鉄筋等と干渉する場合は母材より10mm程度残し切断して、クラインダー仕上とする

- ⑤ エンドタブは母材に溶接しない

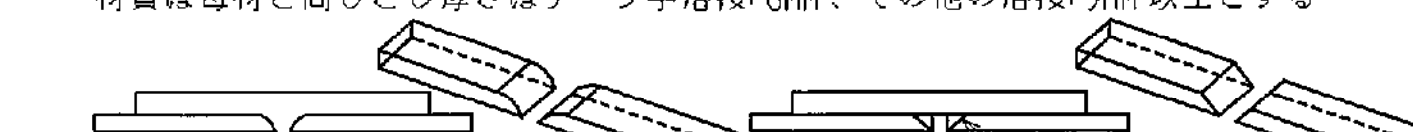
- ⑥ その他のエンドタブ使用等については、事前に工事監督者の承認を得ること

- (6) 裏当て金
材質は母材と同じとし厚さはアーク手溶接: 6mm、その他の溶接: 9mm以上とする



- (7) スカールアップ
原則としてノンスカールアップ工法とする、ただし半径30~35mmの改良型スカールアップを採用する場合は、工事監督者の承認を得るものとする

- (8) 現場溶接部の養生
現場溶接の開先面及びその周辺には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。また開先部をいためない様に、養生を行う



- ローレルH形鋼 プレート組立 小口45度カット

- 原則としてノンスカールアップ工法とする、ただし半径30~35mmの改良型スカールアップを採用する場合は、工事監督者の承認を得るものとする

- (8) 現場溶接部の養生
現場溶接の開先面及びその周辺には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。また開先部をいためない様に、養生を行う

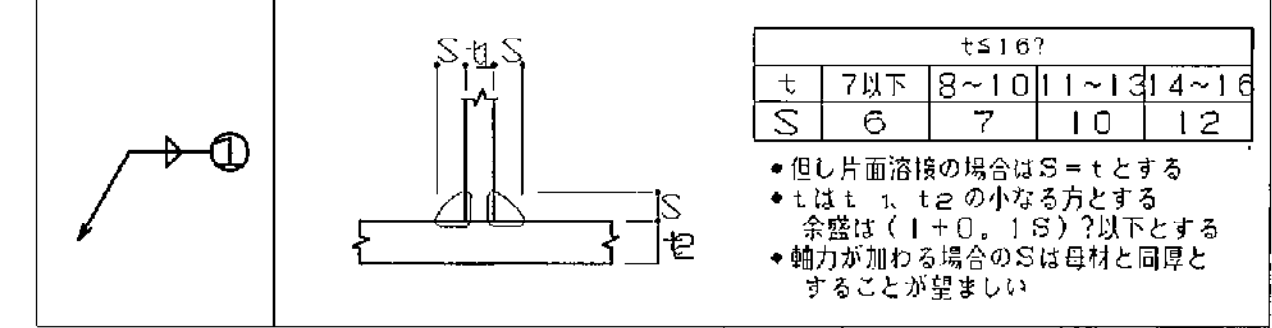
5 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分及び摩擦接合部、現場溶接部(検査に支障の出ない程度)は、塗装をしない

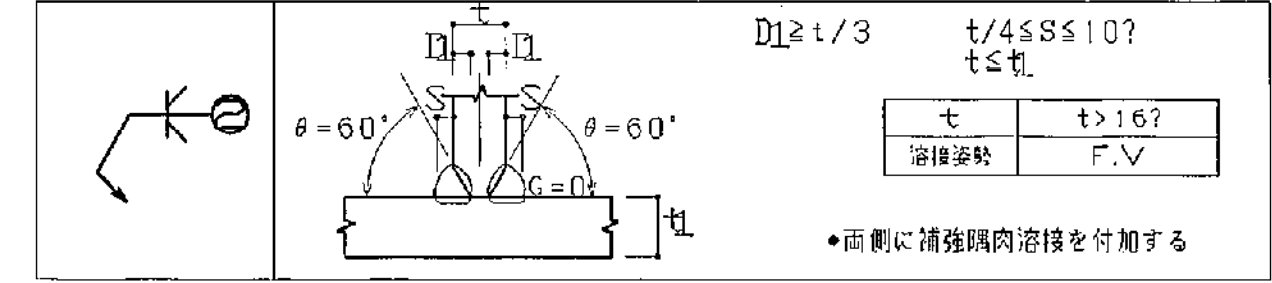
6 溶接標準図

(注) f: 余高 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

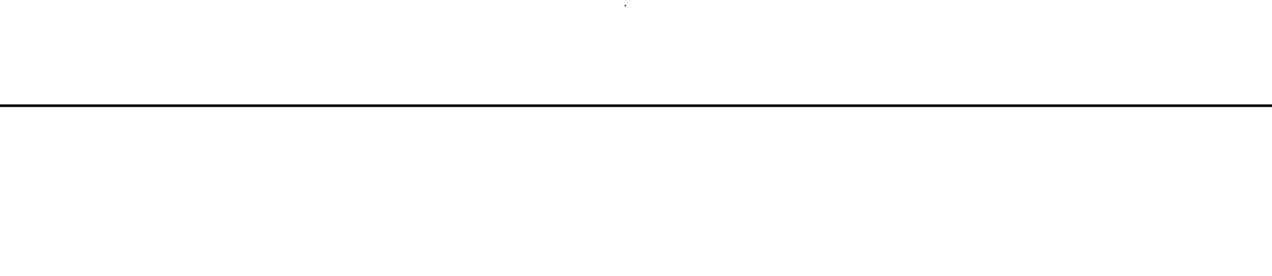
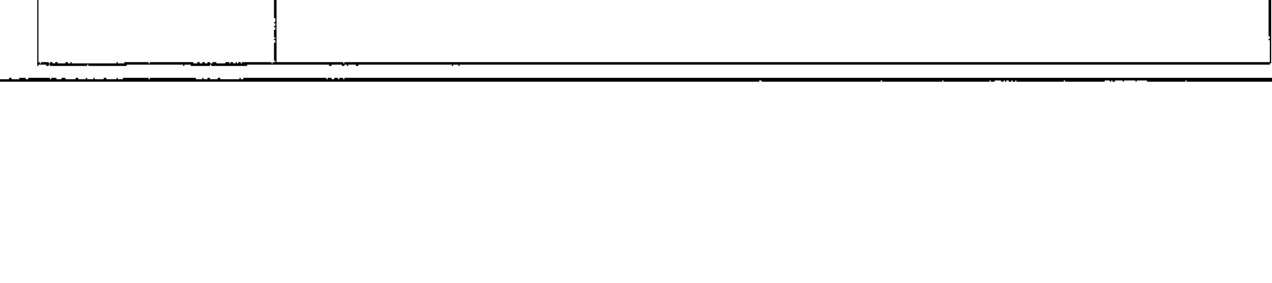
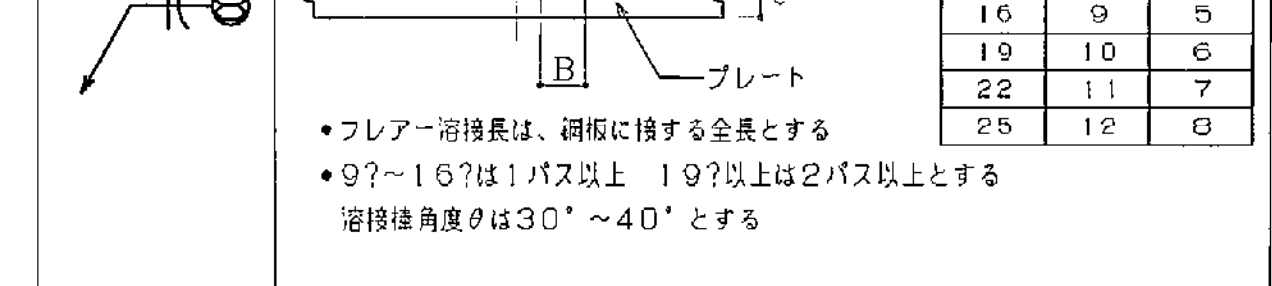
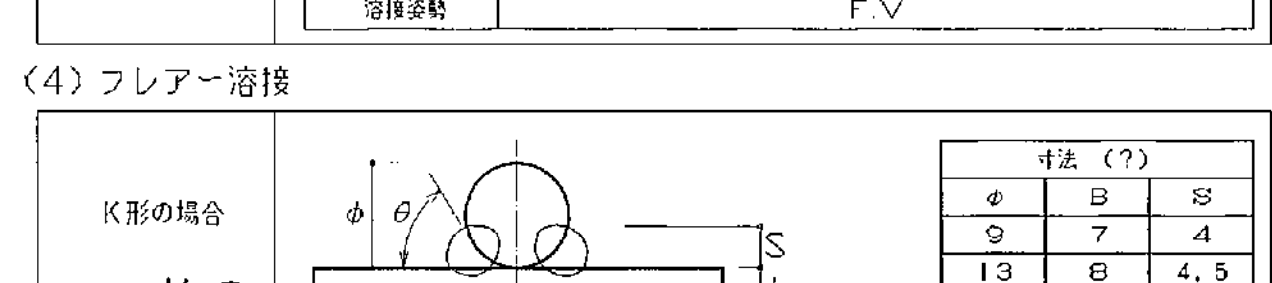
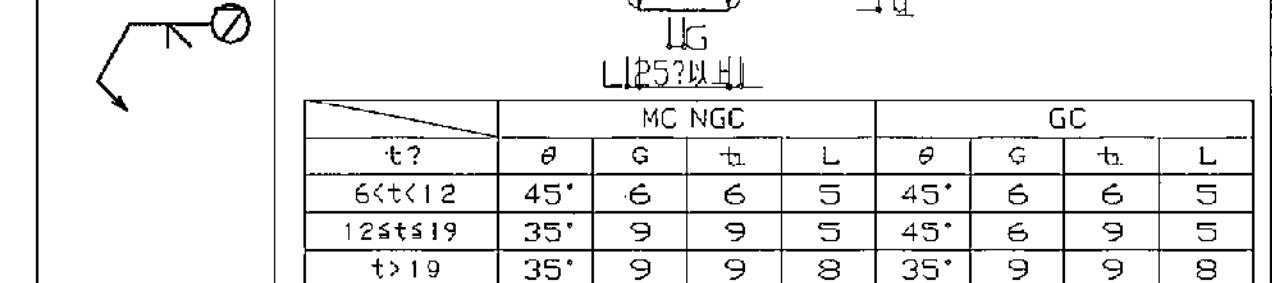
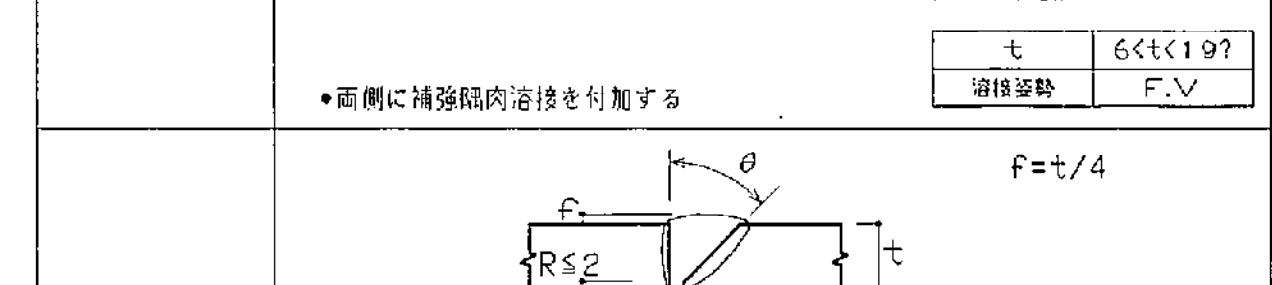
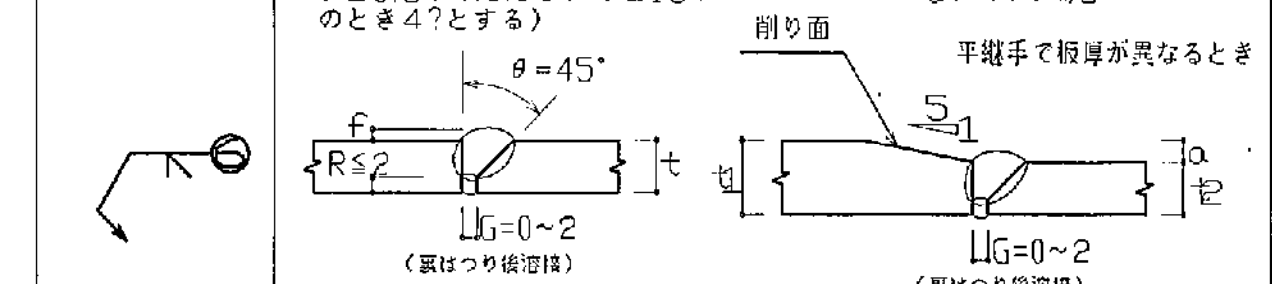
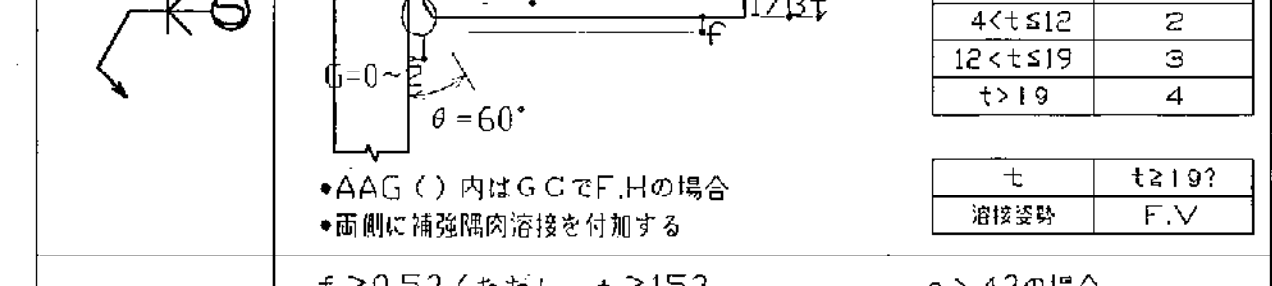
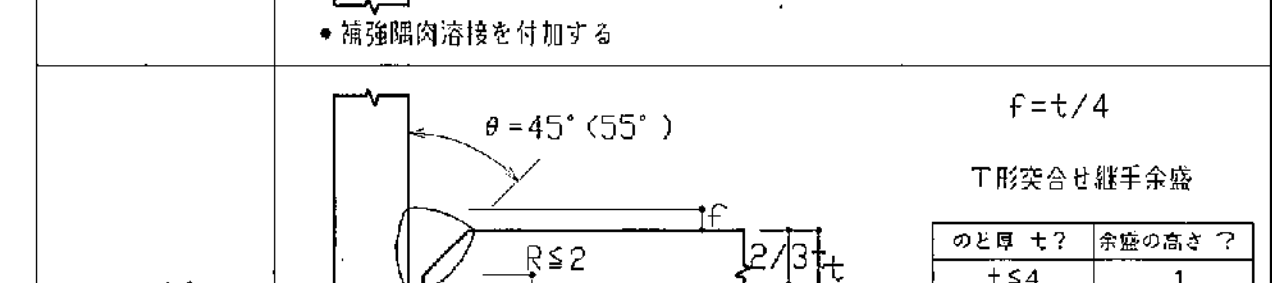
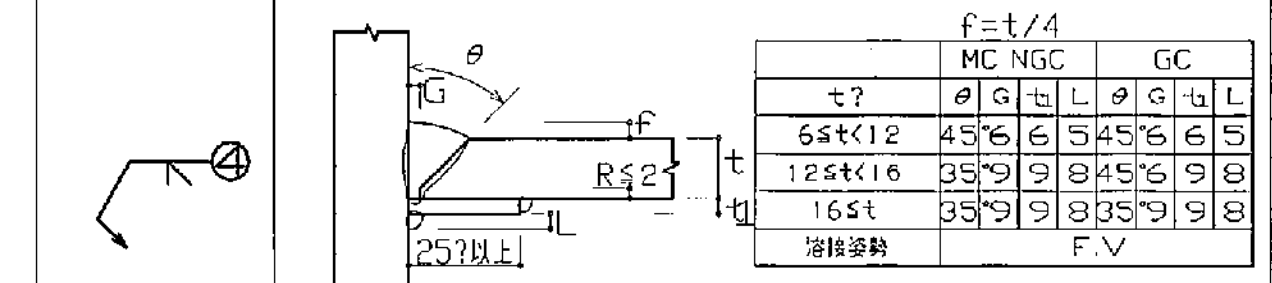
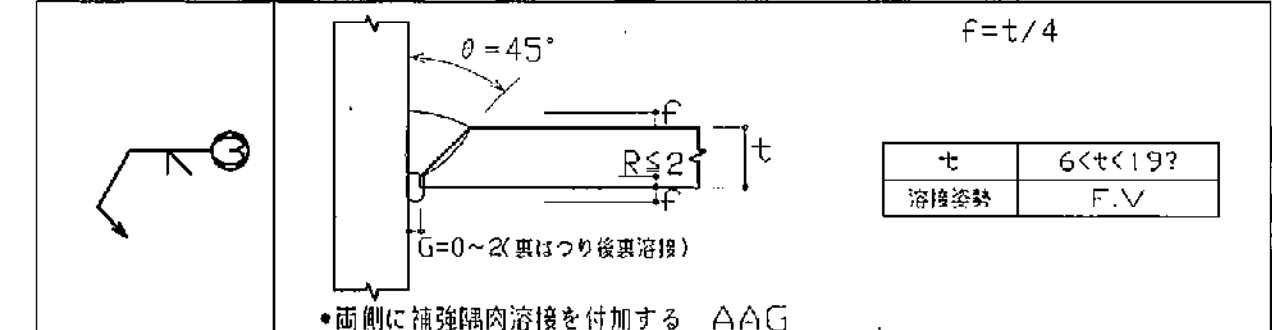
(1) 隅肉溶接



(2) 部分溶け込み溶接(使用箇所注意)



(3) 完全溶け込み溶接(平継手 T形継手)

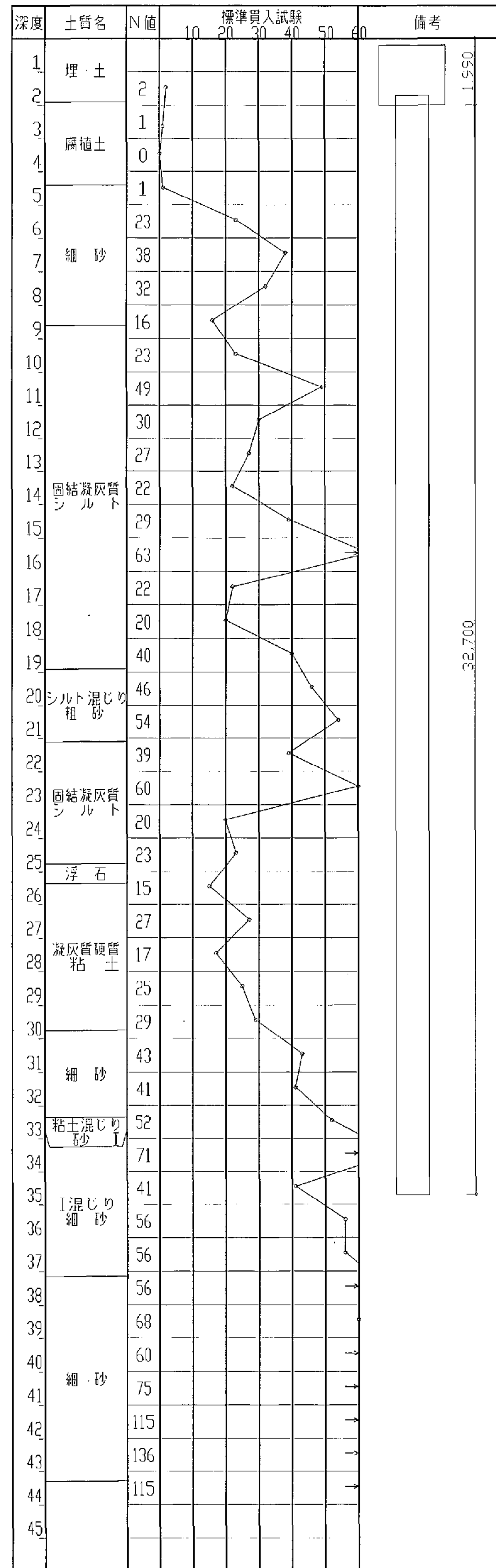


7 鉄筋ブレース

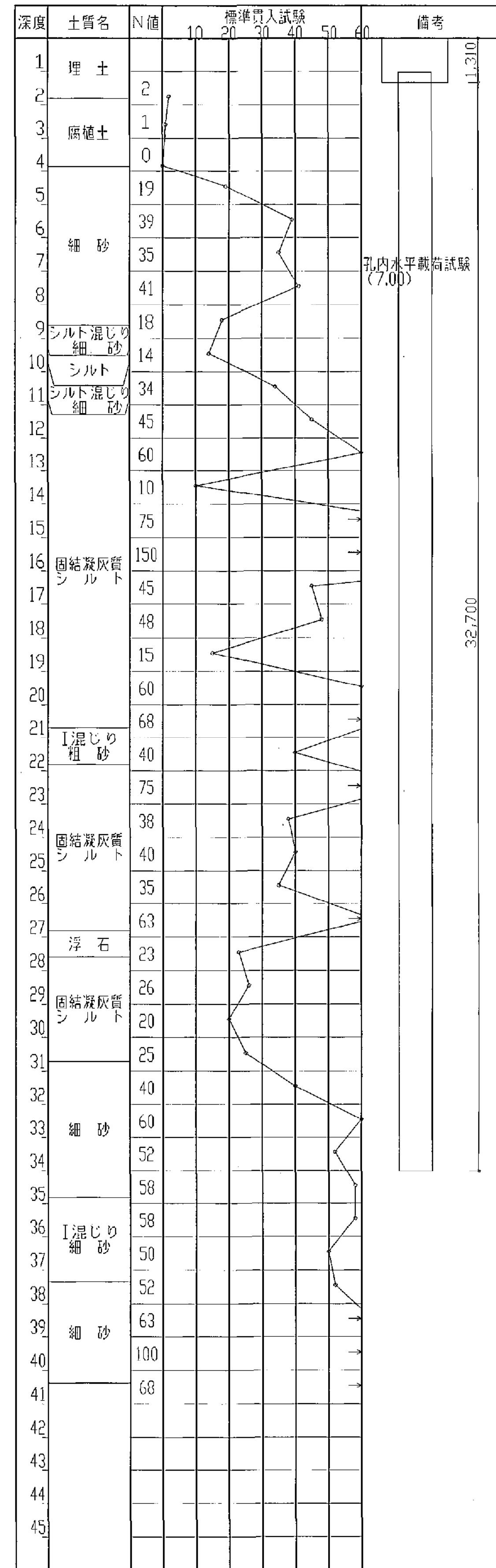
JISマーク表示品の建築用ターンバックルを使用する

ねじの呼び (d)		M12	M16	M20	M22	M24
軸径 d1	最 大	10.81	14.65	18.33	20.33	21.99
	最 小	10.64	14.46	18.11	20.11	21.77
調整ネジの長さ S		100	125	150	165	175
取付ボルト穴径 R 許容差 +0.05mm		13	17	21.5	23.5	21.5
はしあき(最小) e1		35	45	50	55	50
切板製	はしあき(1) e2 最小	22	28	34	38	38
	板厚 t	4.5	6	9	9	9
平鋼製	はしあき(1) e2 最小	19	25	32.5	37.5	37.5
	板厚 t	4.5	6	9	9	9
ボルト頭から取付ボルト穴径の差(最小) e3		47	59	66	73	70
溶接長さ(最小) ℓ		40	55	75	85	85
種 類		JIS B 1186 高力ボルト KF10T 又は JIS B 1180 中ボルト				
取付ボルト(K2)	ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
	本 数	1	1	1	1	2

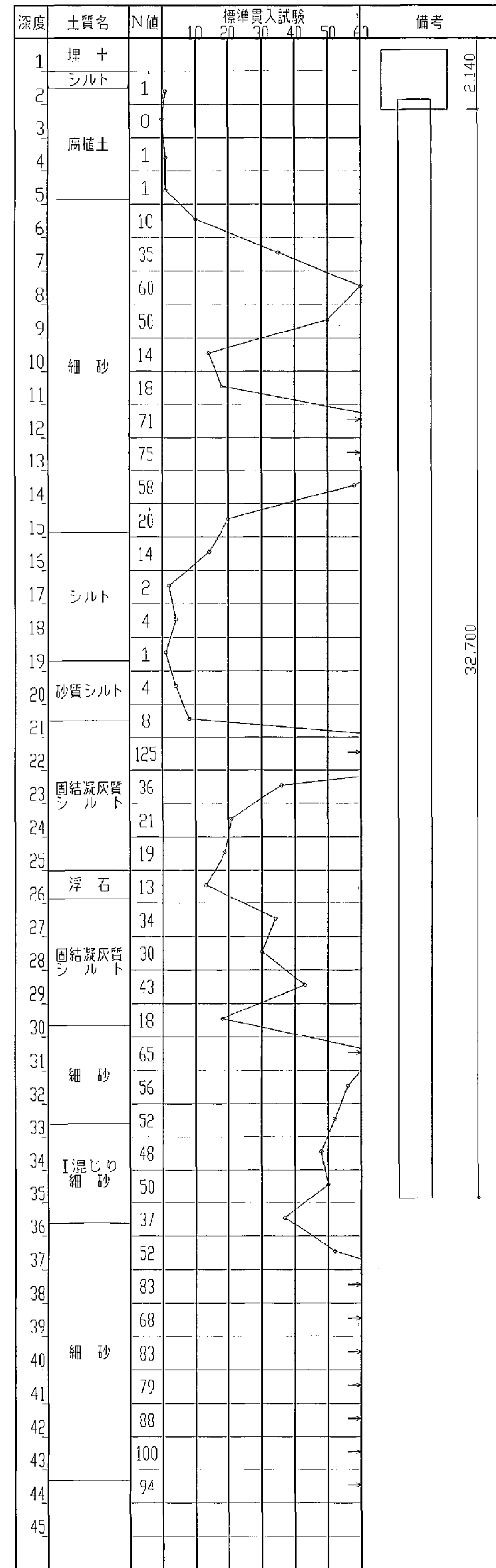
No.1 1)BGL=AGL-450
2)孔内水位 BGL-1,250



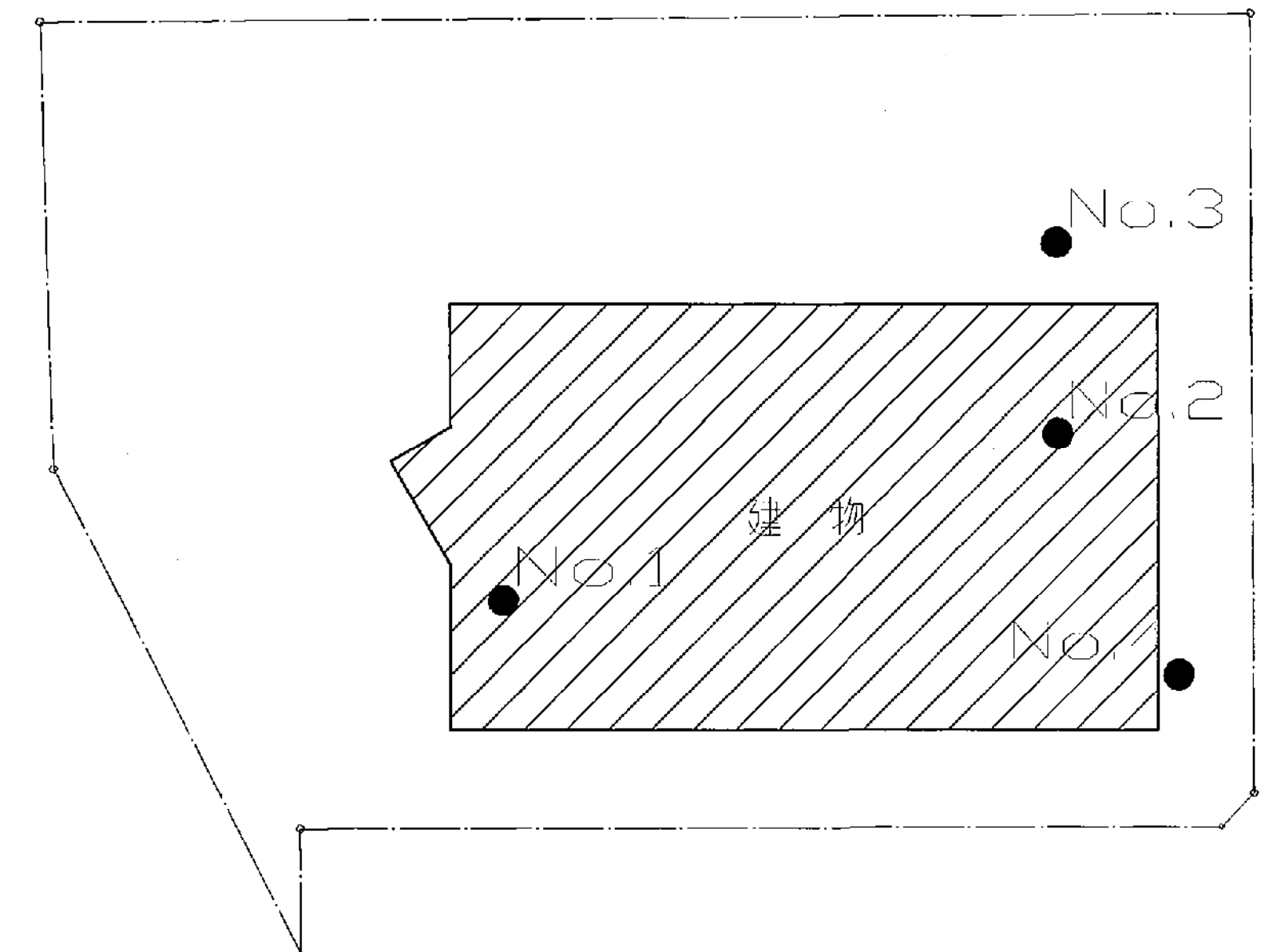
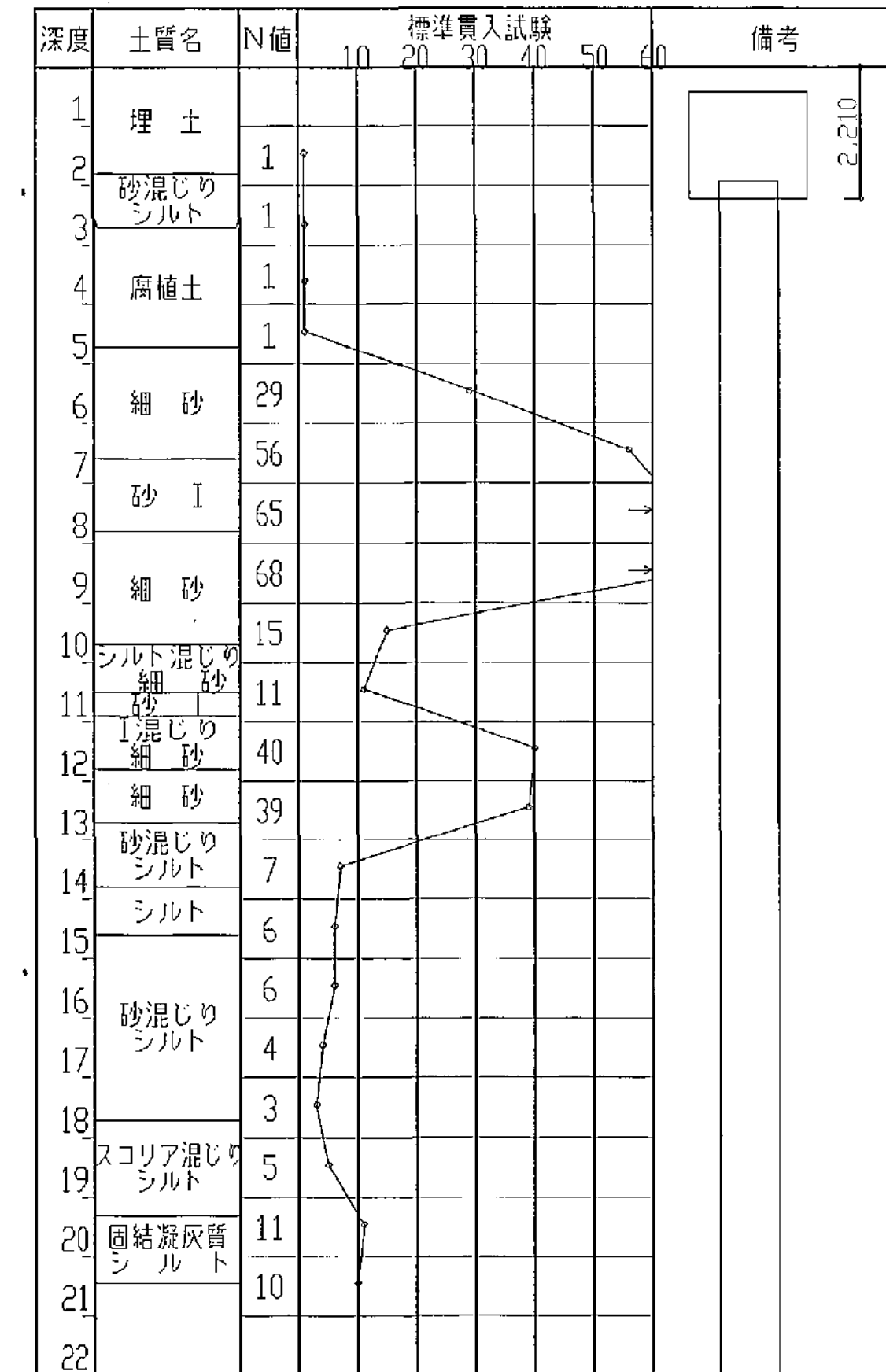
No.2 1)BGL=AGL-1,130
2)孔内水位 BGL-720

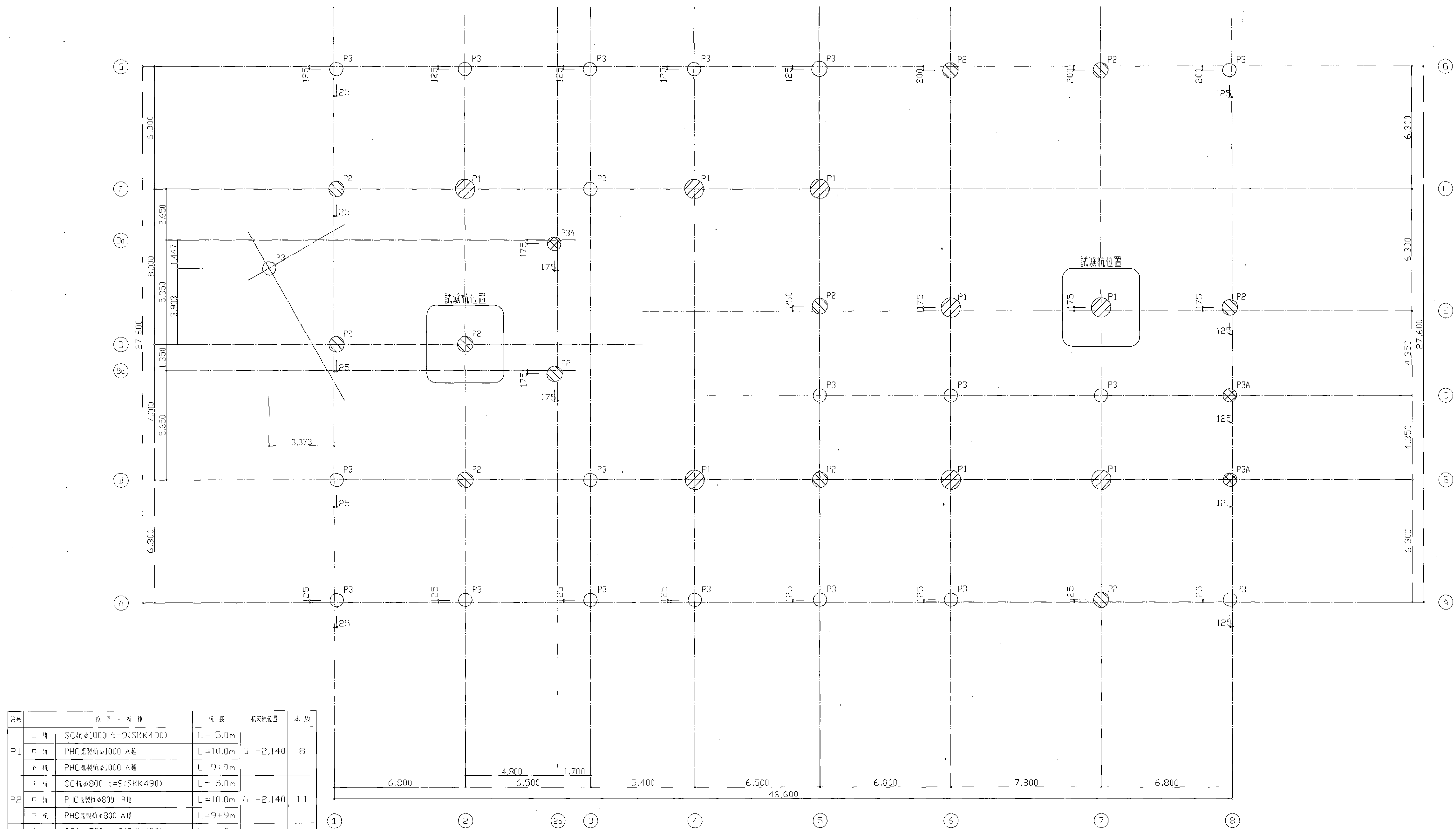


No.3 1)BGL=AGL-300
2)孔内水位 BGL-500



No.4 1)BGL=AGL-230
2)孔内水位 BGL-1,250



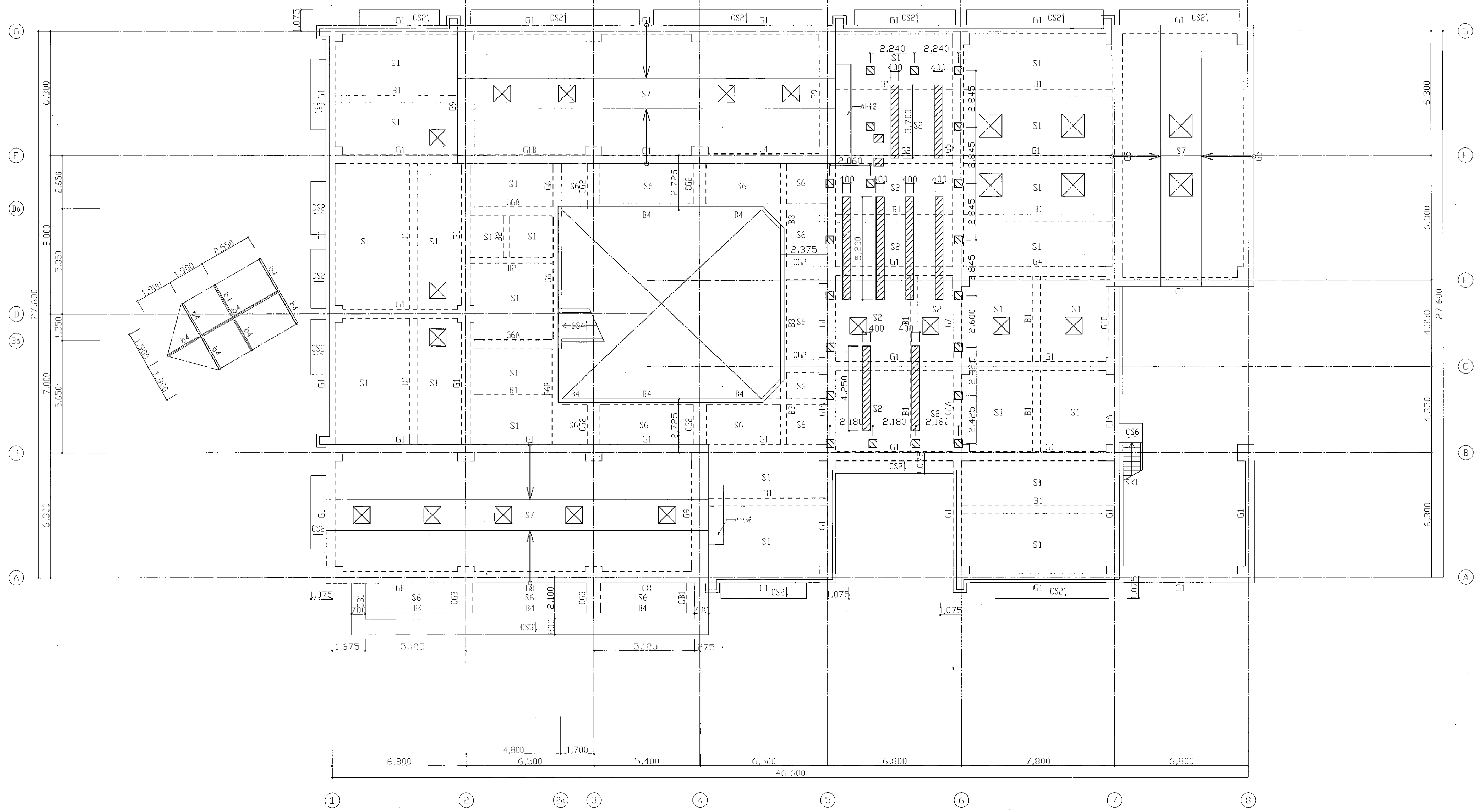


冠形	杭型・杭種	杭長	杭天端位置	本数
P1	上杭 SC杭φ1000 ㌖=9(SKK490)	L=5.0m	GL-2,140	8
	中杭 PHC既製杭φ1000 A種	L=10.0m		
	下杭 PHC既製杭φ1000 A種	L=9+9m		
P2	上杭 SC杭φ800 ㌖=9(SKK490)	L=5.0m	GL-2,140	11
	中杭 PHC既製杭φ800 B種	L=10.0m		
	下杭 PHC既製杭φ800 A種	L=9+9m		
P3	上杭 SC杭φ700 ㌖=9(SKK490)	L=5.0m	GL-2,140	20
	中杭 PHC既製杭φ700 B種	L=10.0m		
	下杭 PHC既製杭φ700 A種	L=9+9m		
P3A	上杭 SC杭φ700 ㌖=9(SKK490)	L=5.0m	GL-2,290	3
	中杭 PHC既製杭φ700 B種	L=10.0m		
	下杭 PHC既製杭φ700 A種	L=9+9m		

杭伏図 1/100

特記なきは下記による
試験杭位置は監理者と協議の上、変更も可とする。

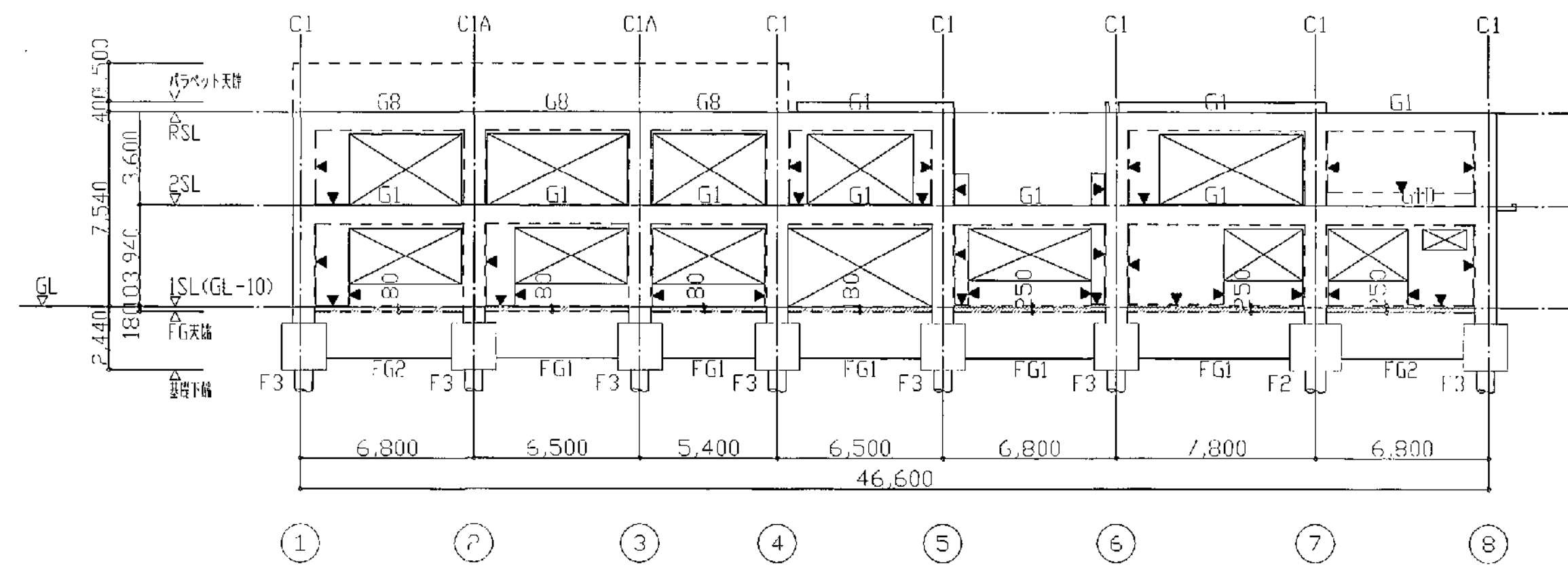
工事名 〔仮称〕西部福祉会館新築工事〔建築〕			
図面名 杭伏図	縮尺 1/100	設計年月 2008.04.07	図面番号 B-06
承認 〇〇〇〇	09-0945		
清田育男計画設計工房 Seita Yano atelier		平塚市 まちづくり事業部 建築住宅課	



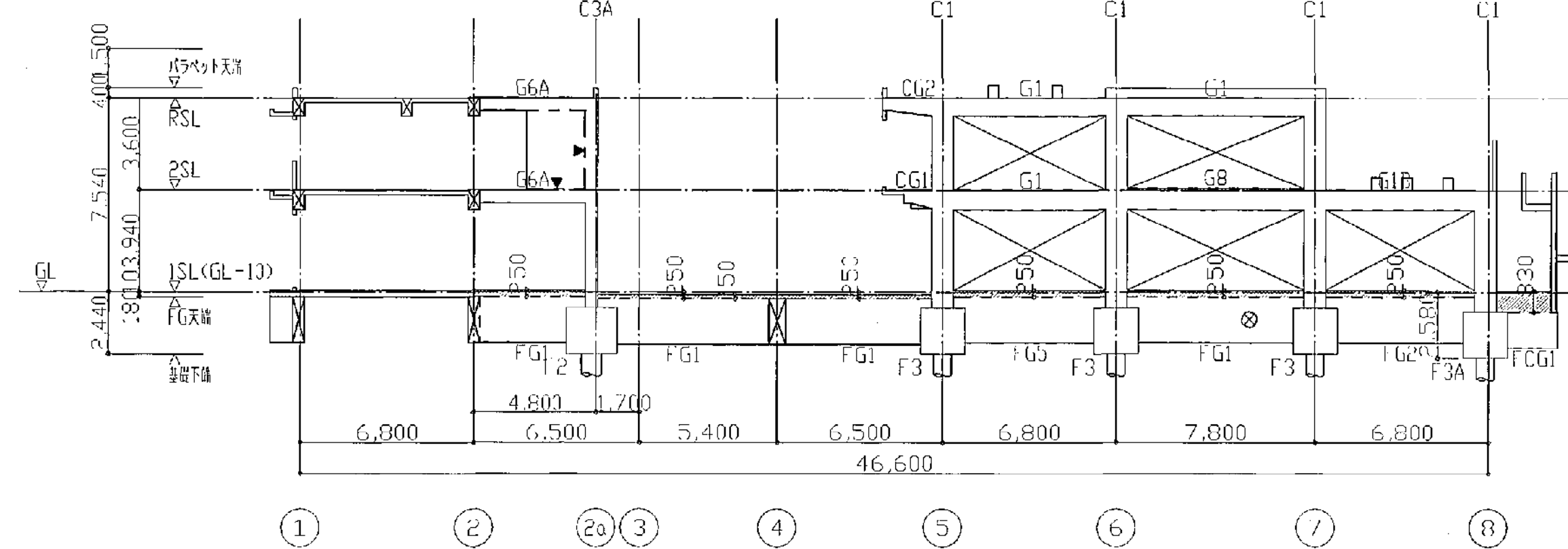
屋根伏図 1/100

特記なきは下記による
梁天輪レベルRSL±0
スラブレベルRSL±0
設備基礎(h=SL+500)
フナシ基礎
400×400,h=400

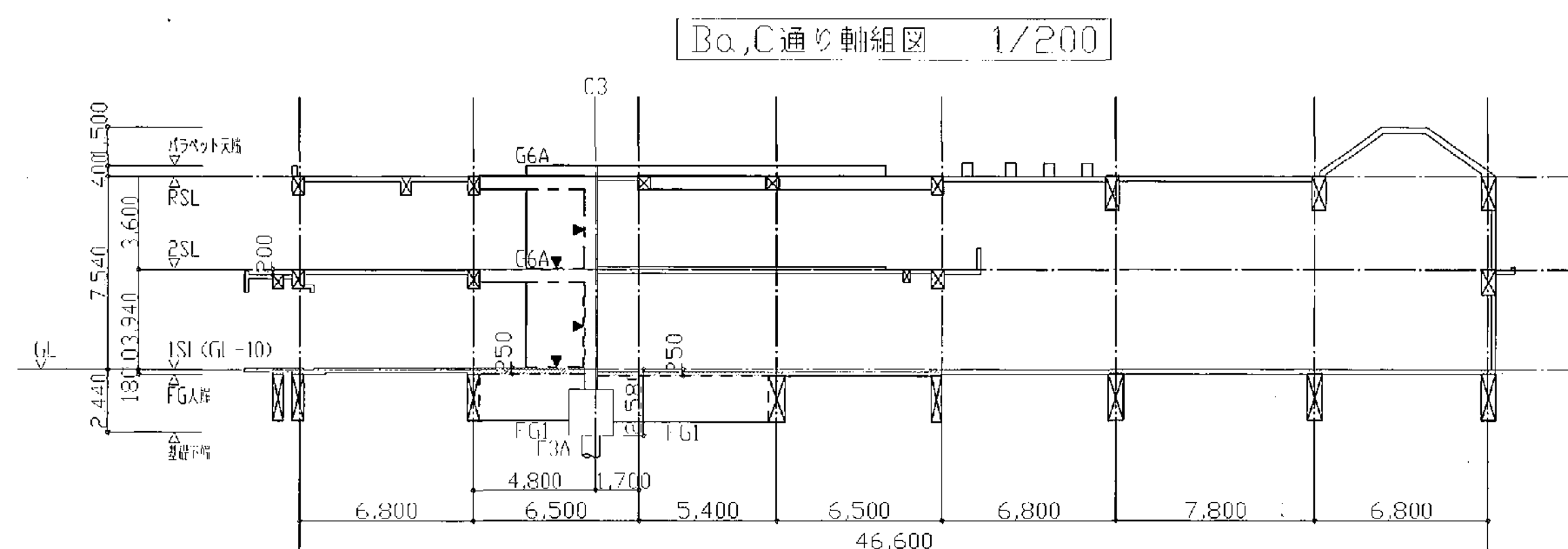
工事名	〈名称〉西部福祉会館新築工事（建築）
図面名	屋根伏図
縮尺	1/100
設計年月	2008.04.07
設計者	池田 浩二
校核者	池田 浩二
承認者	池田 浩二
図面番号	B-10
設計者	池田 浩二
校核者	池田 浩二
承認者	池田 浩二
設計者	池田 浩二
校核者	池田 浩二
承認者	池田 浩二



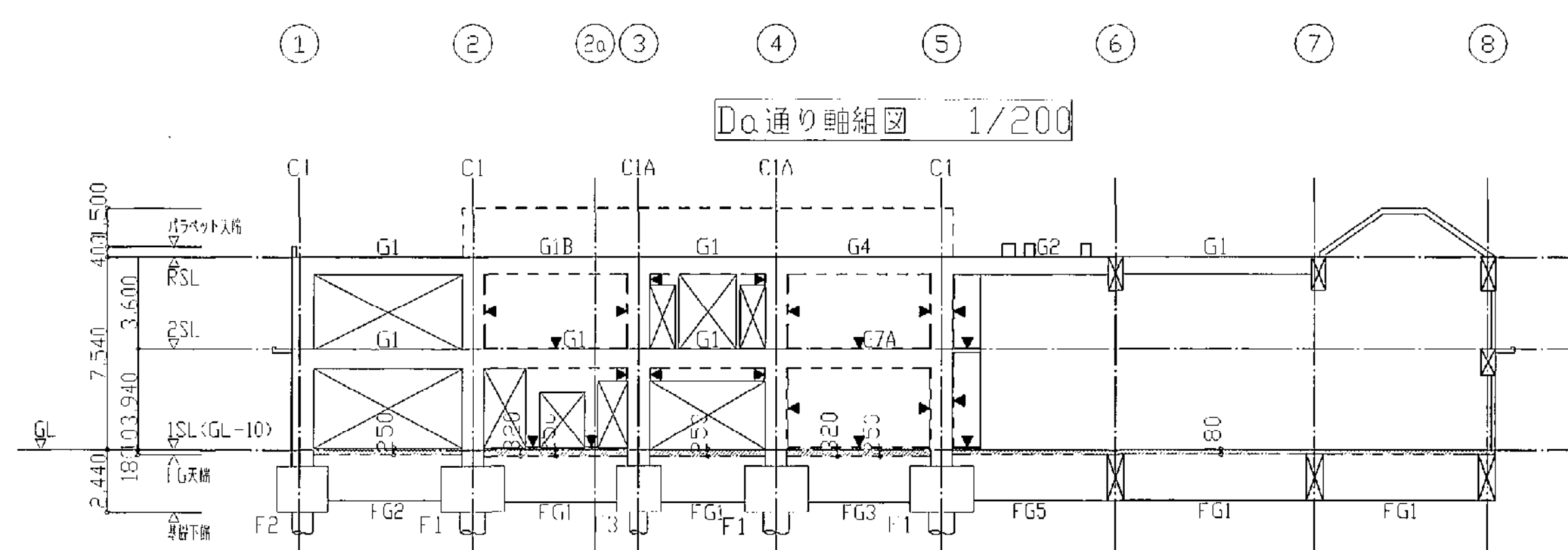
A通り軸組図 1/200



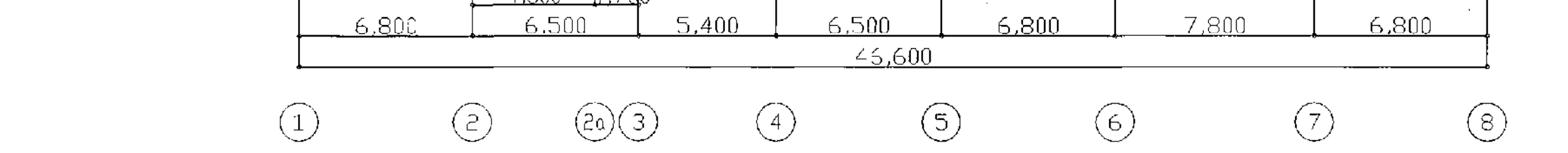
B通り軸組図 1/200



Ba,C通り軸組図 1/200



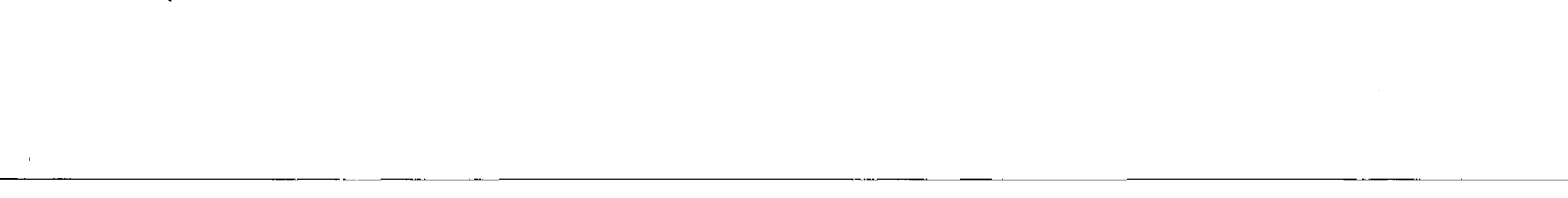
D通り軸組図 1/200



E通り軸組図 1/200



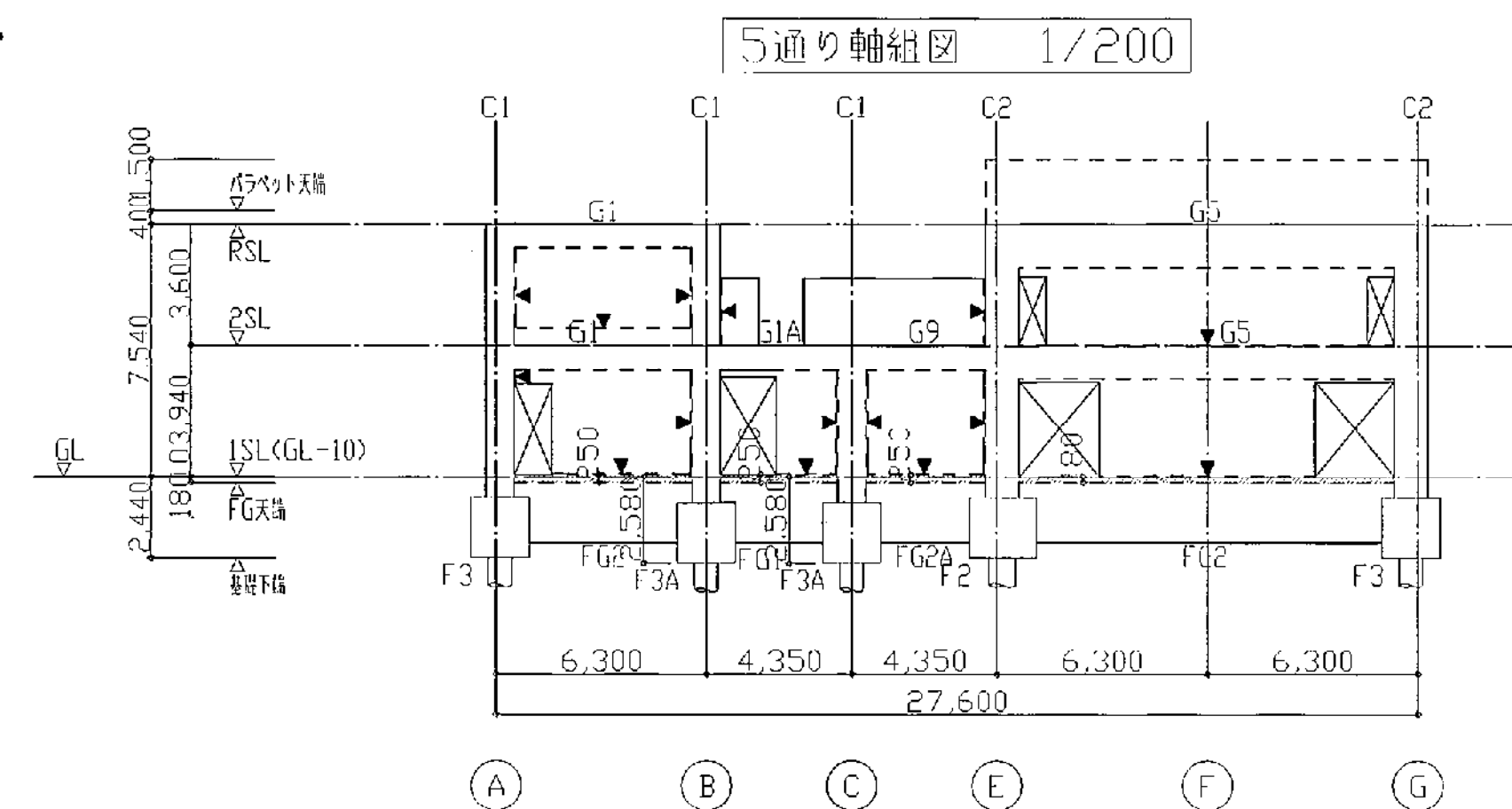
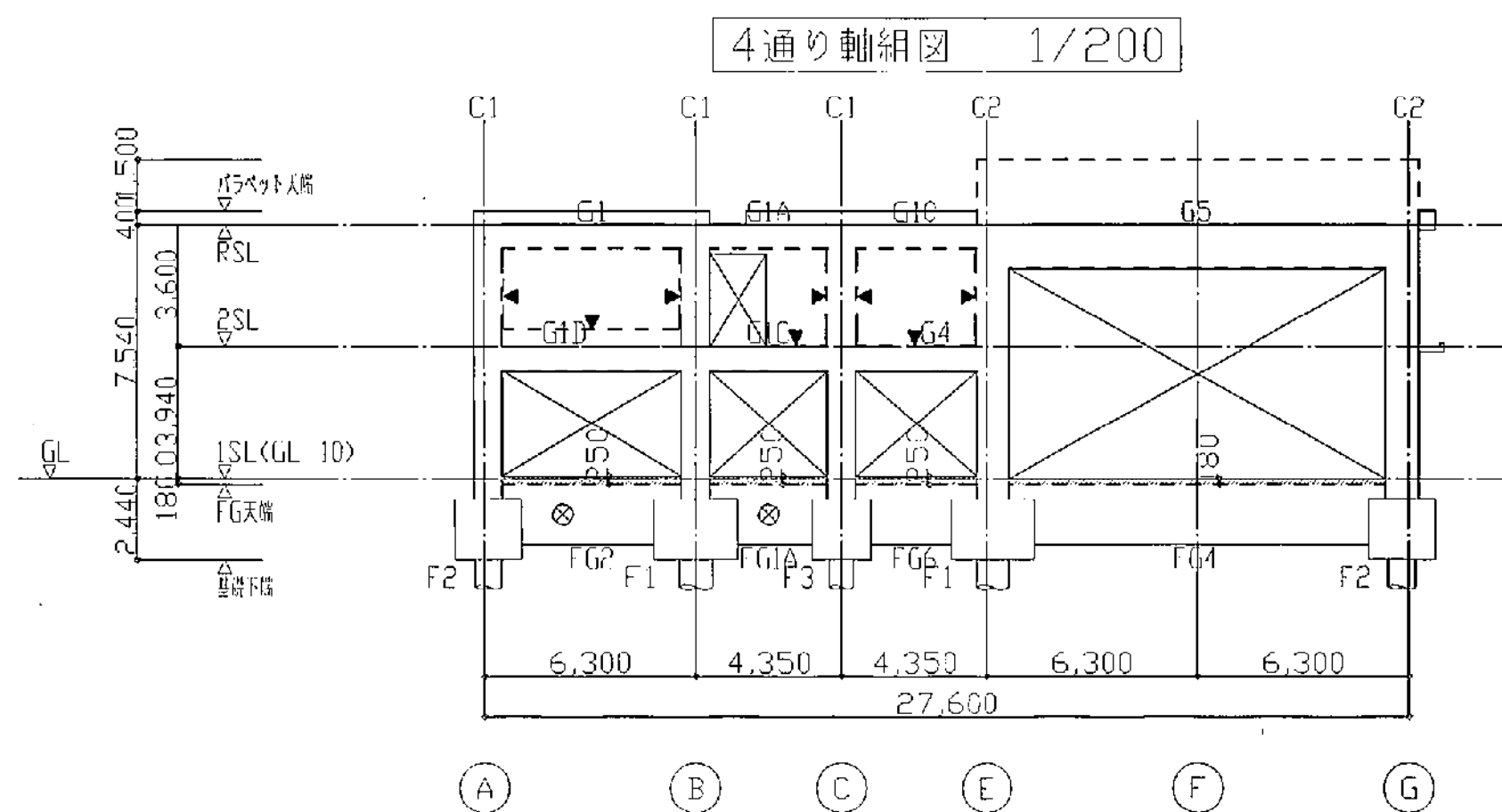
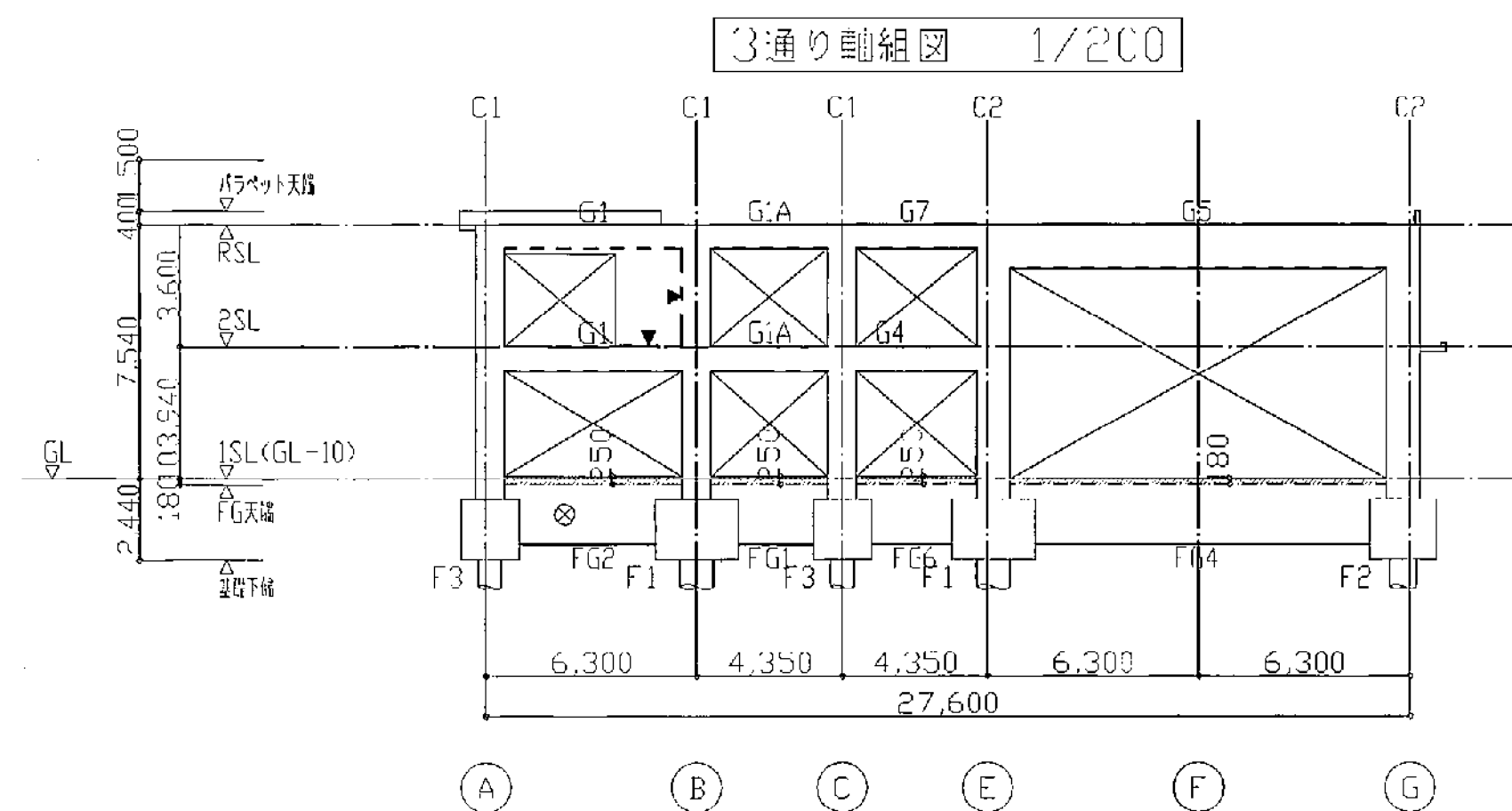
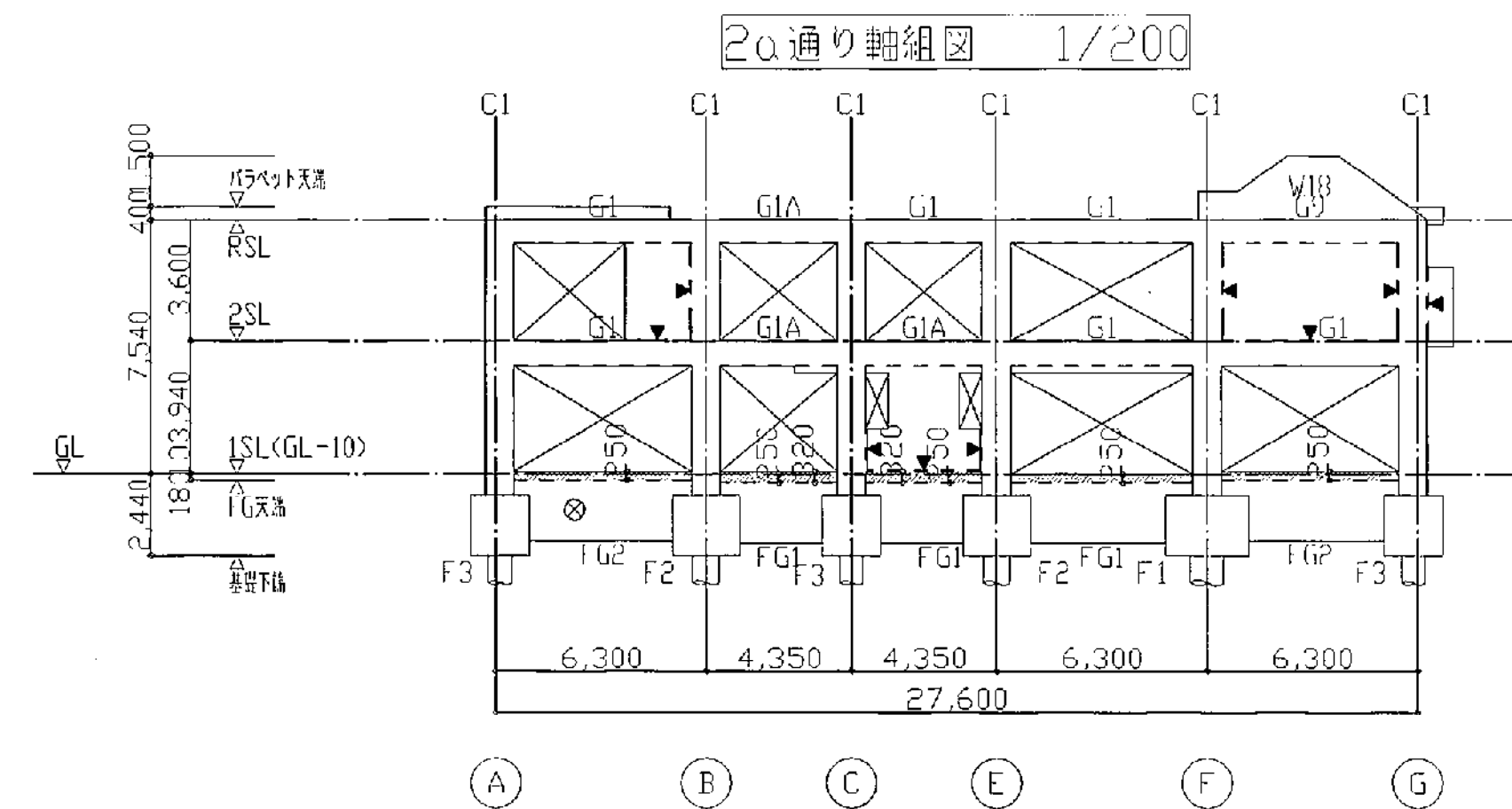
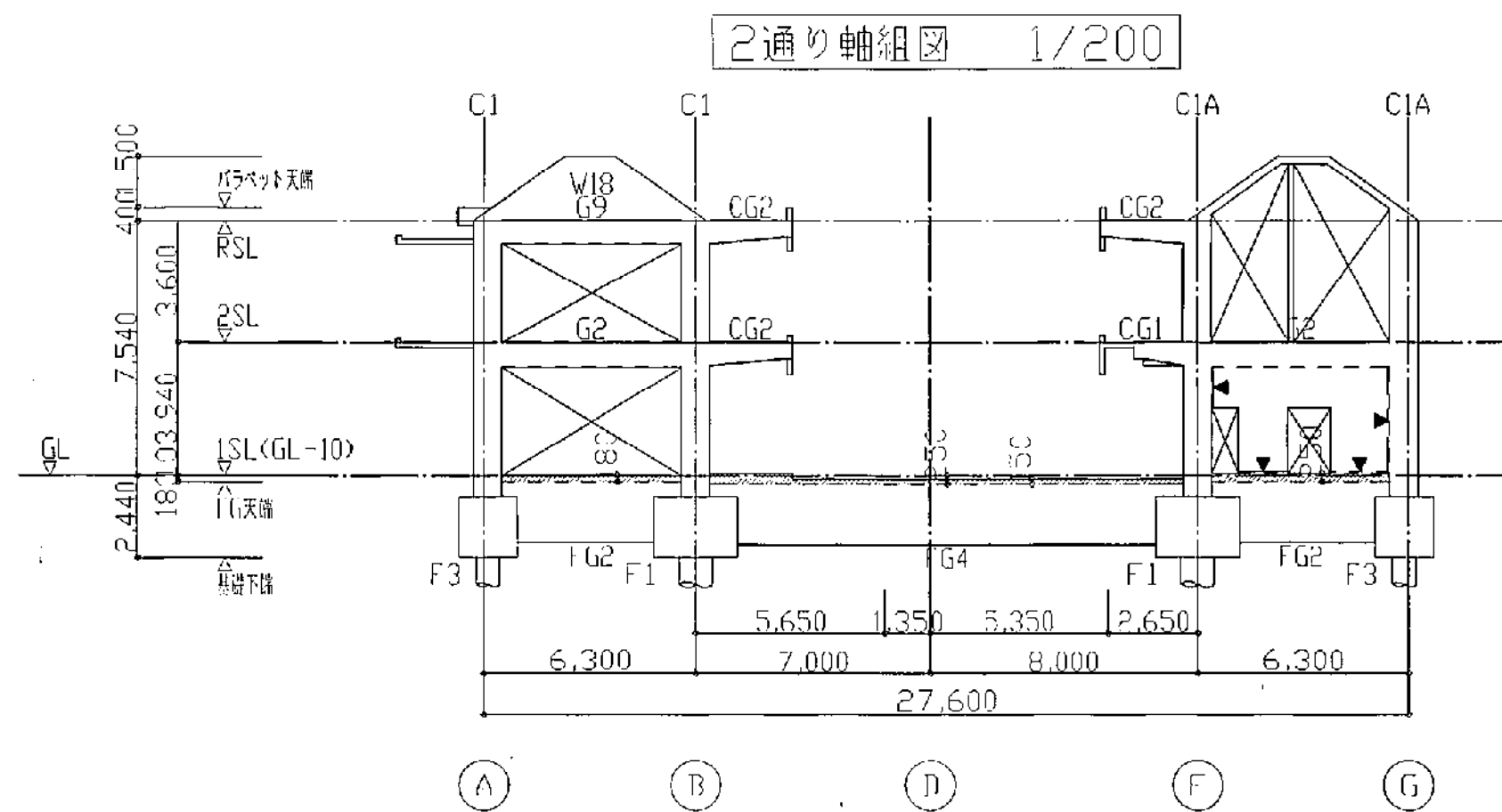
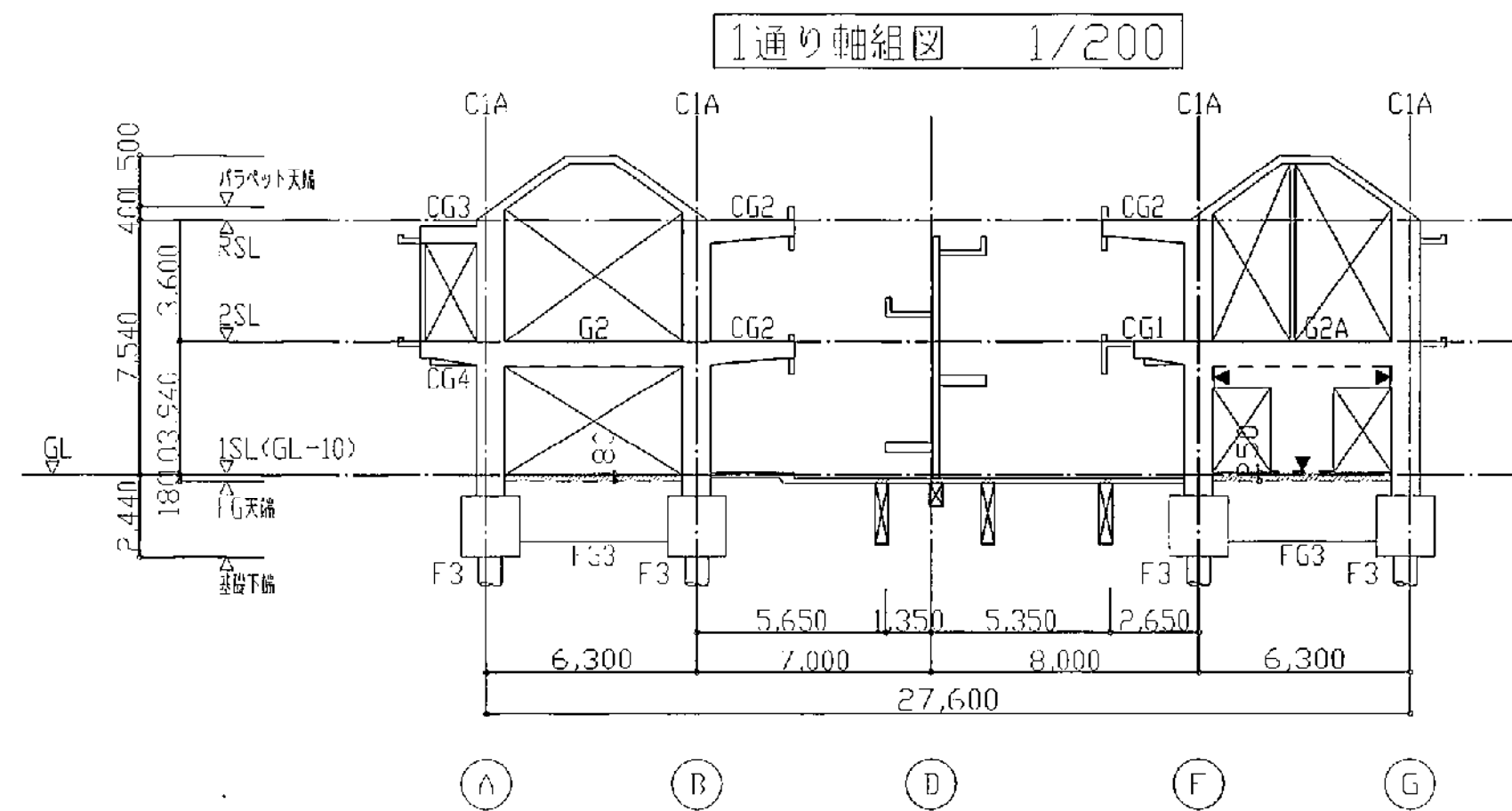
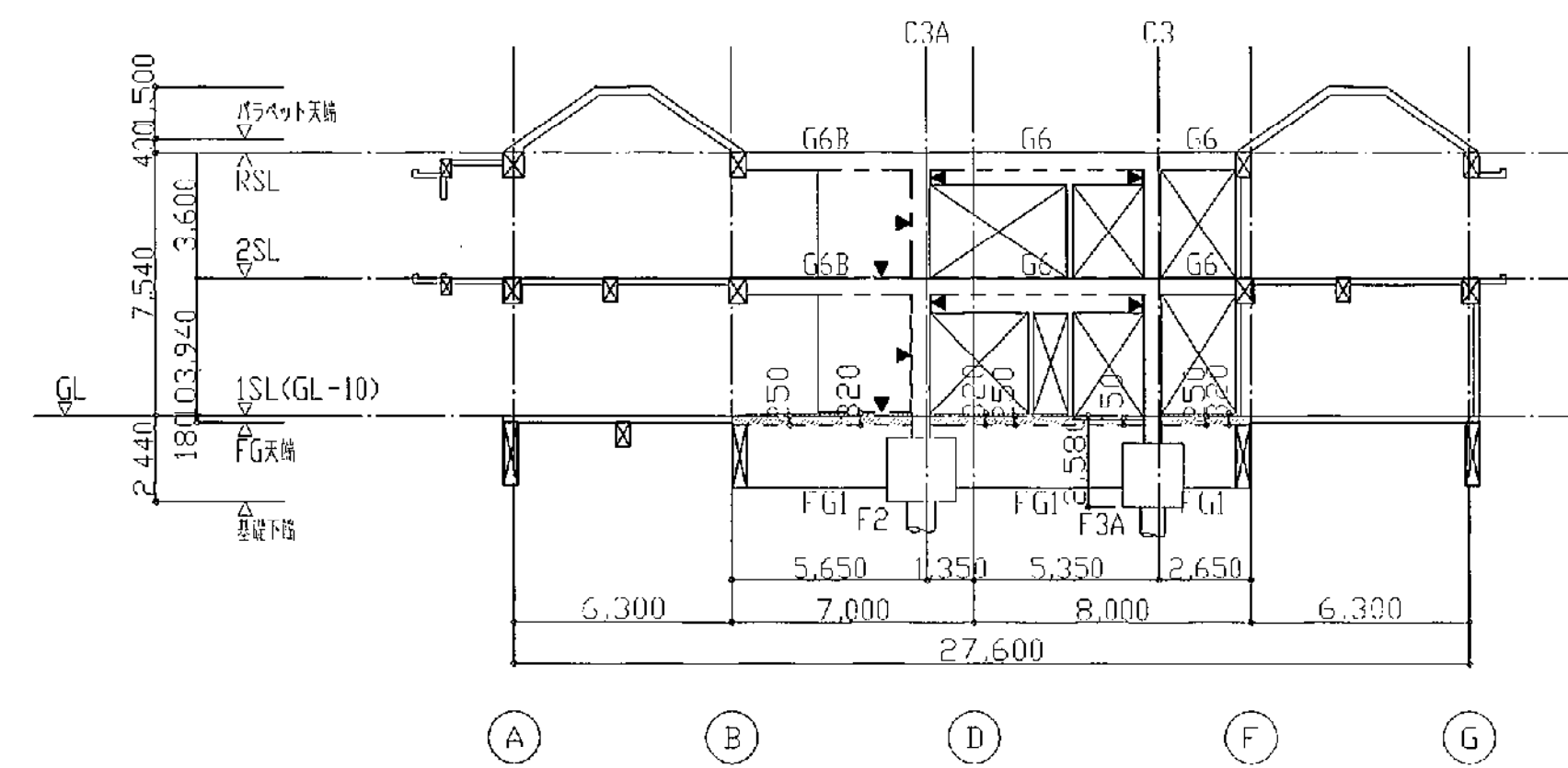
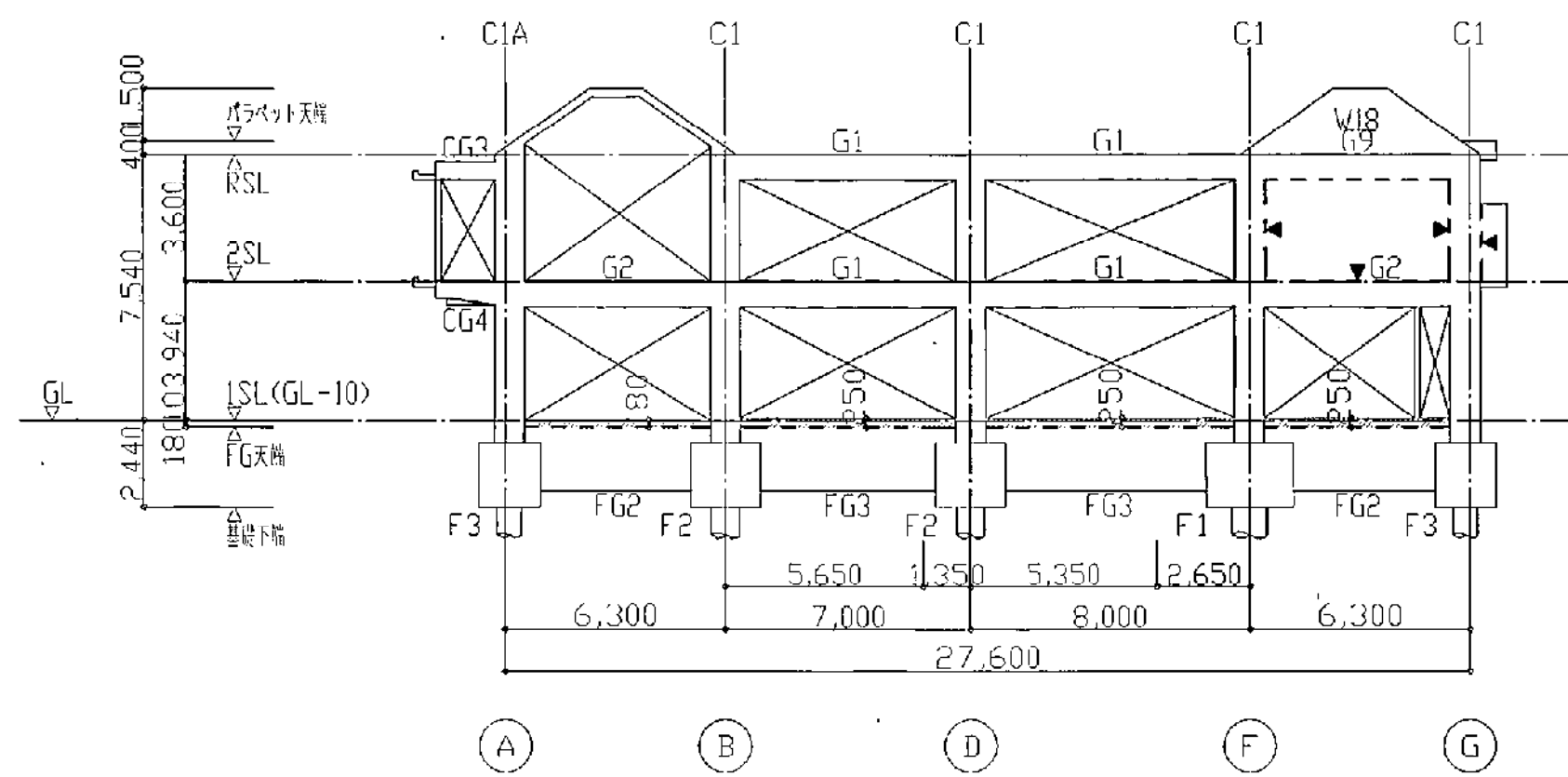
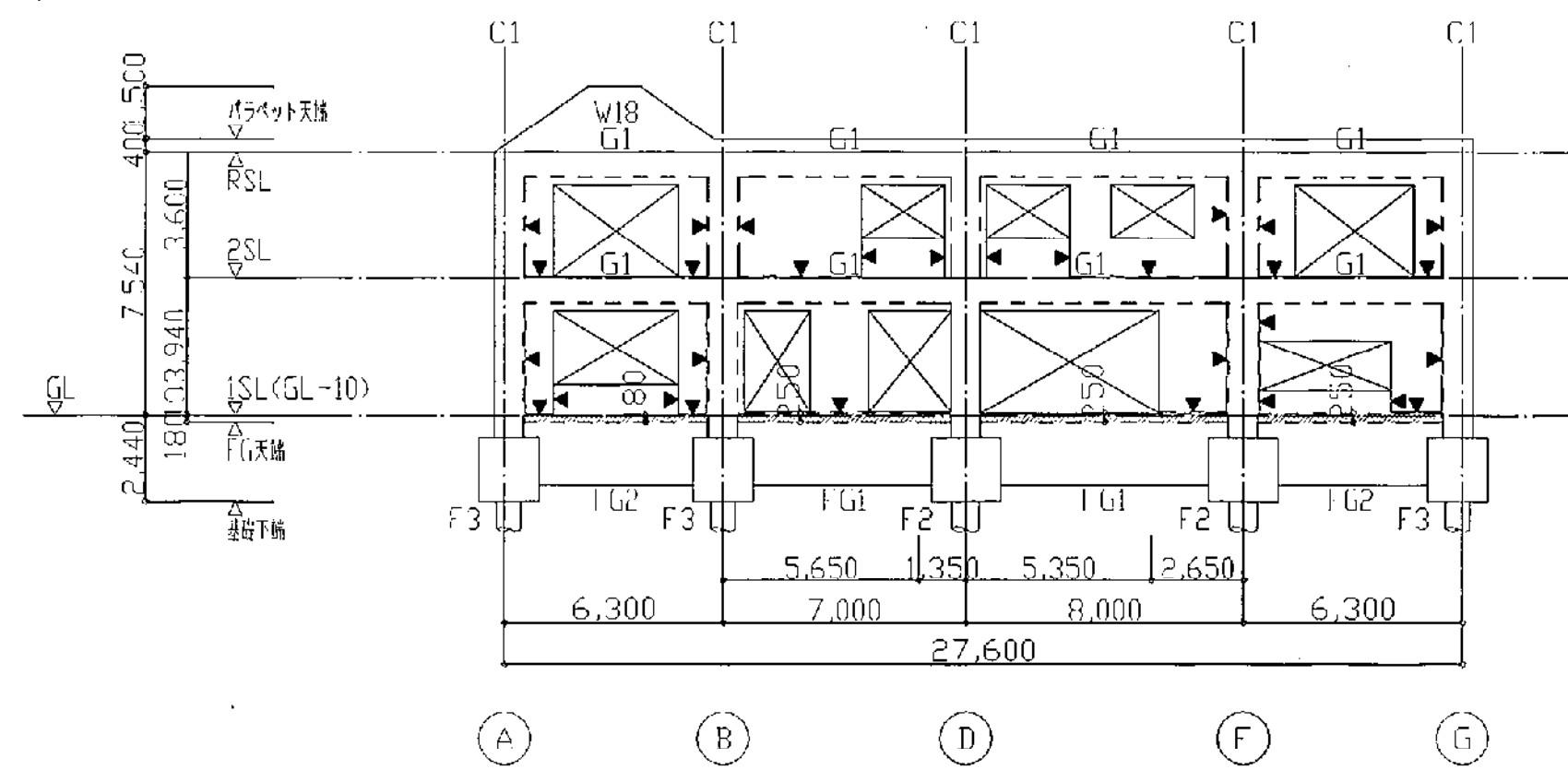
F通り軸組図 1/200



G通り軸組図 1/200

特記なきは下記による
 壁:W15
 ▼ 構造スリット (完全スリット)
 ■ コンクリート打増し
 ⊗ 人通孔:600φ
 GLとは平均GLを示す

工事名 (仮称) 西創福祉会館新築工事 (雑居)			
図面名	軸組図 (1)	縮尺	1/200
設計年月	2008.04.07	設計者	清田 勇男
図面番号	09-0950	図面番号	B-11
清田 勇男 設計 清田 勇男 監理 平塚市 まちづくり事業部 建築住宅課			



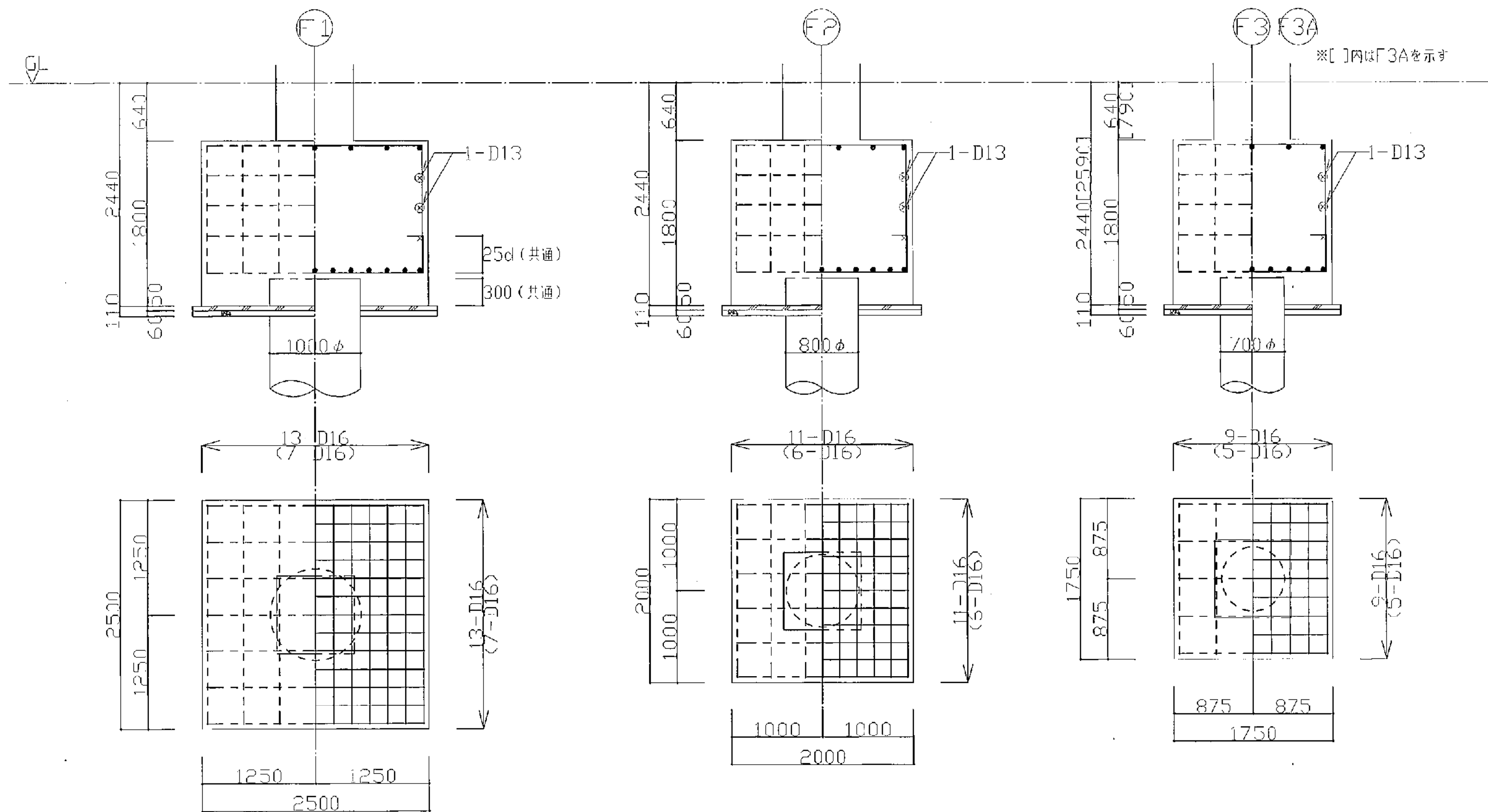
6通り軸組図 1/200

7通り軸組図 1/200

8通り軸組図 1/200

特記なきは下記による
 壁:W15
 ▼ 構造スリット (完全スリット)
 ■ コンクリート打増し
 ⊗ 入通孔: 600φ
 GLとは半角GLを示す

工事名	〈仮称〉西部福祉会館新築工事(建築)		
図面名	軸組図(2)	縮尺	1/200
設計年月	2009.04.07	図面番号	B-12
課長	担当	担当者	合 計
清田 勇男		設計者	データ入力番号
09-0951		図面番号	B-12
平塚市 まちづくり事業部 建築住宅課		建築住宅課	

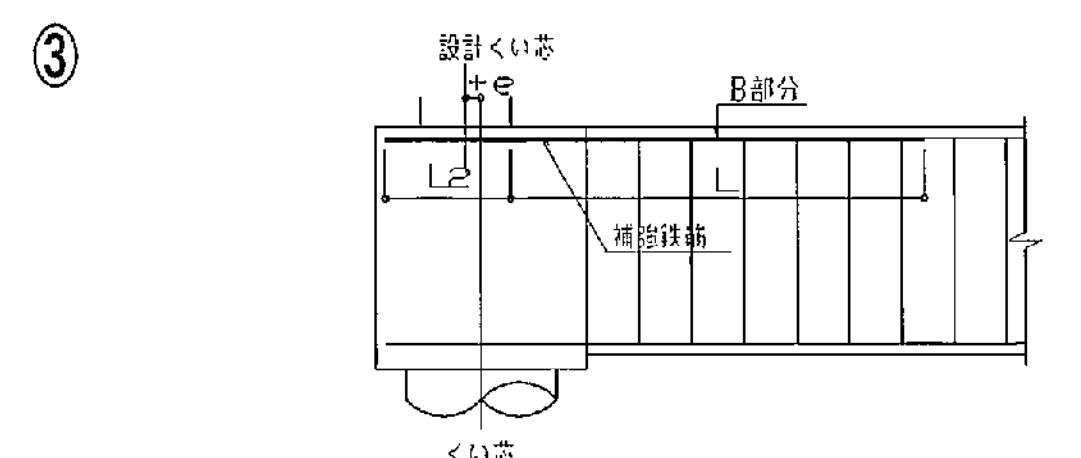
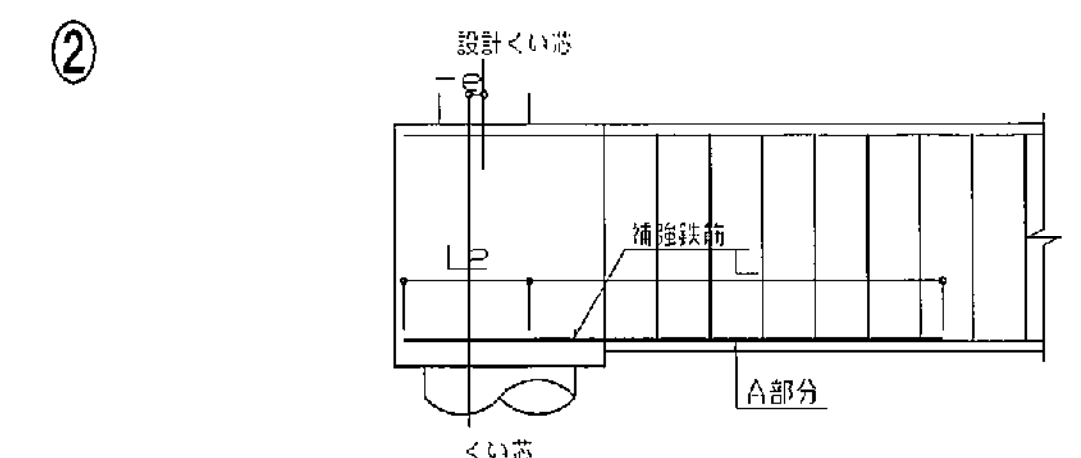
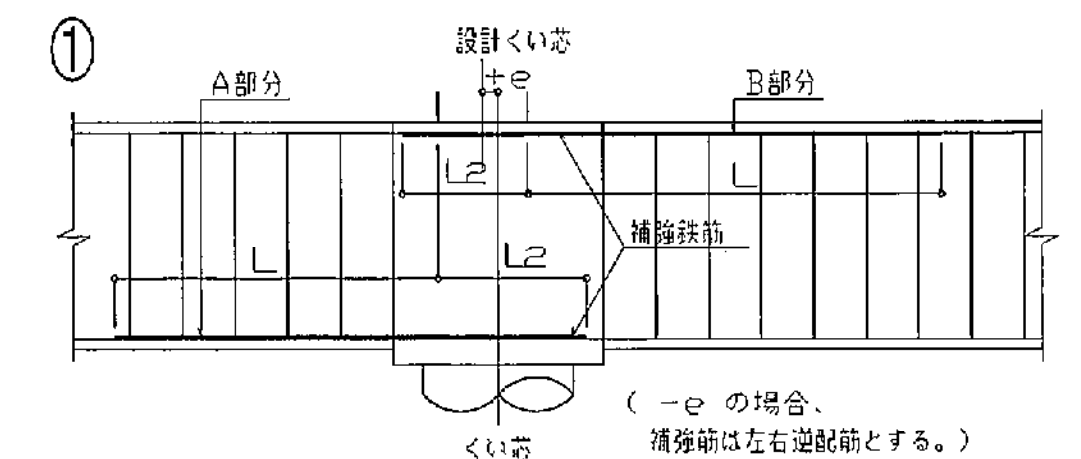
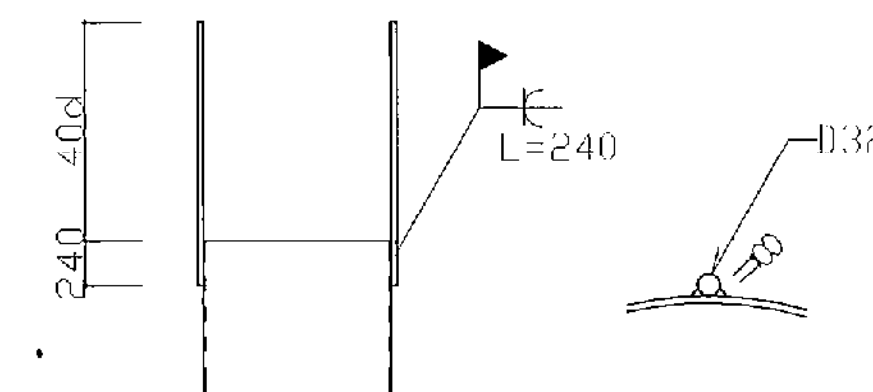


符号	杭径・杭種	杭長	杭頭接合部	長期支持力
P1	上杭 SC杭φ1000 t=9<SKK490>	L= 5.0m	22-D32	3600kN
	中杭 PHC既製杭φ1000 A種	L=10.0m		
	下杭 PHC既製杭φ1000 A種	L=18.0m		
P2	上杭 SC杭φ800 t=9<SKK490>	L= 5.0m	16-D32	2400kN
	中杭 PHC既製杭φ800 B種	L=10.0m		
	下杭 PHC既製杭φ800 A種	L=18.0m		
P3 3A	上杭 SC杭φ700 t=9<SKK490>	L= 5.0m	14-D32	1900kN
	中杭 PHC既製杭φ700 B種	L=10.0m		
	下杭 PHC既製杭φ700 A種	L=18.0m		

くいの偏心に対する基礎梁鉄筋補強参考例

* 杭偏心の場合は下記を参考に監督員と協議すること。

杭頭補強図



※上記「くいの中心」とは各基礎のくいの中心を示す

1. 巾止筋はD10@1000以内とする。

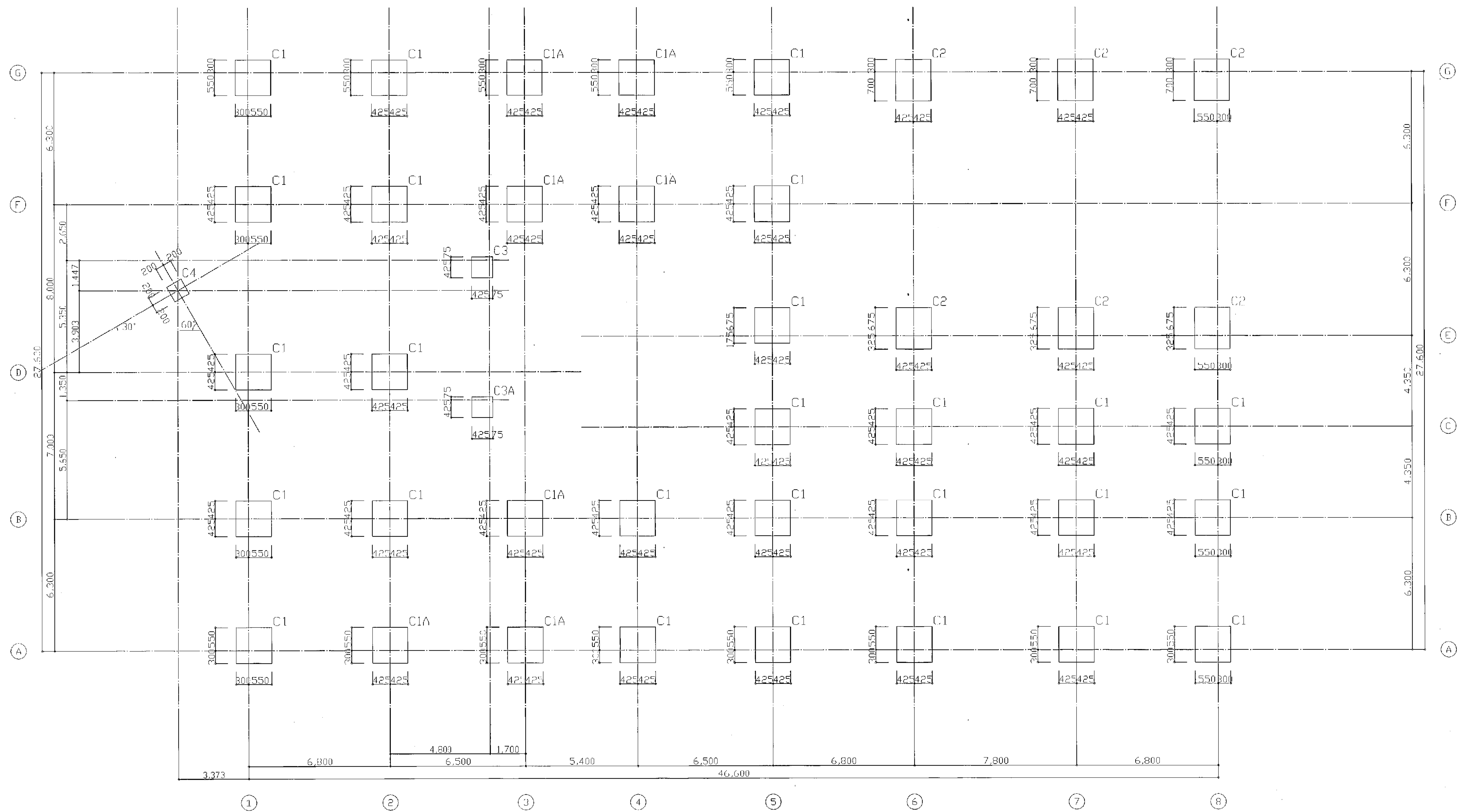
符号	FG1	FG1A	FG2	FG2A	FG3	FG4	FG5	FG6	FG10			
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面			
断面												
B×D	400×1800	400×1800	550×1800	550×1800	550×1800	650×1800	500×1800	600×1800	400×1800			
上端筋	8-D25	8-D25	12-D25	8-D25	12-D25	14-D25	10-D25	13-D25	7-D25			
下端筋	7-D25	6-D25	10-D25	8-D25	10-D25	10-D25	8-D25	10-D25	7-D25			
STP	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @100	□-D13 @200			
腰筋	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10			
符号	FB1	FB2		FB3		FB4	FB5	FCG1				
位置	全断面	端部	中央	5端	中央・他端	全断面	全断面	元端	先端			
断面												
B×D	400×700	400×700		400×700		400×870	400×1800	550×1400				
上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D16	4-D22	11-D25	6-D25			
下端筋	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	4-D16	4-D22	6-D25	4-D25			
STP	□-D10 @150	□-D10 @150		□-D10 @150		□-D10 @150	□-D10 @150	□-D10 @100				
腰筋	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10	10-D10	6-D10				

鉄筋補強量

番号		A部分	B部分	せん断補強
①	0<偏心 e≤100	不要	不要	不要
②	0<偏心 e≤100	不要	不要	不要
③	0<偏心 e≤100	不要	不要	不要
①	100<偏心 e≤150	1-D25	1-D25	1-D13@200
②	100<偏心 e≤150	1-D25	不要	1-D13@200
③	100<偏心 e≤150	不要	1-D25	1-D13@200
①	150<偏心 e≤200	2-D25	2-D25	1-D13@100
②	150<偏心 e≤200	2-D25	不要	1-D13@100
③	150<偏心 e≤200	不要	2-D25	1-D13@100

1) Lは内法スパンL0/4+15d以上とする

2) せん断補強筋は必要補強筋量が確保されていればピッチの変更は可とする



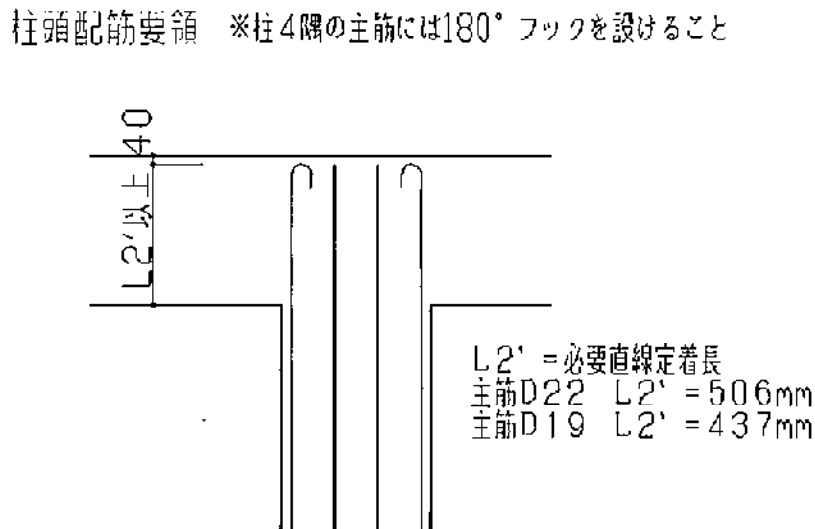
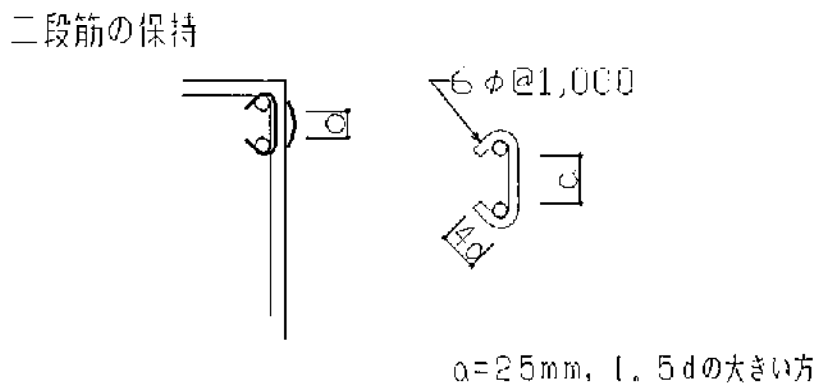
工事名	〈名称〉 西郡福祉会館新築工事（建築）				
図面名	柱芯図	縮尺	1/100,50	設計年月	2008.04.07
承認	建築士 田嶋 昭彦	監理	建築士 田嶋 昭彦	図面番号	08-0953
設計	清田育男計設計工房 Seita Yasuo atelier			平塚市	まちづくり事業部 建築住宅課

柱リスト 1/30

Y
↑
柱方向
→
X

特記事項 1. は補助フープD10@600以内とする。(仕口部を除く)
2. 仕口部フープはD13@100とする。
3. (印は寄せ筋を示す。

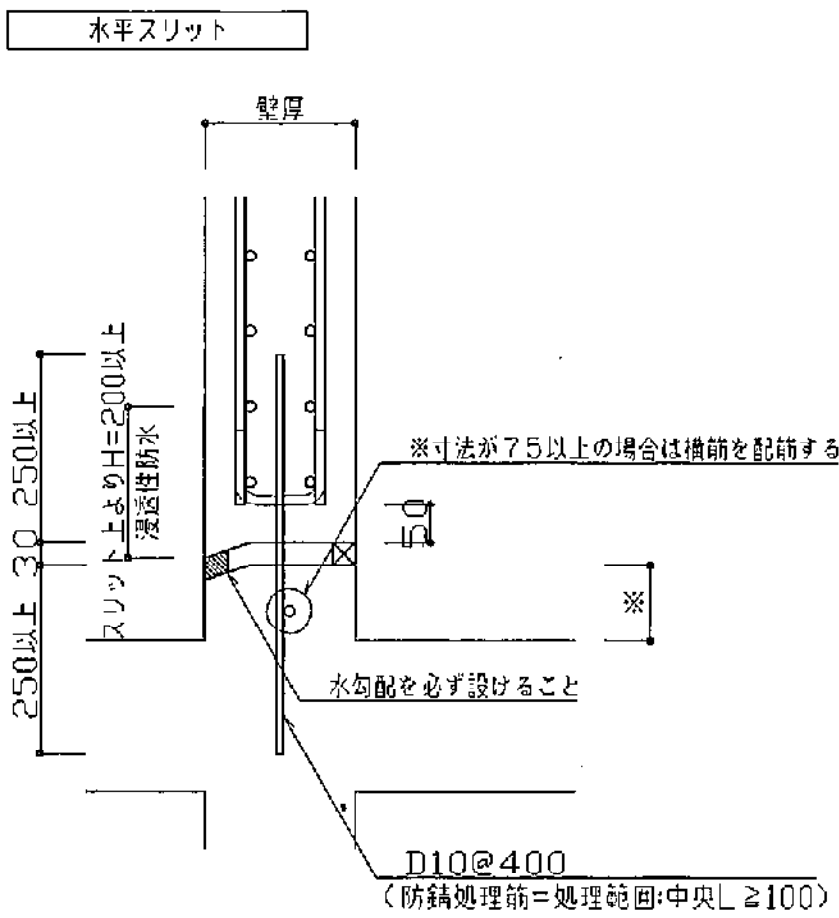
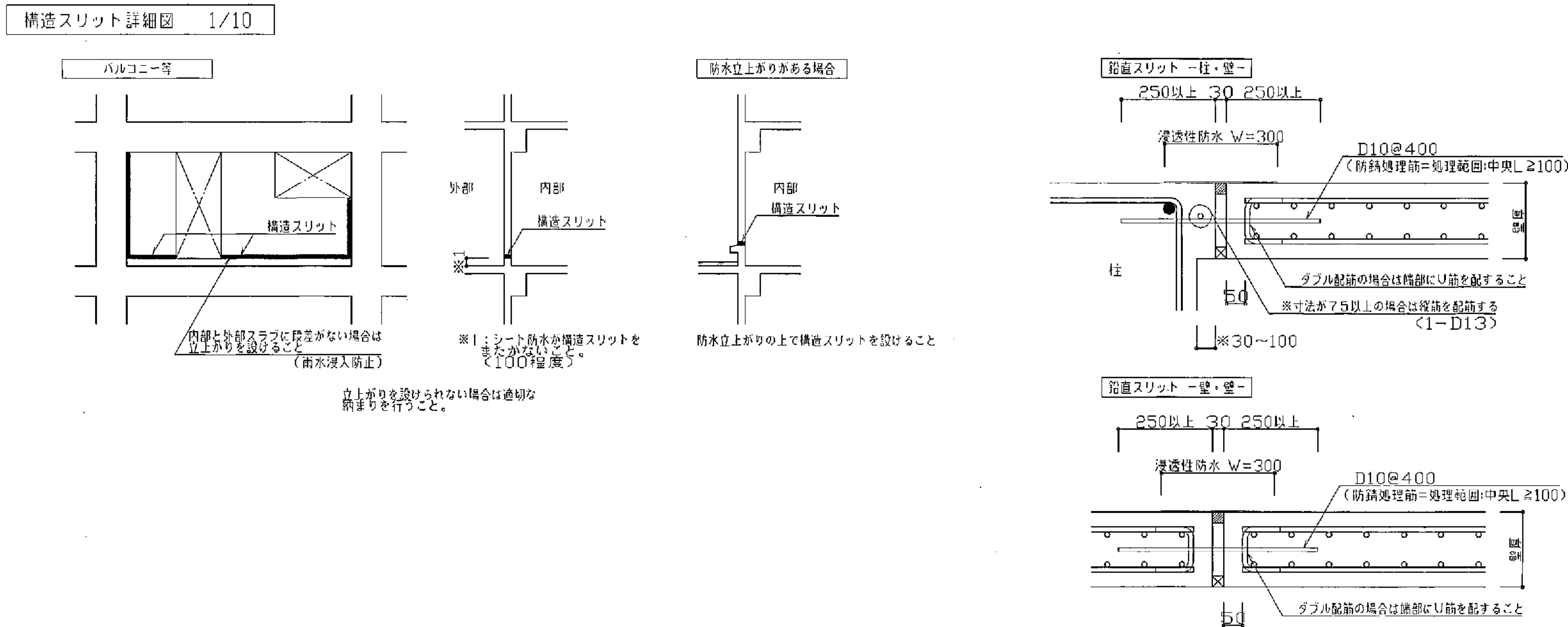
階		C1	C1A	C2	C3	C3A	C4	
2	断面							
	B×D	850×850	850×850	850×1000	500×500	500×500		
	主筋	24-D22	柱端 22-D22 柱脚 30-D25	34-D22	12-D19	10-D19		
	HOOP	田-D13 @100	田-D13 @100	田-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100		
1	断面							
	B×D	850×850	850×850	850×1000	500×500	500×500	400×400	
	主筋	24-D25	22-D25	34-D25	12-D19	12-D19	8-D22	
	HOOP	田-D13 @100	田-D13 @100	田-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	



壁リスト 1/30

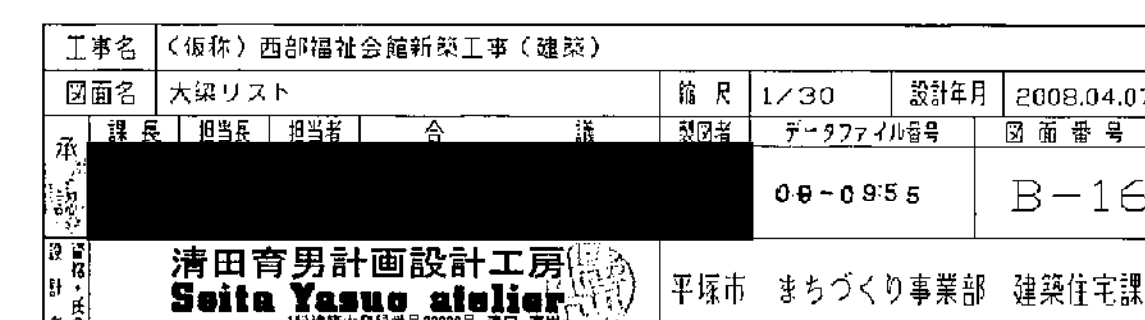
特記事項 1. 巾止め筋 D10@1,000以下

記号	W15	W15A	W18	KW20		
縦断面						
主筋	縦筋	D13@200ダブルチドリ	D13@100ダブルチドリ	D13@200ダブル	D13@100ダブル	
	横筋	D10@200ダブルチドリ	D10@200ダブルチドリ	D13@100ダブル	D10@200ダブル	
開口補強	縦筋	2-D13	2-D13	-	-	
	横筋	2-D13	2-D13	-	-	
	斜め筋	1-D10	1-D10	-	-	
備考				壁部タテ補強筋 4-D16		



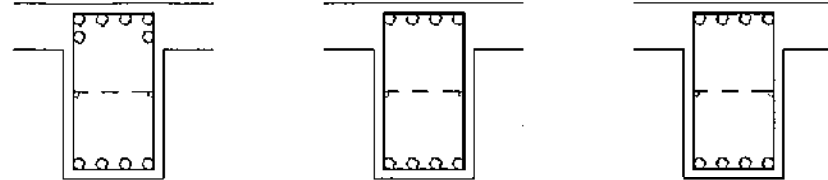
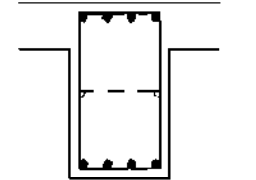
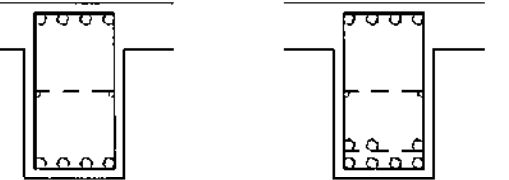
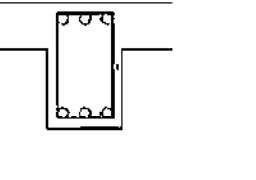
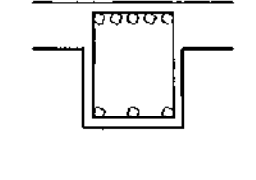
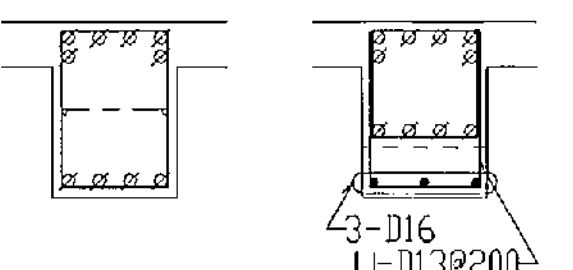
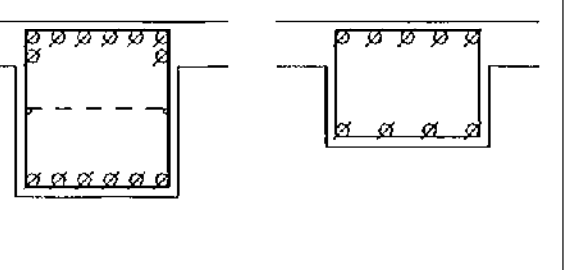
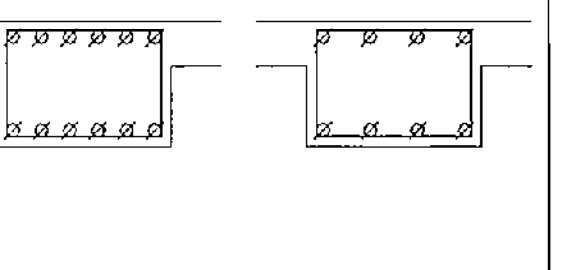
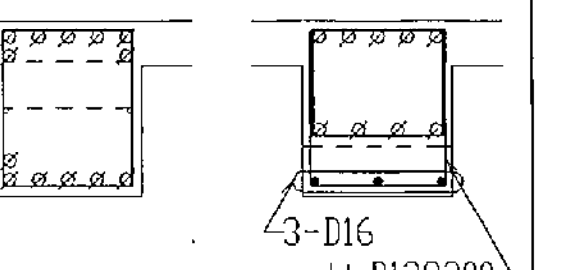
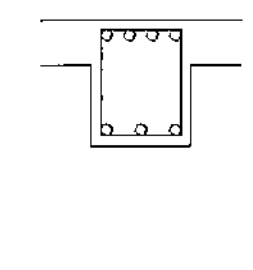
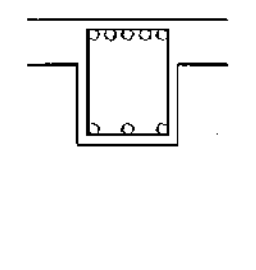
工事名	〈仮称〉西部福祉会館新築工事（追補）	図面名	柱・壁リスト	縮尺	1/30.10	設計年月	2008.04.07
図面番	08-0954	図面番号	B-15	設計者	平塚市 まちづくり事業部 建築住宅課	監理者	建設住宅課
設計者	清田育男計画設計工房	監理者	建設住宅課	設計者	建設住宅課	設計者	建設住宅課
設計者	建設住宅課	設計者	建設住宅課	設計者	建設住宅課	設計者	建設住宅課

階	符号	G6	G6A	G6B	G7	G7A	G8	G9		G10		G11	
1	位置	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	端部	中央	C端	中央・E端		
	断面												
	B×D	450×500	450×500	500×500	450×700		※腰筋は柱内に35d以上定着させること 600×700		850×700		700×800		
	上端筋	5-D25	4-D19	5-D25	7-D25		6-D25		9-D25	6-D25	16-D25		16-D25
	下端筋	4-D25	4-D19	4-D25	6-D25		6-D25		6-D25	6-D25	8-D25		16-D25
	STP	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	■-D13 @100		■-D13 @100(タイプA)		□-D13 @150		■-S13 @100		
腰筋	-	-	-	2-D10	4-D25		2-D10		2-D10				
2	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	端部	中央	全断面			全断面	
	断面												
	B×D	450×500	450×500	500×500	700×750	700×750	500×750		600×750			400×550	
	上端筋	4-D25	4-D22	4-D25	15-D25	14-D25	9-D25	5-D25	12-D25			4-D19	
	下端筋	4-D25	4-D22	4-D25	15-D25	12-D25	5-D25	5-D25	11-D25			4-D19	
	STP	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	■-S13 @100	■-D13 @100	■-D13 @100		■-S13 @100			□-D13 @200	
腰筋	-	-	-	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10		-			



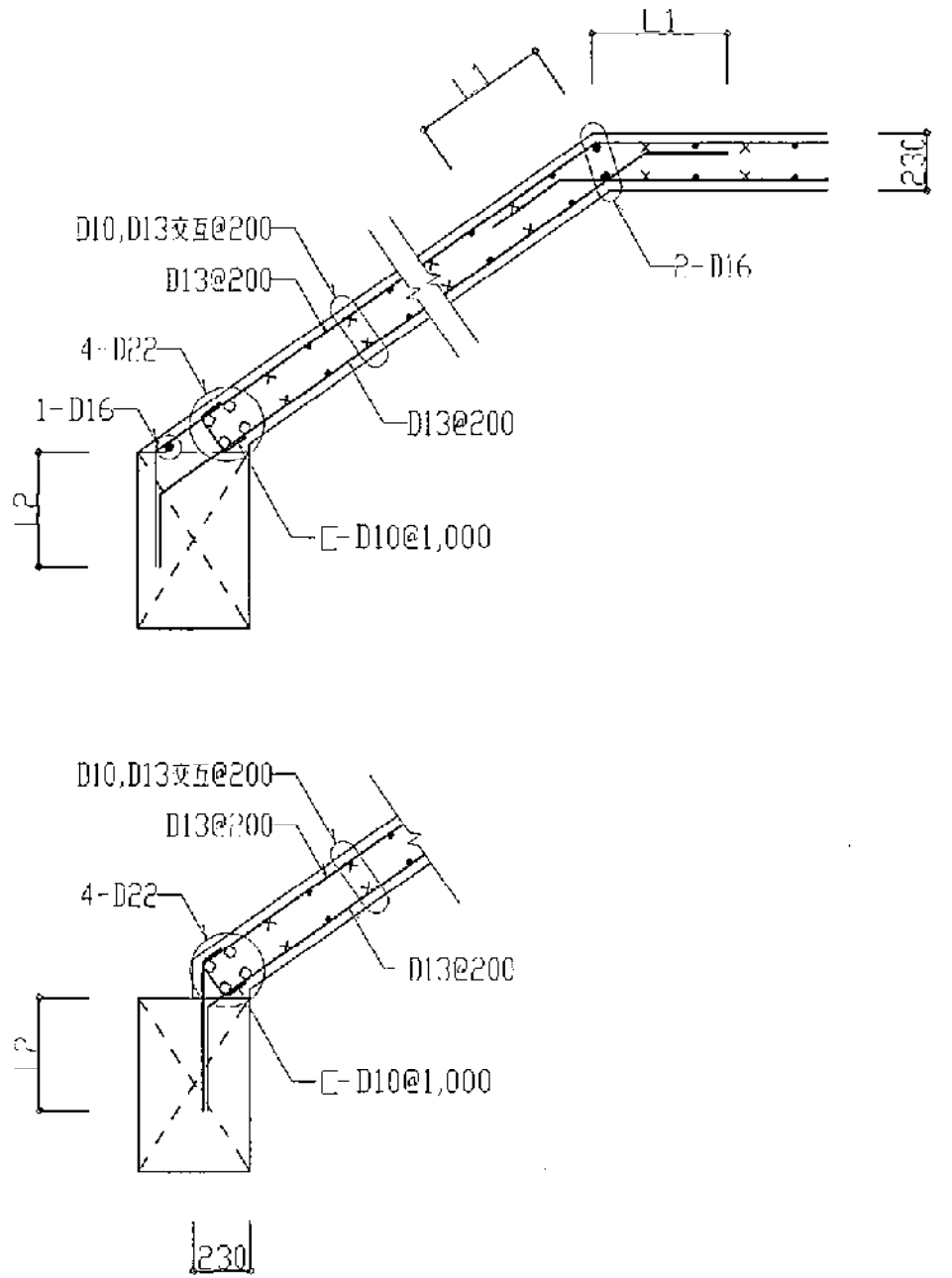
1. 巾止筋はD10@1000以内とする。

小梁リスト 1/30


符号	B1			B2		B3		B4	B5	
位置	連続端	中央	他端	全断面		端部	中央	全断面	全断面	
断面										
B×D	400×700			400×700		400×700		300×500	400×500	
上端筋	6-D22	4-D22	4-D22	4-D16		4-D22	4-D22	3-D22	5-D22	
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D16		4-D22	7-D22	3-D22	3-D22	
STP	□-D10 @150			□-D10 @150		□-D13 @100		□-D10 @200	□-D10 @150	
腹筋	2-D10			2-D10		2-D10		-	-	
符号	CG1		CG2		CG3		CG4		CB1	CB2
位置	元端	先端	元端	先端	元端	先端	元端	先端	全断面	全断面
断面										
B×D	500×700	500×500	650×700	650×500	700×500		600×700	600×500	400×500	400×500
上端筋	6-D25	6-D25	8-D25	5-D25	6-D25	4-D25	7-D25	5-D25	4-D22	5-D22
下端筋	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	3-D22	3-D22
STP	□-D13 @200		□-D13 @150		□-D10 @100		□-D13 @100		□-D10 @150	□-D10 @150
腹筋	2-D10	-	2-D10	-	-		2-D10	-	-	-

スラブリスト

記 号	スラブ厚		短 辺(主 筋)方 向		長 辺 方 向		備 考	記 号	スラブ厚		短 辺(主 筋)方 向		長 辺 方 向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央					端 部	中 央	端 部	中 央	
S1	180	上端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	除コンクリート t=50 砂利 t=100	CS1	150	上端筋	D13@200	D13@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200			
S2	180	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200		CS2	150	上端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200			
S3	180	上端筋	D13@200	D13@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	除コンクリート t=50 砂利 t=100	CS2A	150	上端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	除コンクリート t=50 砂利 t=100
		下端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200			
S4	180	上端筋	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200		CS3	120	上端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				-	-	-	-		
S5	180	上端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D13@200	D13@200	除コンクリート t=50 砂利 t=100	CS4	150	上端筋	D13@100	D13@100	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200		
S6	150	上端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	除コンクリート t=50 砂利 t=100	CS5	180	上端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200		
S7	230	上端筋	D13@200	D13@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200		CS6	180	上端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200		
S8	180	上端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200		CS7	150	上端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200				D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200		
								FS1	200	上端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	除コンクリート t=50 砂利 t=100
									下端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100		
								FS2	200	上端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	除コンクリート t=50 砂利 t=100
									下端筋	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200		



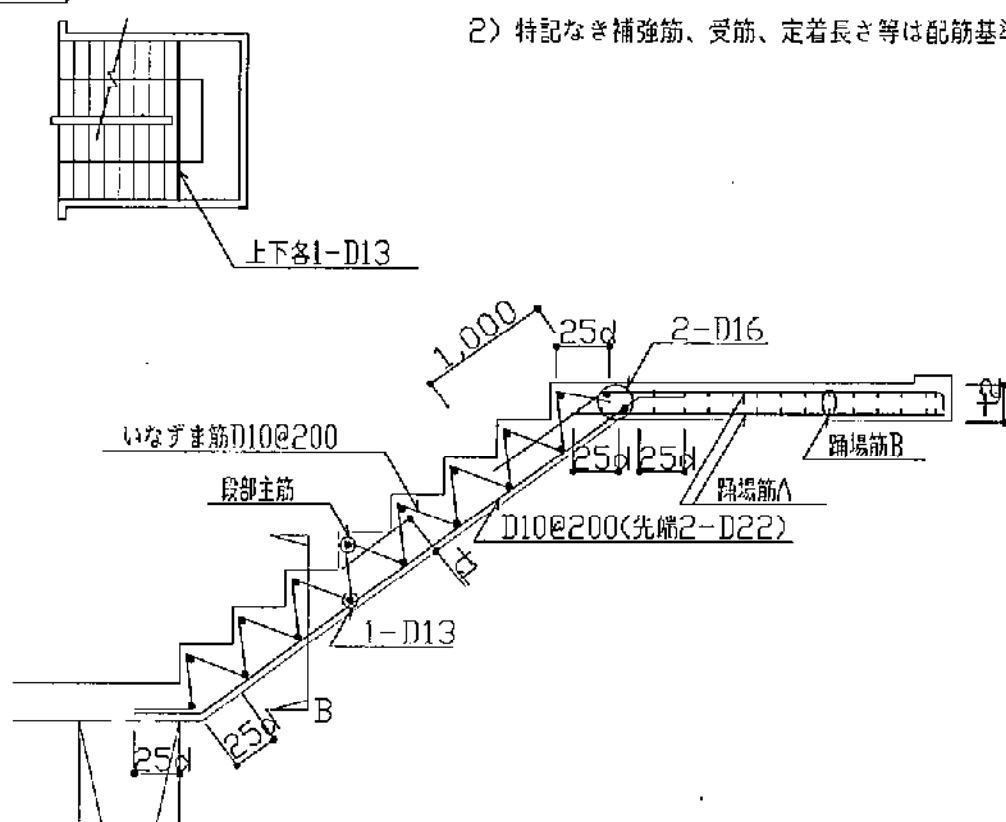
S7配筋要領 1/30

工事名	〈修修〉西部福祉会館新築工事〈建築〉				縮尺	1/30	設計年月	2008.04.07
図面名	小梁・スラブリスト				製図者	1/30	チェック者	09-0958
承認					図面番号	B-17		
設計	清田 勇男 計設計事務所				平塚市	まちづくり事業部 建築住宅課		

階段リスト

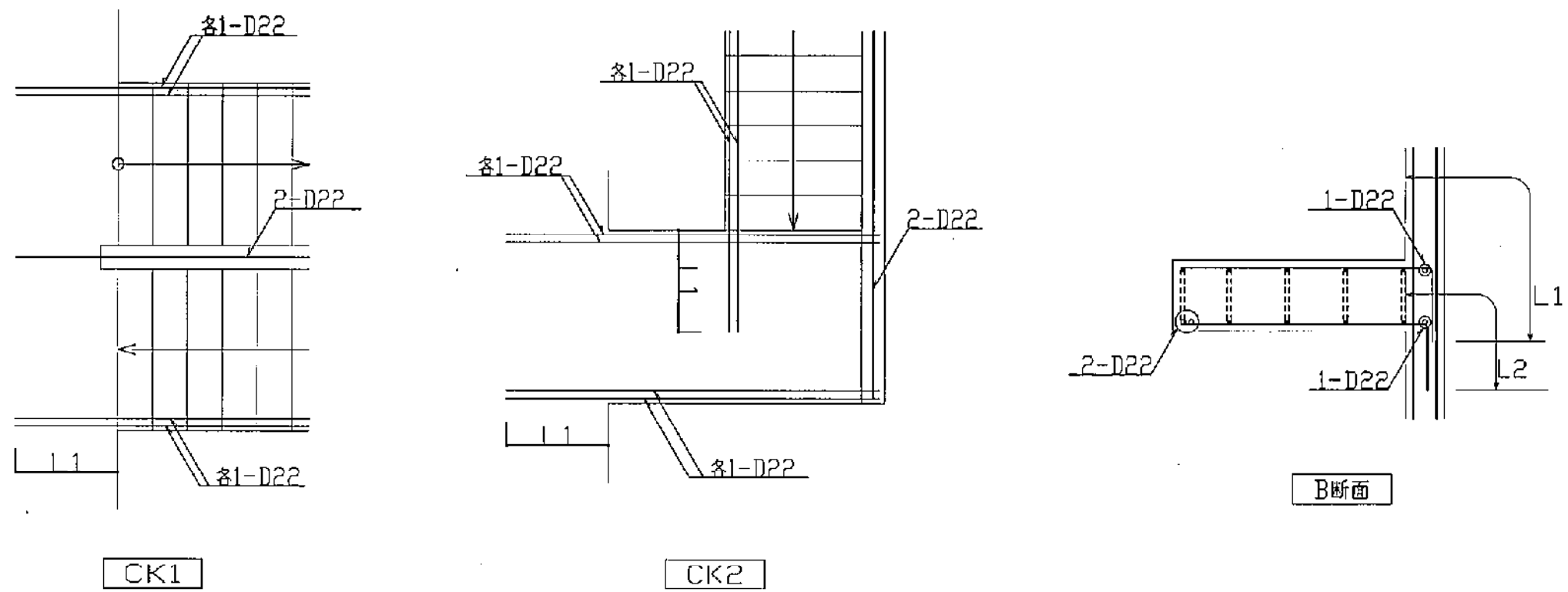
片持階段

- (注) 1) 特記なき寸法は建築図による。
2) 特記なき補強筋、受筋、定着長さ等は配筋基準による。

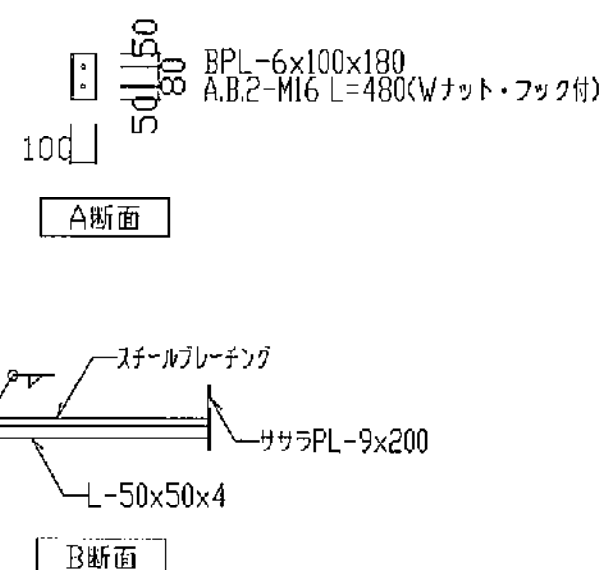
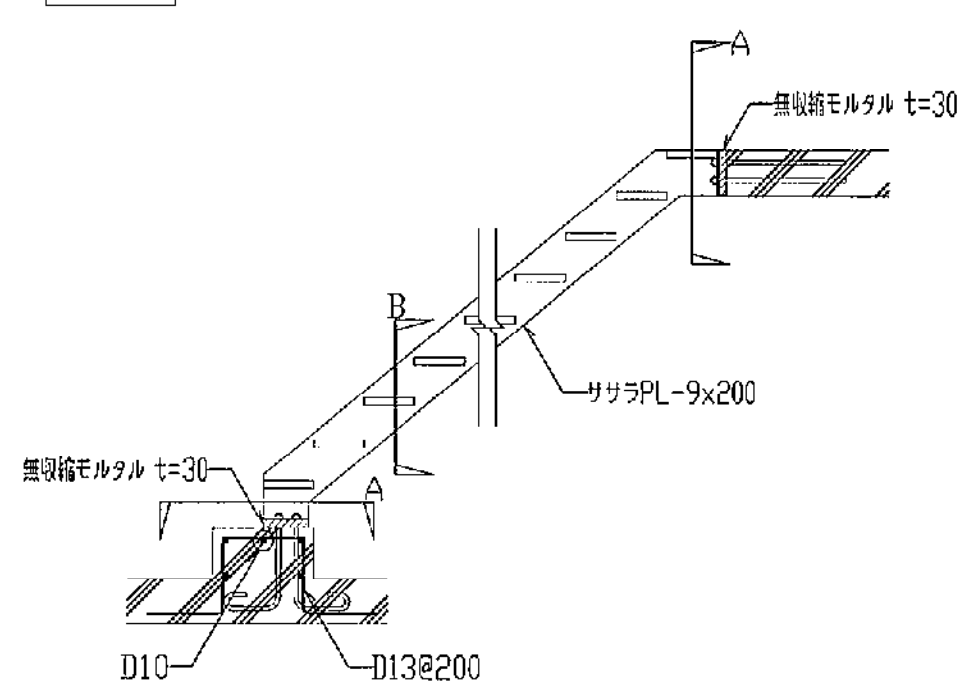


符 号	段 部		鋼 筋		備 考
	スラブ厚セ	段部主筋	スラブ厚セ	筋場筋 A	
CK1	150	2-D16	150	D13@100(上) D10, D13@200(下)	D10, D13@200 (上下)
CK2	150	2-D16	150	D10, D13@100(上) D10, D13@200(下)	D10, D13@200 (上下)

階段補強要領

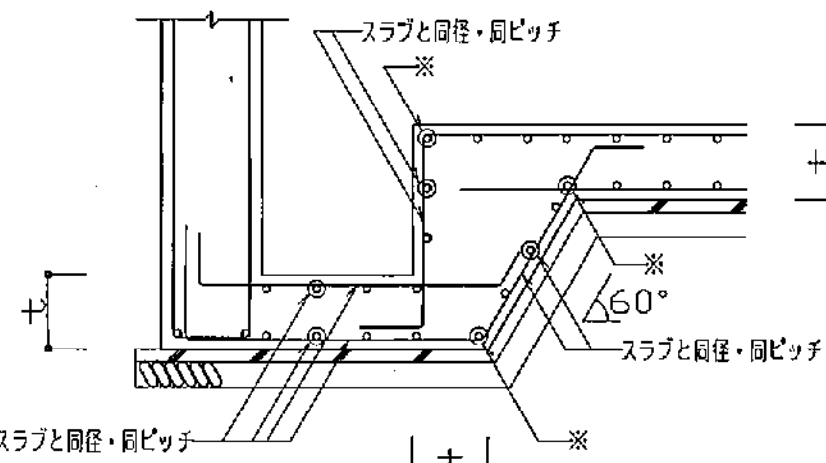


SK1



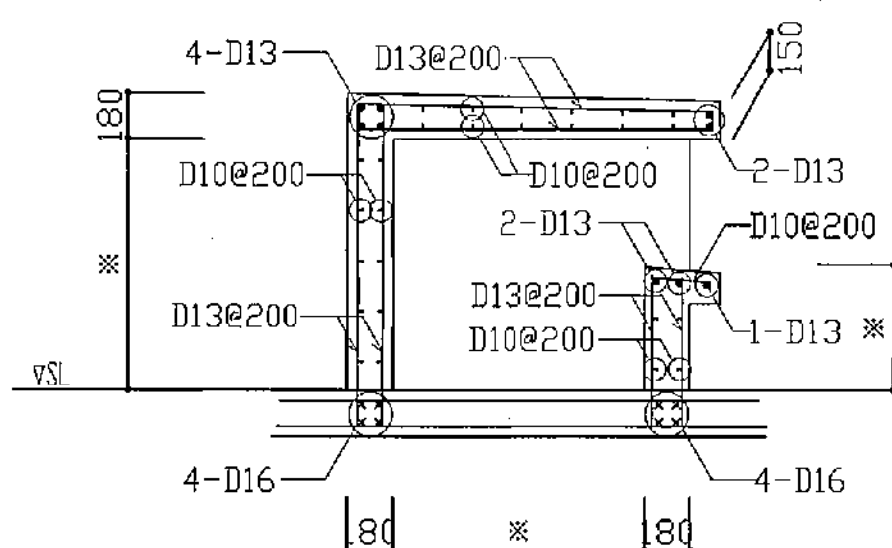
釜場配筋要領図

もスラブ厚セ
※スラブ最大径鉄筋の1/2サイズアップ
スラブ筋アンカー長さは35dとする



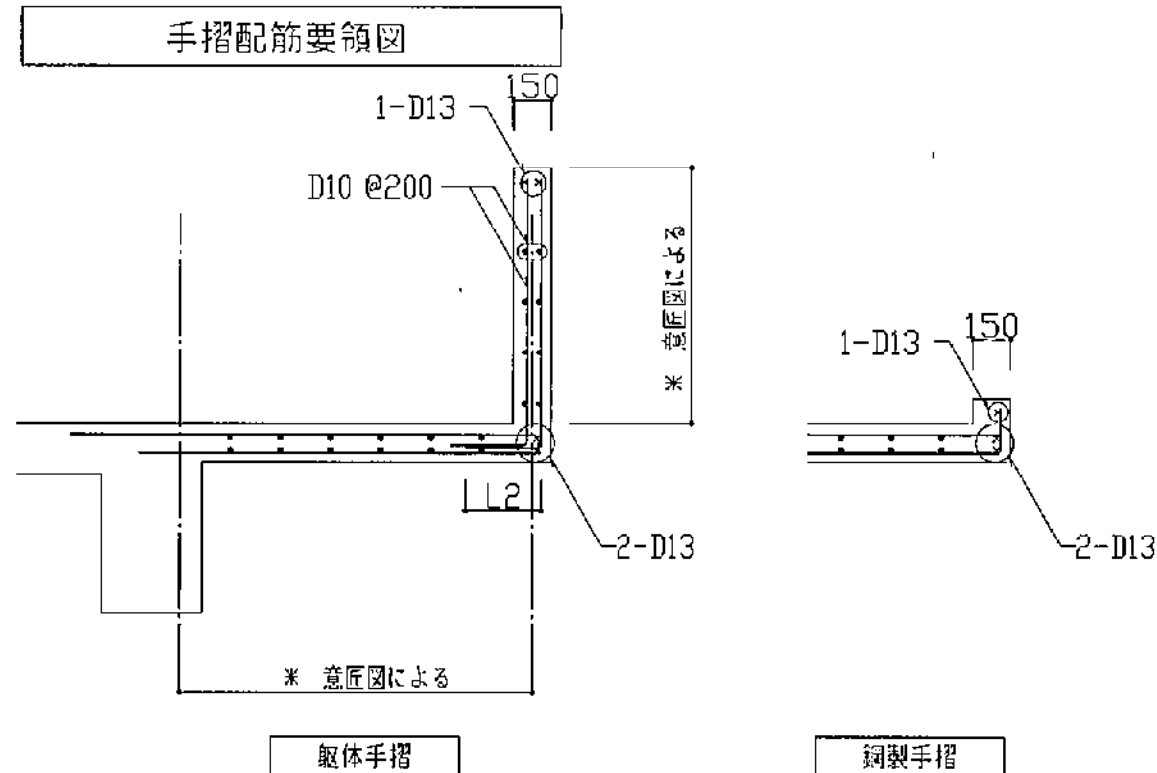
(注) 取り合う梁の下縁が含まない場合は梁フカシとする

ハト小屋配筋要領図



※寸法は建築図による。

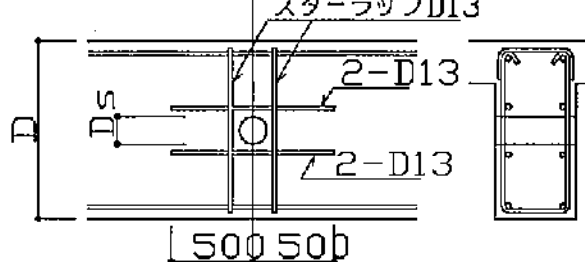
手摺配筋要領図



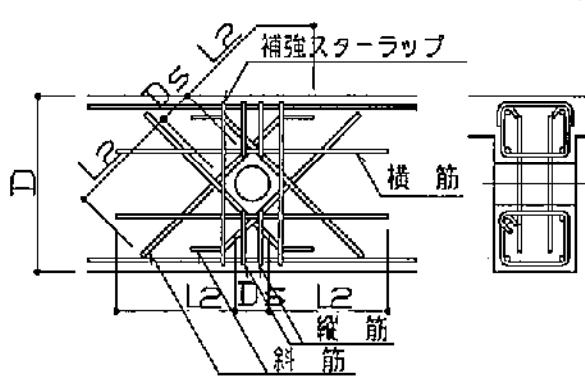
貫通孔の補強要領

■貫通孔の補強

(1) $D_s \leq D/10$ かつ 150ϕ 未満の場合



(2) $D/10 < D_s \leq D/3$ かつ 150ϕ 以上の場合



FB5

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
600~150	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D10x1	

B1・B2

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
225~100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D10x1	

※特記以外は、既製補強金物（スーパーハリーZ）を使用

FG1

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
600	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	
150~100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

FG1A

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
600	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

FG2

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
600	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	
200~150	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

FG2A

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
150	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

FG5

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
600	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	
150	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

2G1・2G1B

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
225~200	2x2-D13	4x2-D19	2x □-D13x1	
150~100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

2G1A・2G1C

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
225~200	2x2-D13	4x2-D25	2x □-D13x1	
150~100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

2G2・2G2A

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
225~200	2x2-D13	4x2-D22	2x □-D13x1	
150~100	2x2-D13	4x2-D19	2x □-D13x1	

2G4

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
225~150	2x2-D13	4x2-D25	2x □-D13x1	

2G7

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
150	2x2-D13	4x2-D19	2x □-D13x1	

2G8

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

2G9

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
225	2x2-D13	4x2-D29	2x □-D13x1	

RG1

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
200~100	2x2-D13	4x2-D19	2x □-D13x1	

RG1A

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
200~100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

RG7

孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

RG9

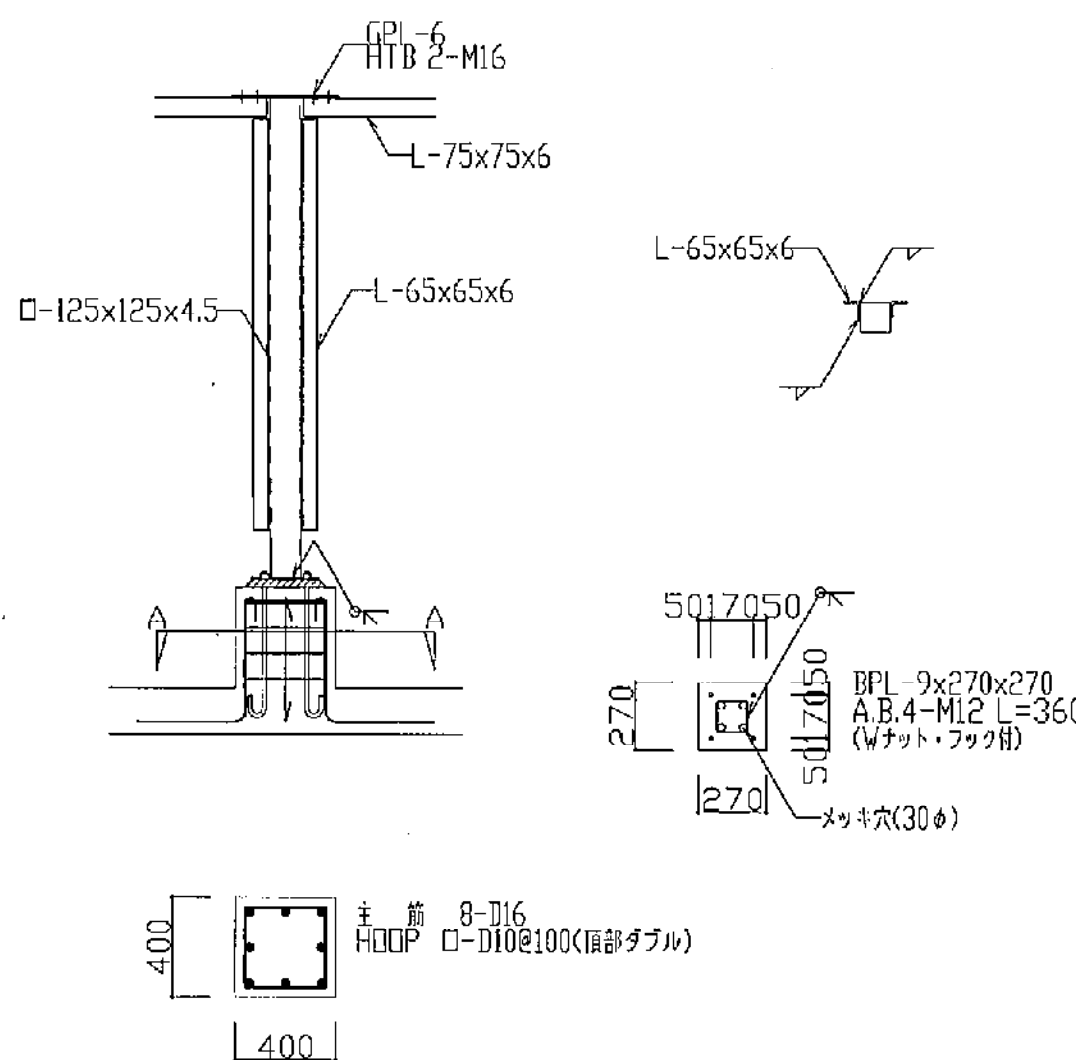
孔径 D_s	縦筋	横筋	斜筋	補強スターラップ
100	2x2-D13	4x2-D16	2x □-D13x1	

1) 縦筋はSTRと同径・同ピッチとする

※既製補強金物（技術認定品）を使用する場合は監理者の承認を得ること

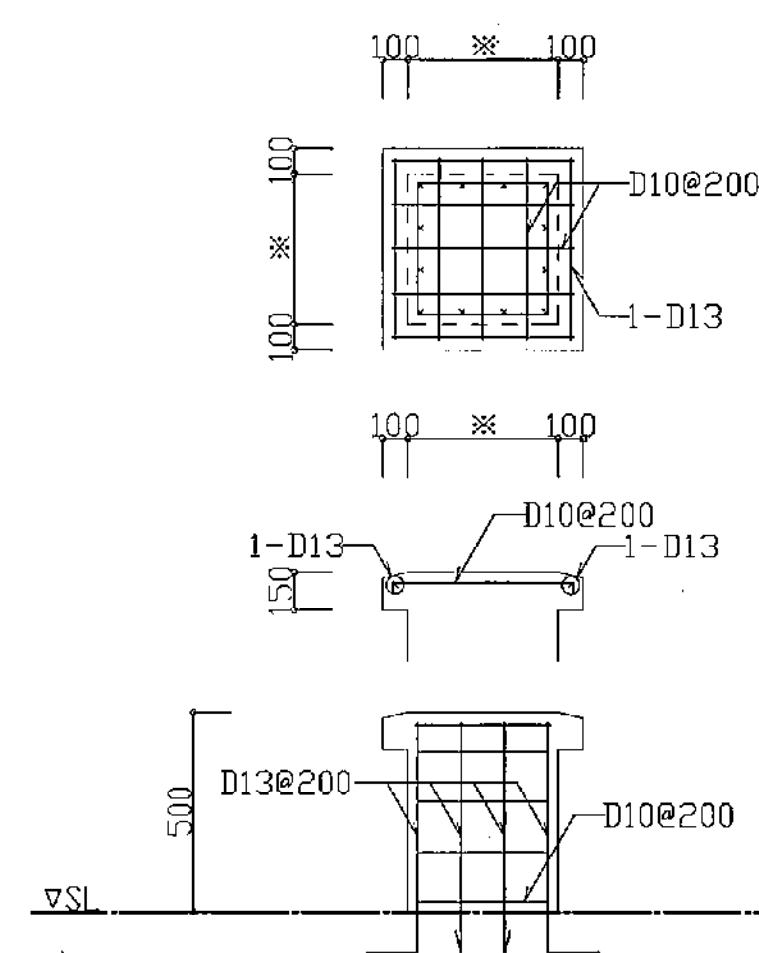
屋上フェンス 1/30

溶融亜鉛メッキとする

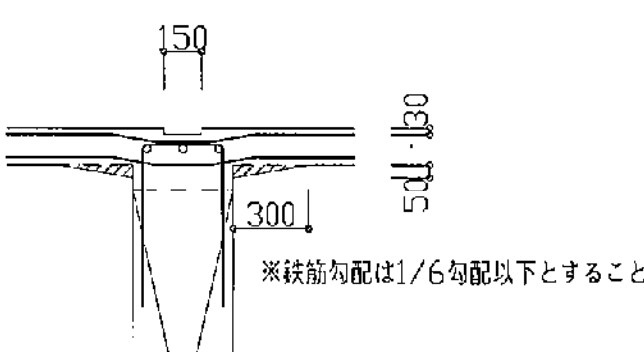


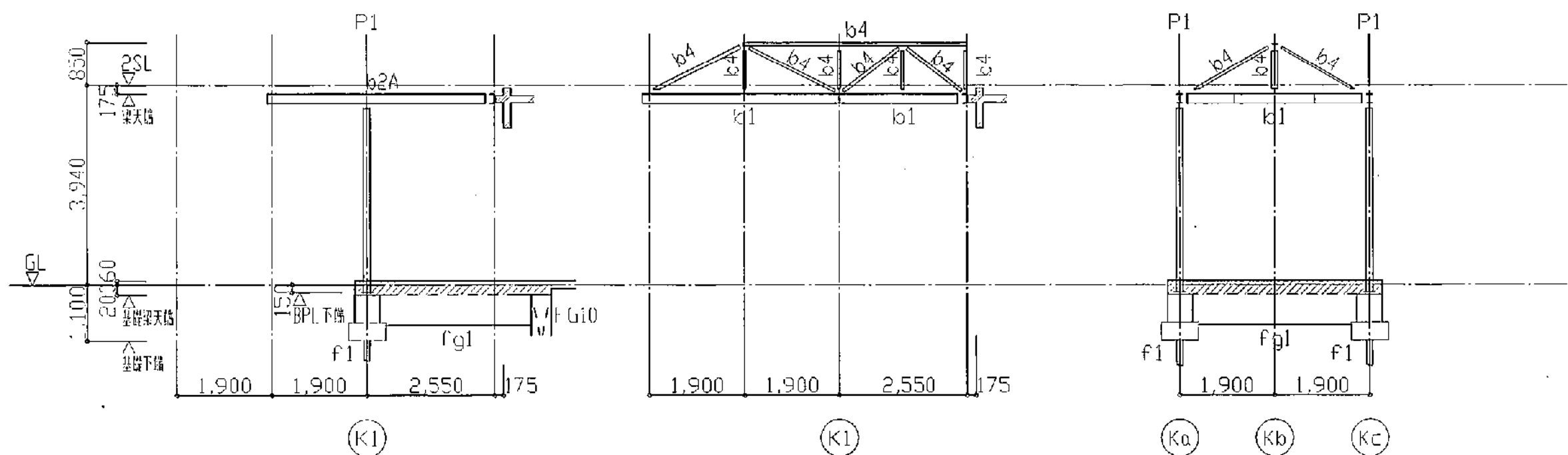
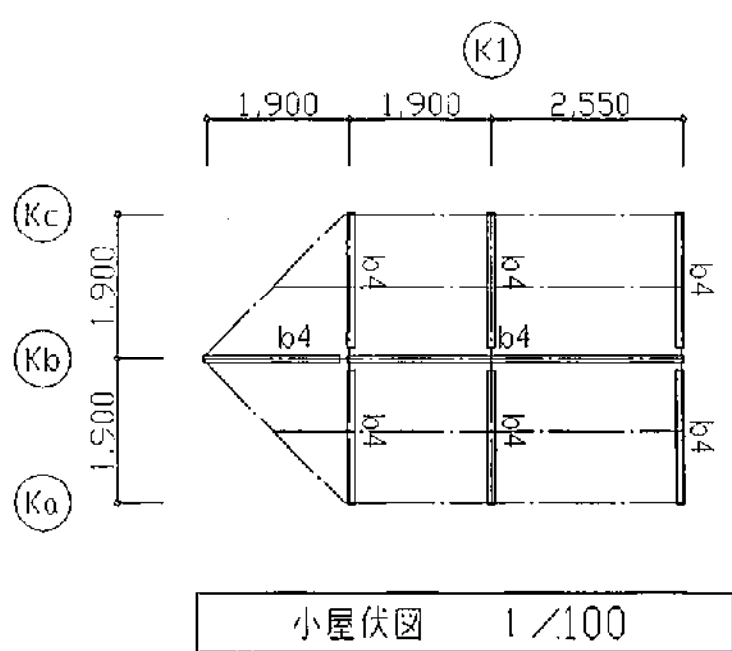
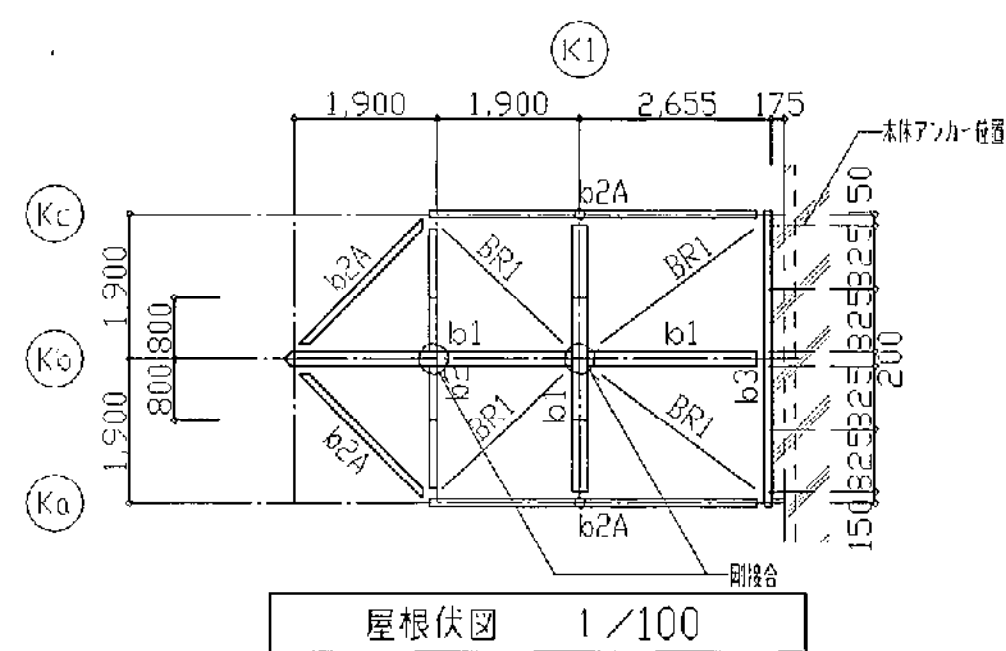
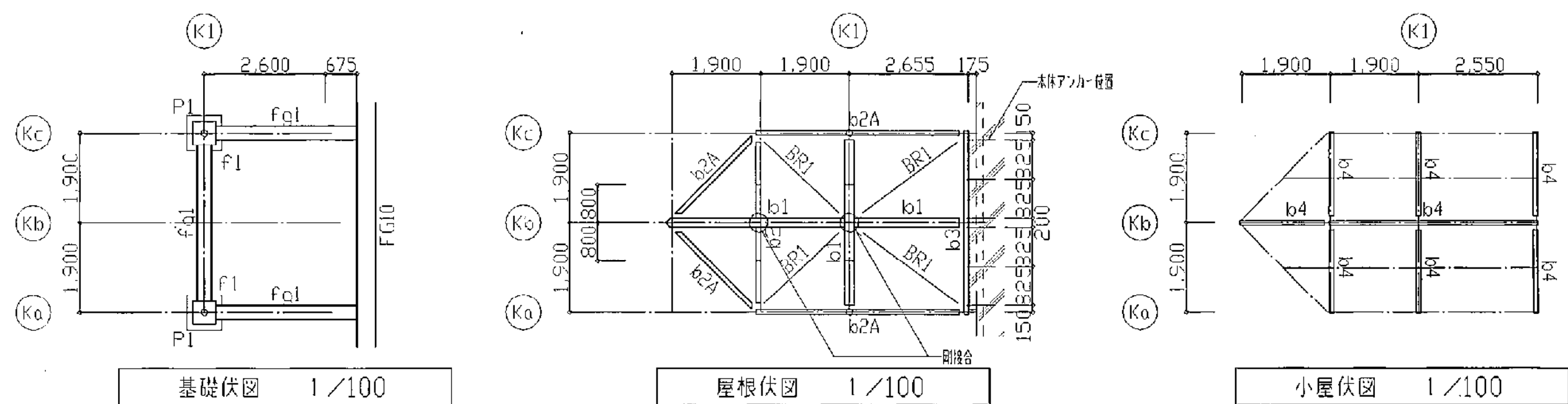
設備基礎配筋要領

※寸法は図による

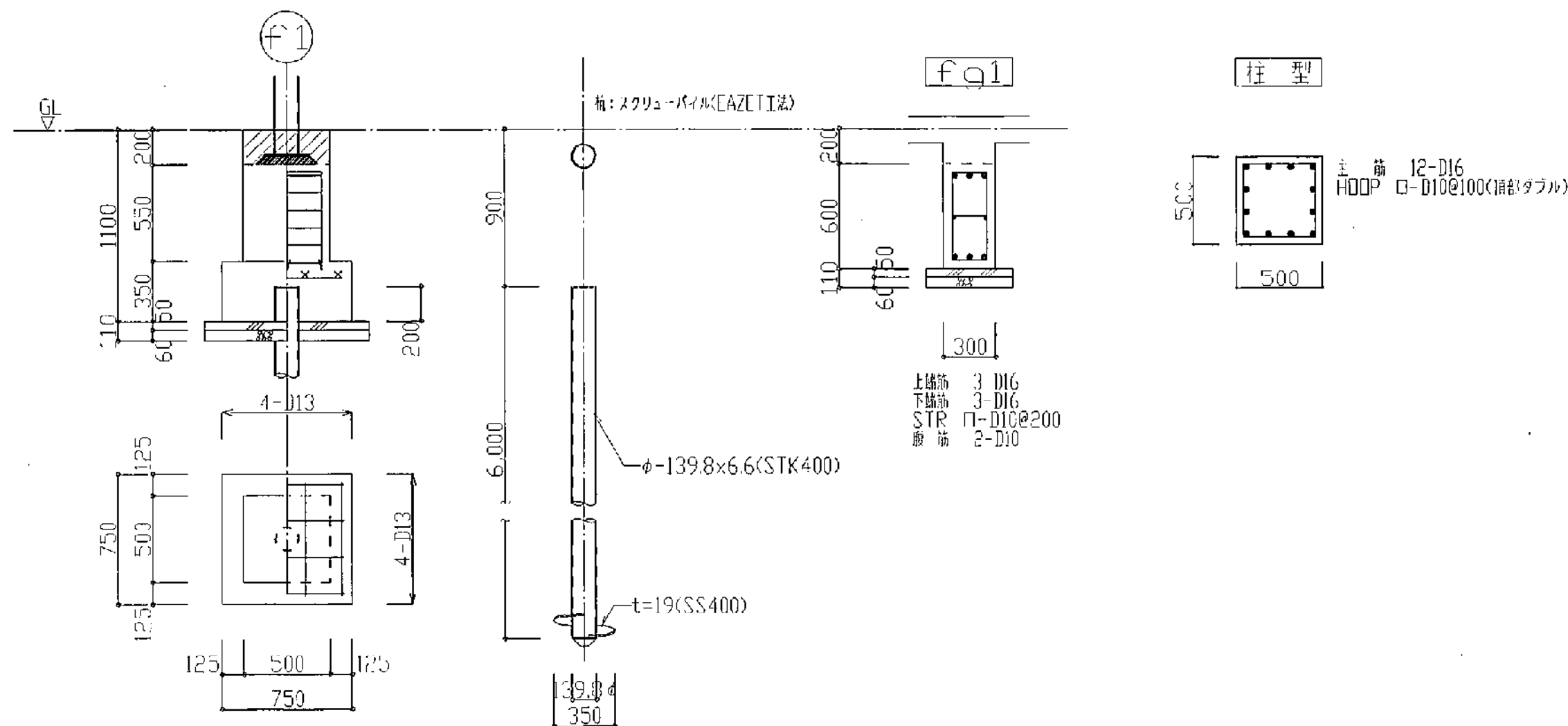


自動ドア欠き込み部補強要領



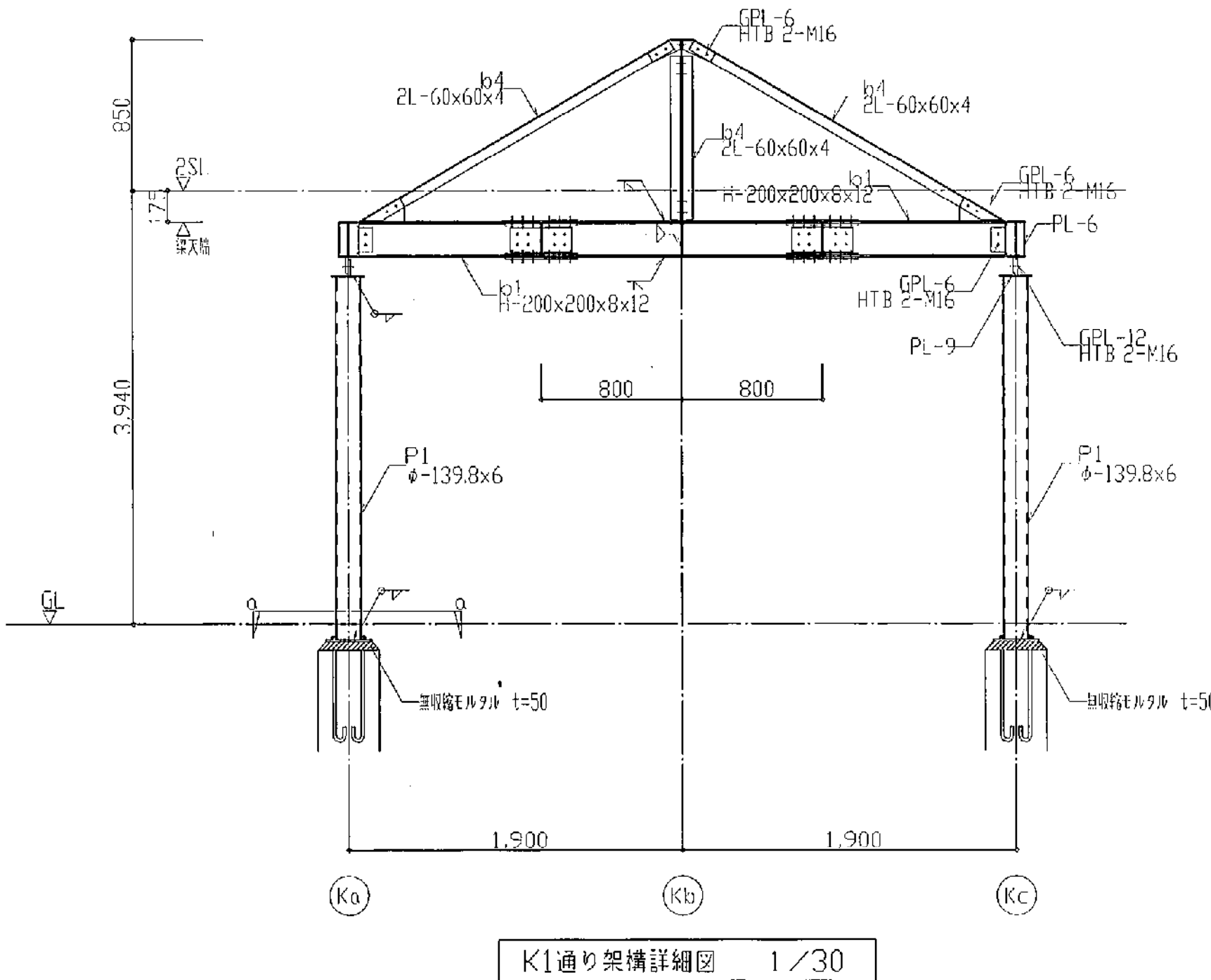
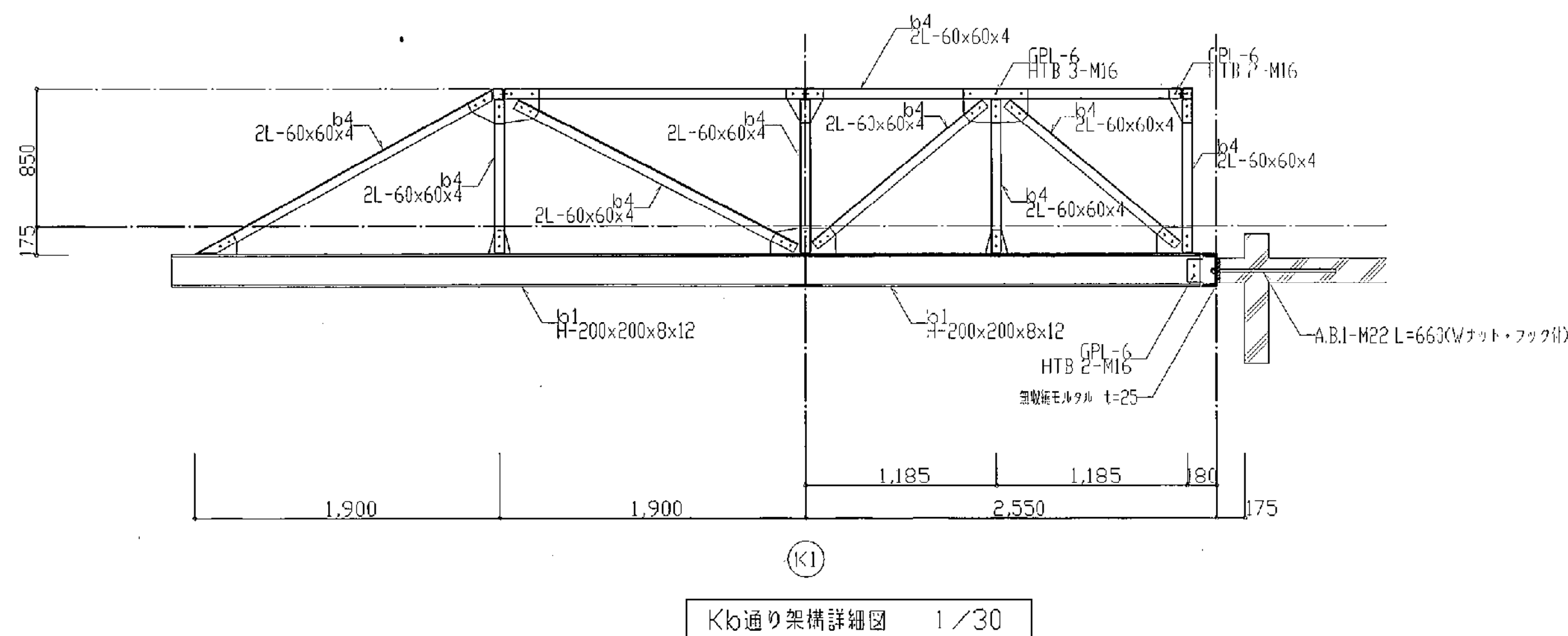
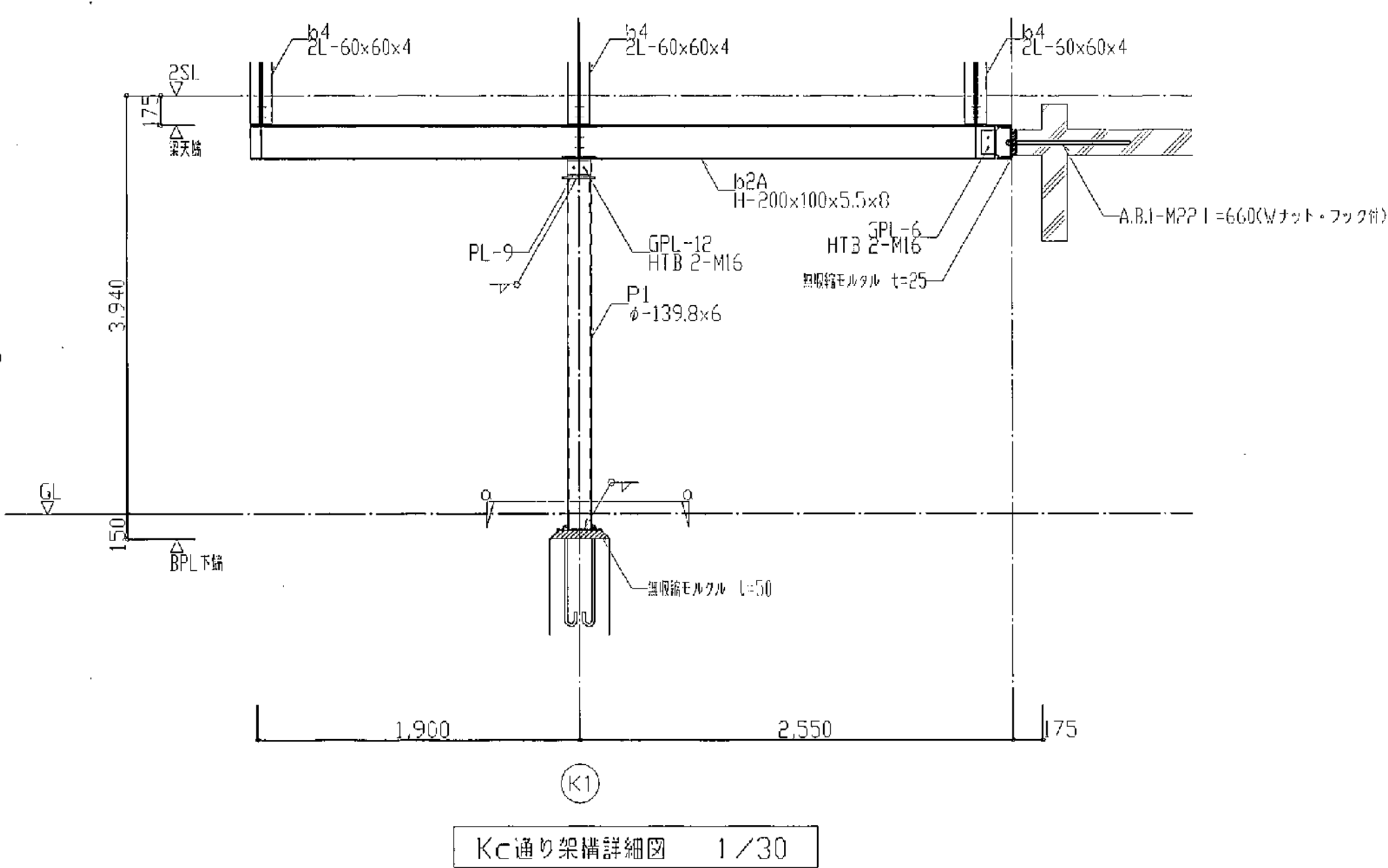
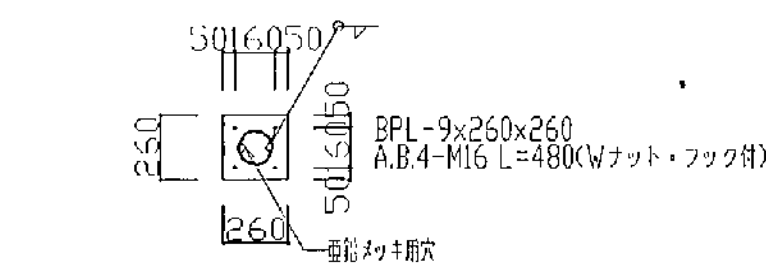


基礎・基礎梁リスト 1/30 ※20以下は断面寸法は省略する

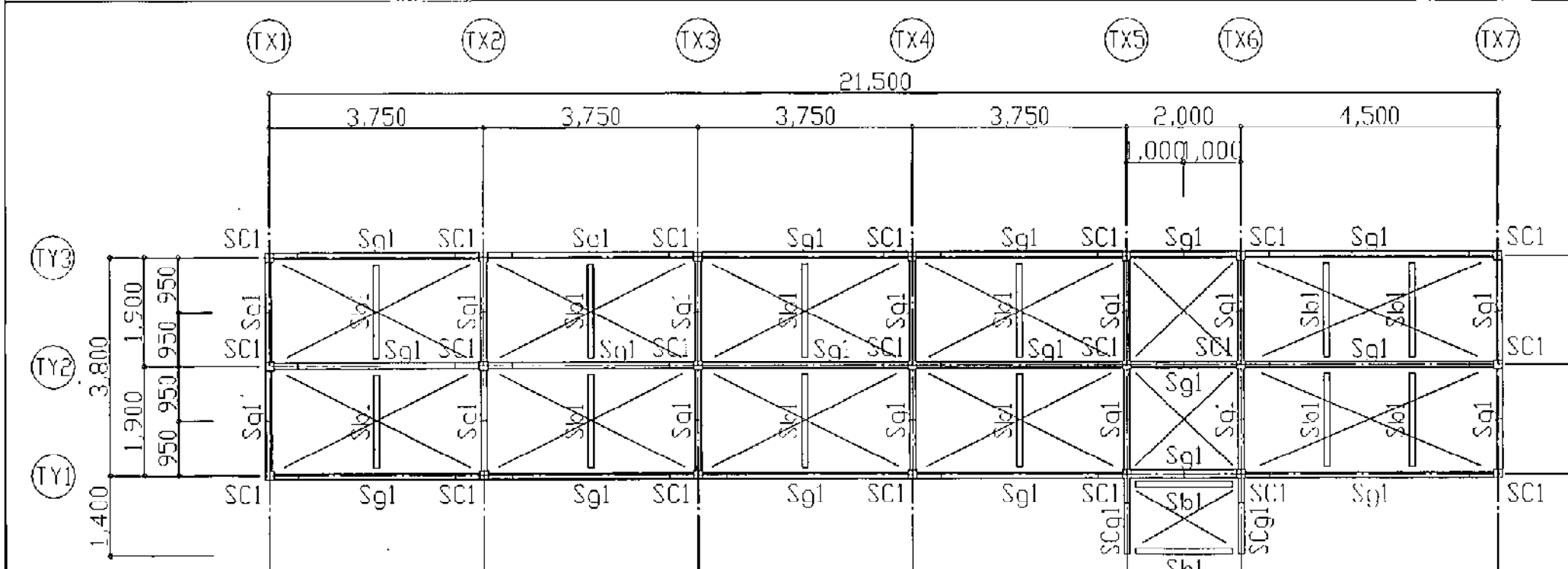


部材リスト 1. 特記外はSN400B,STK400とする。2. 継手はSCSS-H97による。3. 溶融亜鉛メッキとする。

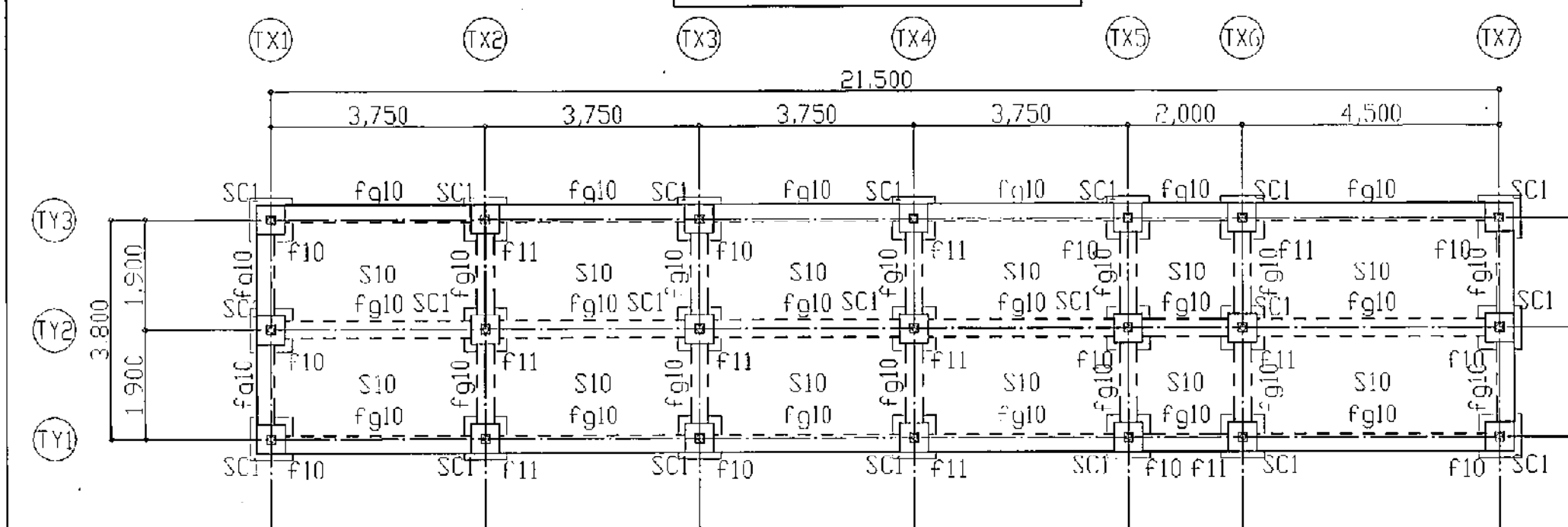
部 号	部 材	フランジ		ウェブ		備 考	
		FJPL(外)	FJPL(内)	F-HTB	WJPL		W-HTB
b1	H-200x200x8x12	9x200x410	9x80x410	6-M20	6x140x350	4-M20	GPL-6 HTB 2-M16
b2	H-200x100x5.5x8	12x200x410	-	6-M16	6x140x290	4-M16	GPL-6 HTB 2-M16
b2A	H-200x100x5.5x8	GPL-6 HTB 2-M16					SS400
b3	E-200x90x8x13.5						SS400
b4	2L-60x60x4	GPL-6 HTB 2-M16					SS400
							SS400
P1	φ-139.8x6	BPL-9x260x260 A.B 4-M16(ダブルナット・フック付)L=480					
BR1	1-M22(T.B)FB-75X9 GPL-12 HTB 1-M22 JIS規格品						



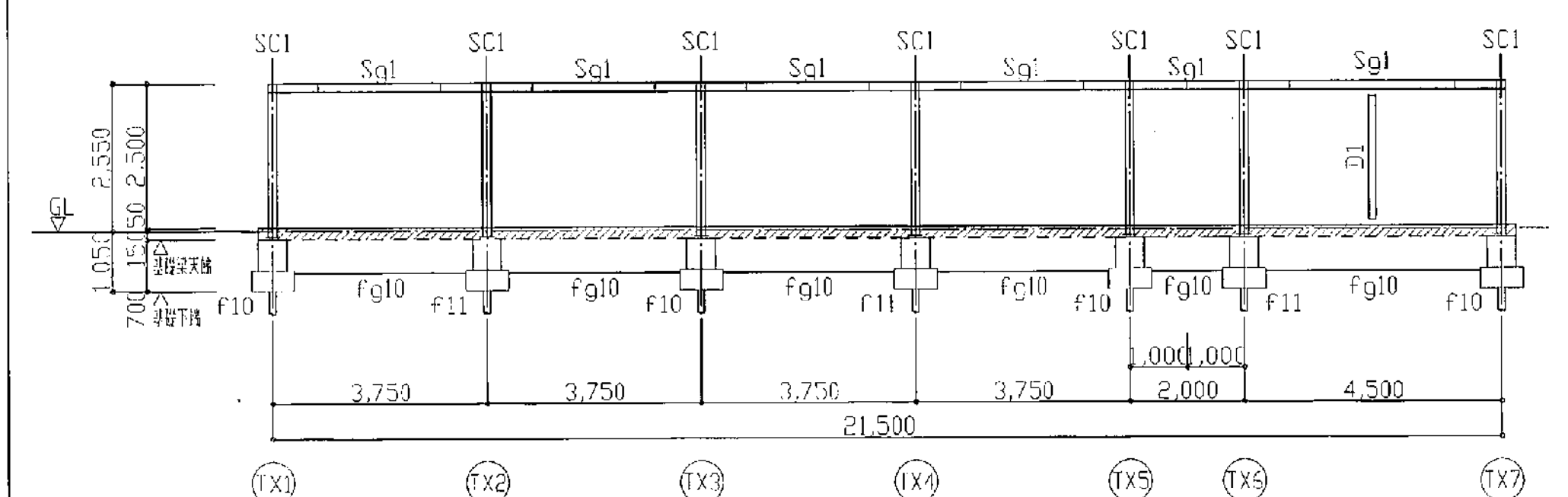
駐輪場	1
-----	---



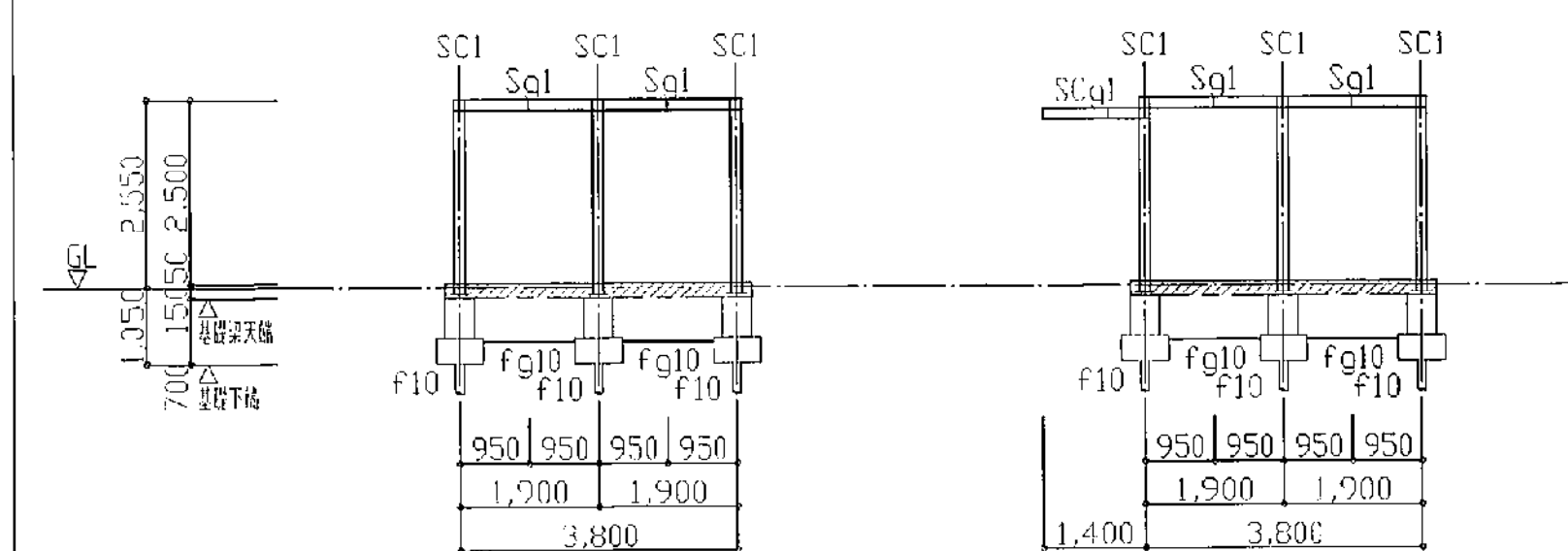
屋根伏図 1/100



基礎伏図 1/100



TY3軸組圖 1/100



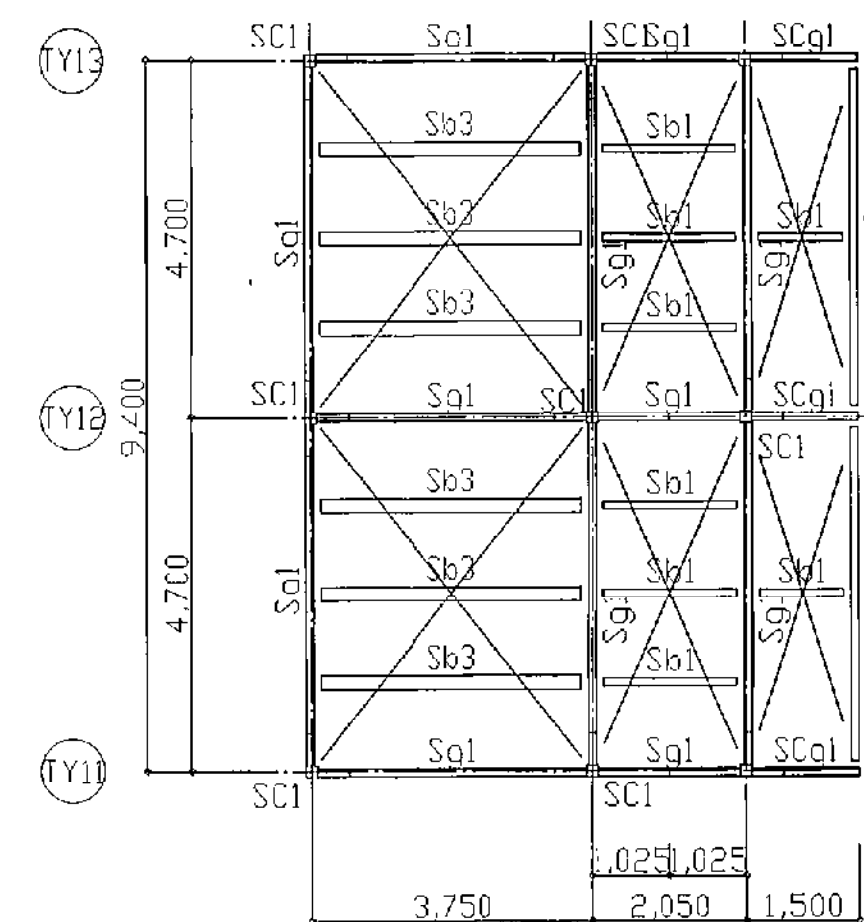
TX1軸組図 1/100

TX5軸組図 1/100

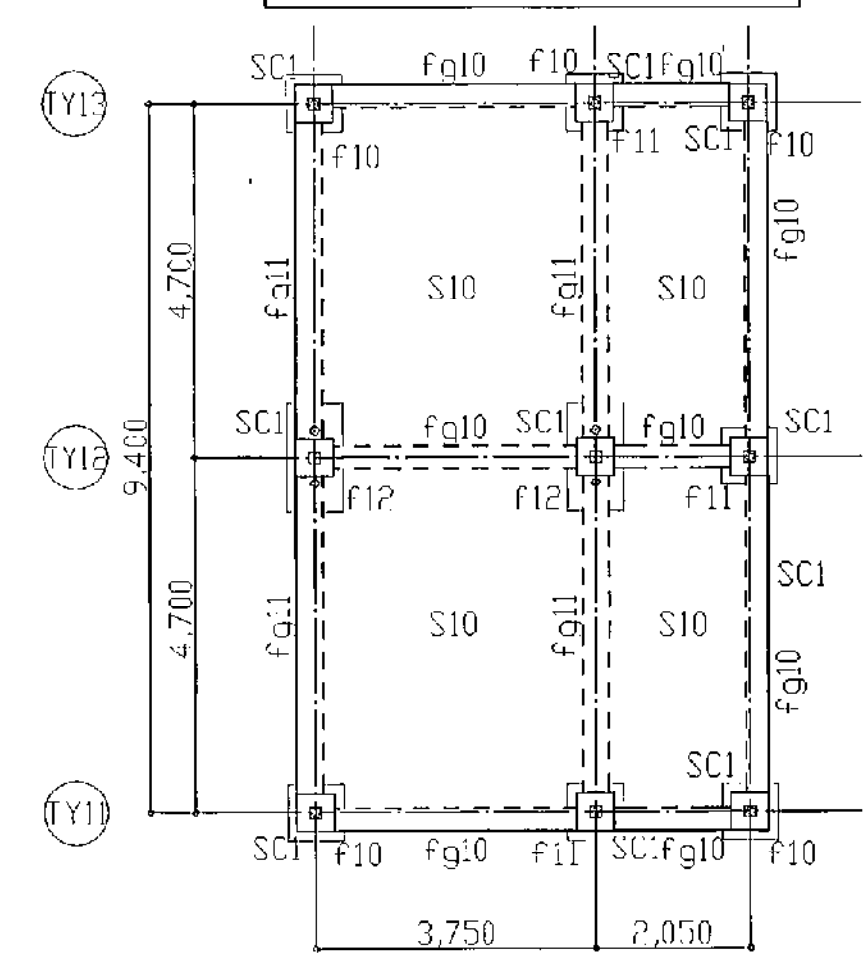
共通

特記なきは下記による
大梁継手位置：柱芯より500
コンクリート打増し
屋根ブレース：BR10

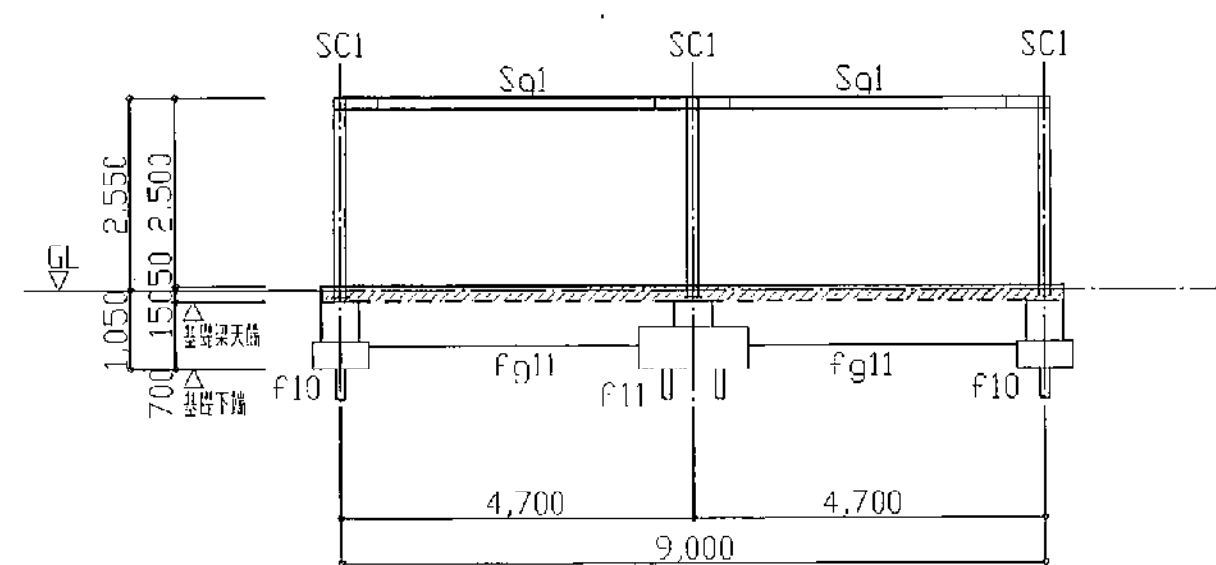
駐車場



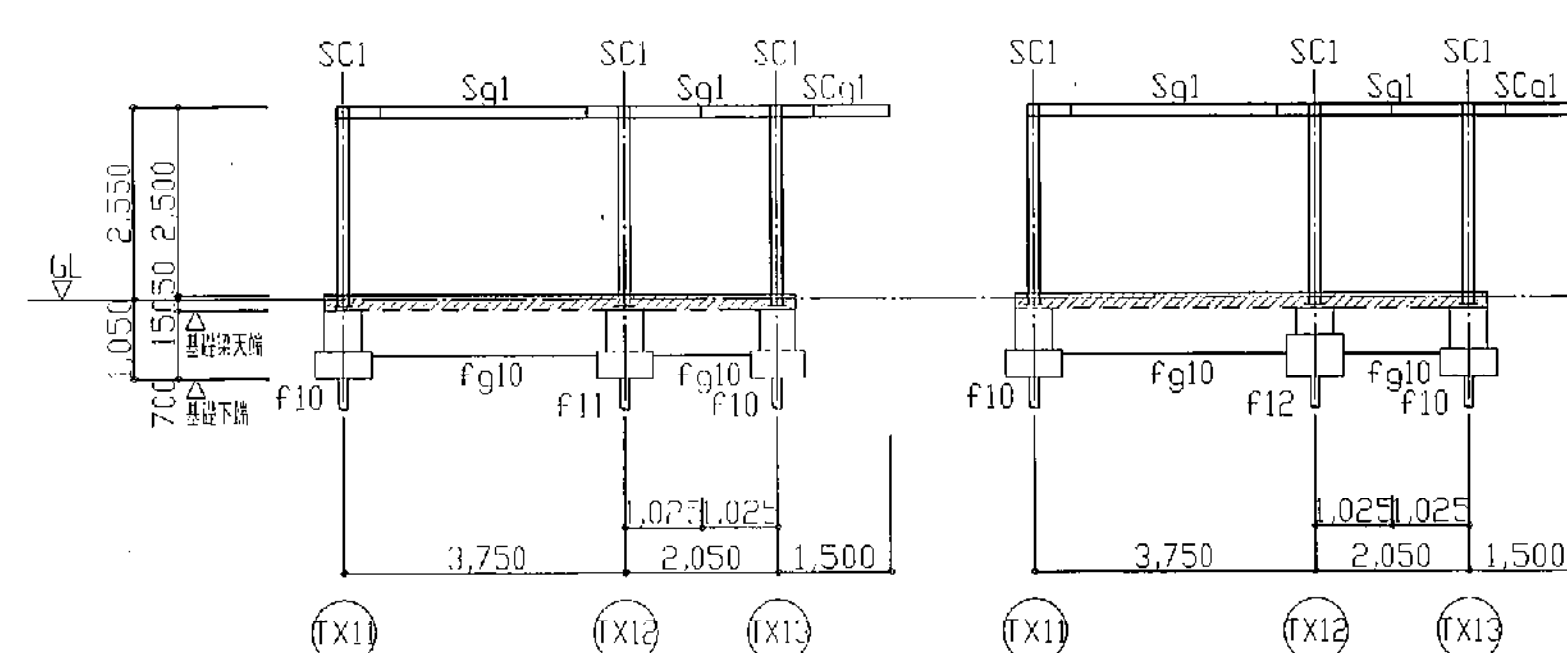
屋根伏図 1/100



基礎伏図 1/100



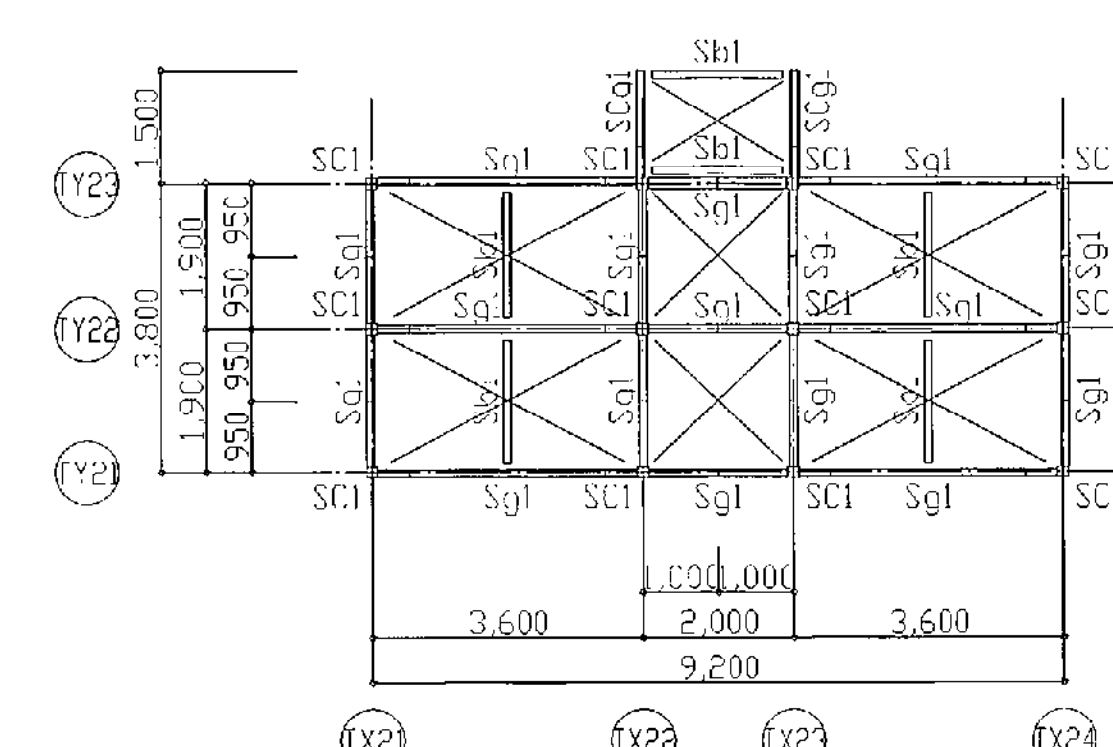
TX11軸組図 1/100



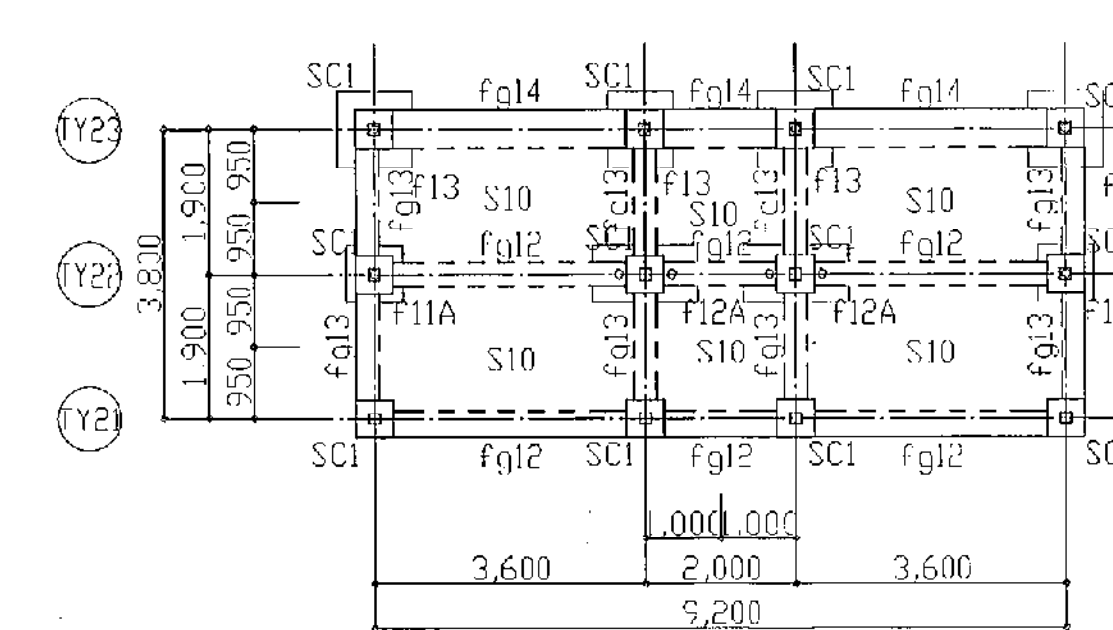
TY11軸組図 1/100

TY12軸組図 1/100

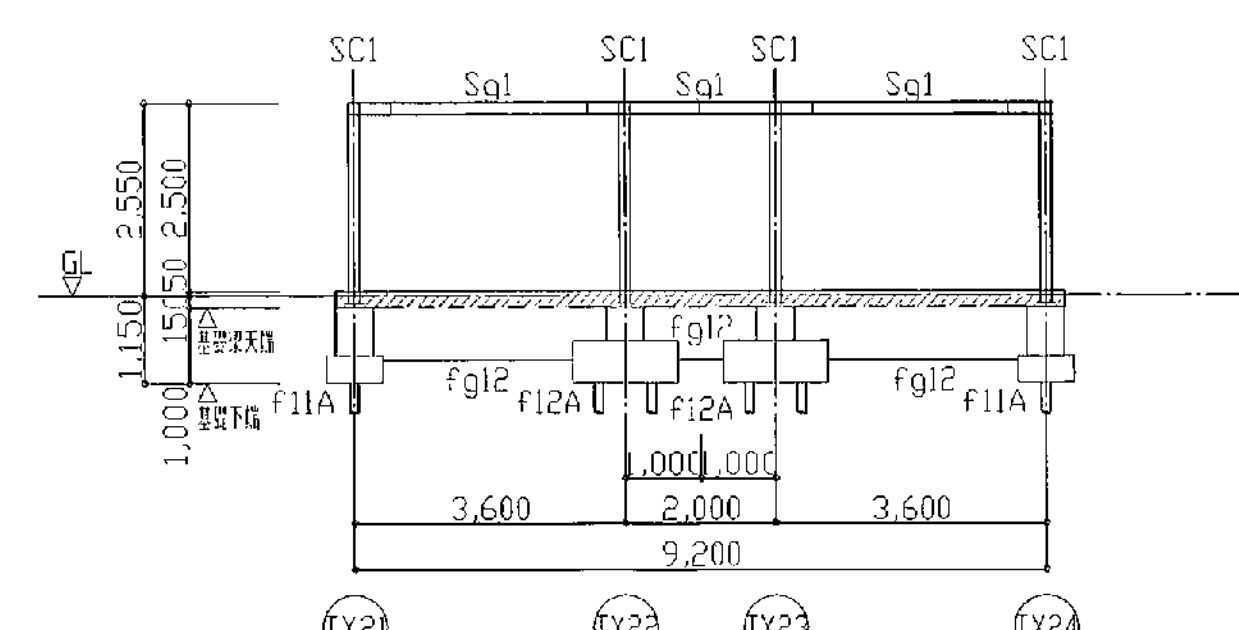
駐輪場 2



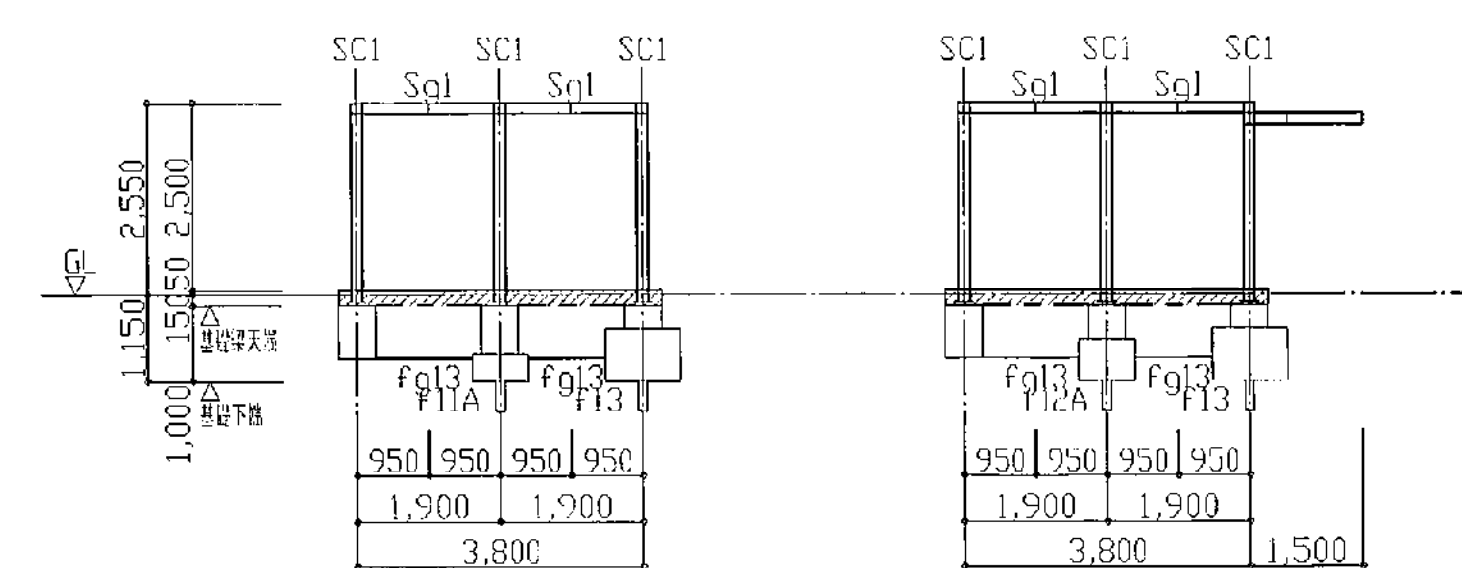
屋根伏図 1/100



基礎伏図 1/100



TY22軸組図 1/100

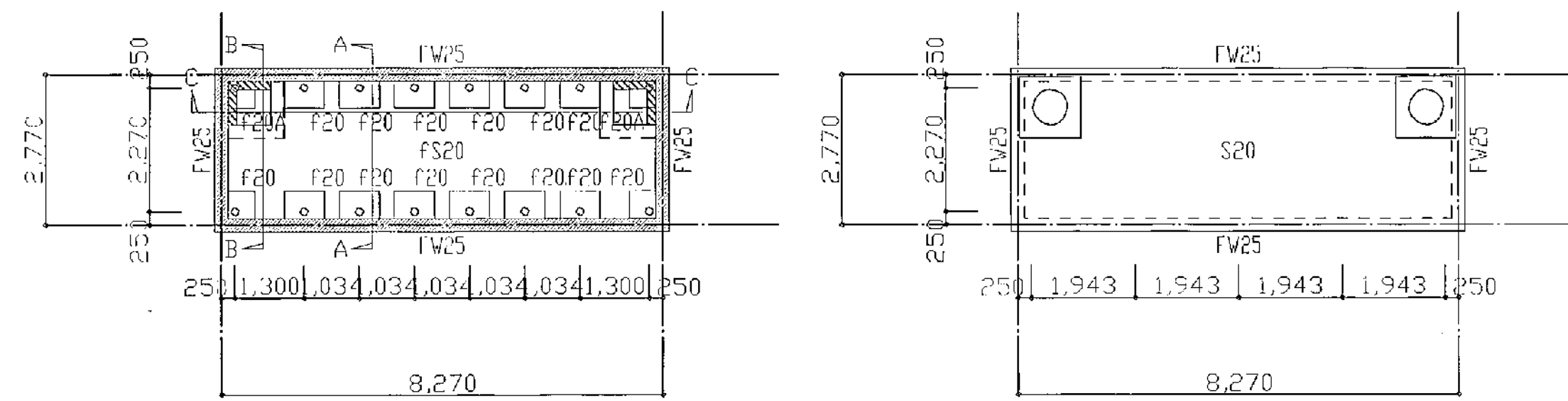


TX21軸組図 1/100

TX22軸組図 1/100

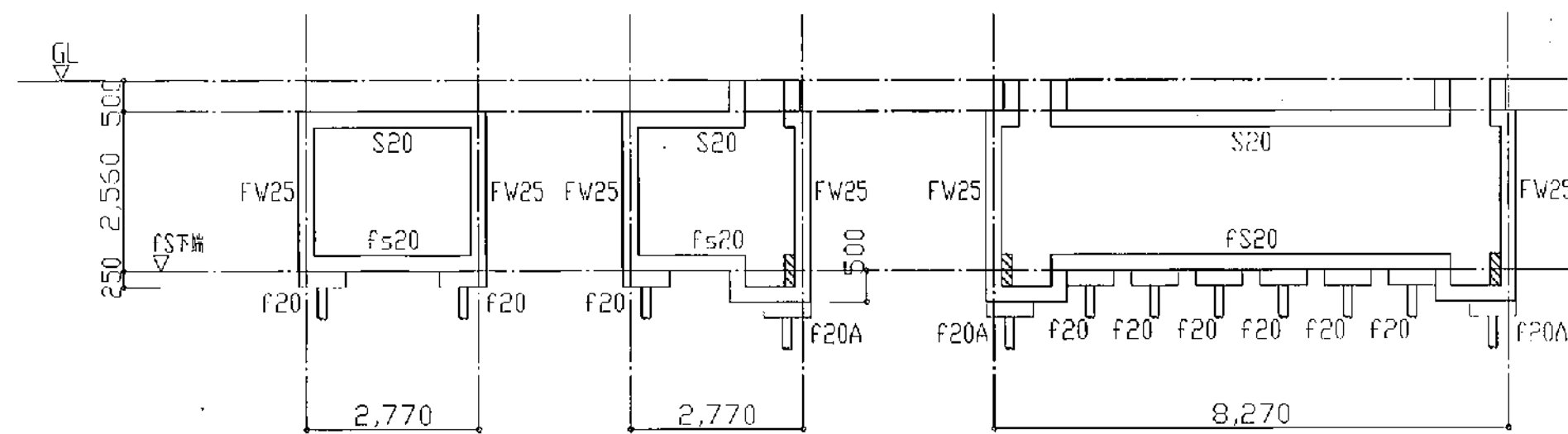
工事名	〈飯林〉西部福祉会館新築工事（建築）				
図面名	外情（１）	縮尺	１／１００	設計年月	2008.04.07
承認	課長 田中 昭彦	担当 合	係 橋本 裕	チェック員番号	図面番号
継続				09-0960	B-21
設計者	清田育男計画設計工房 Saita Yasuo atelier			平塚市 まちづくり事業部	建築住宅課

防火水槽



基礎伏図 1/100

伏図 1/100

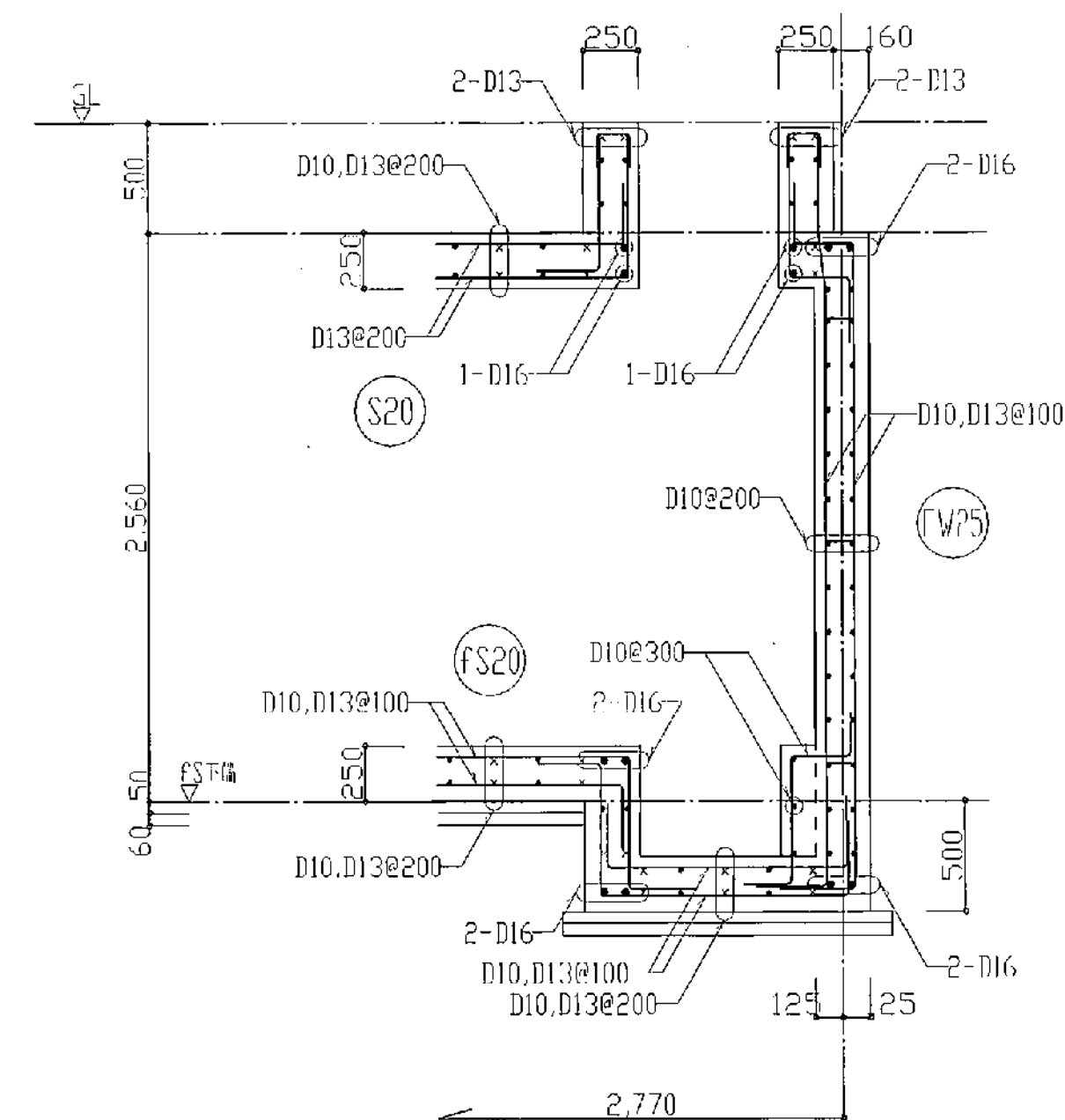
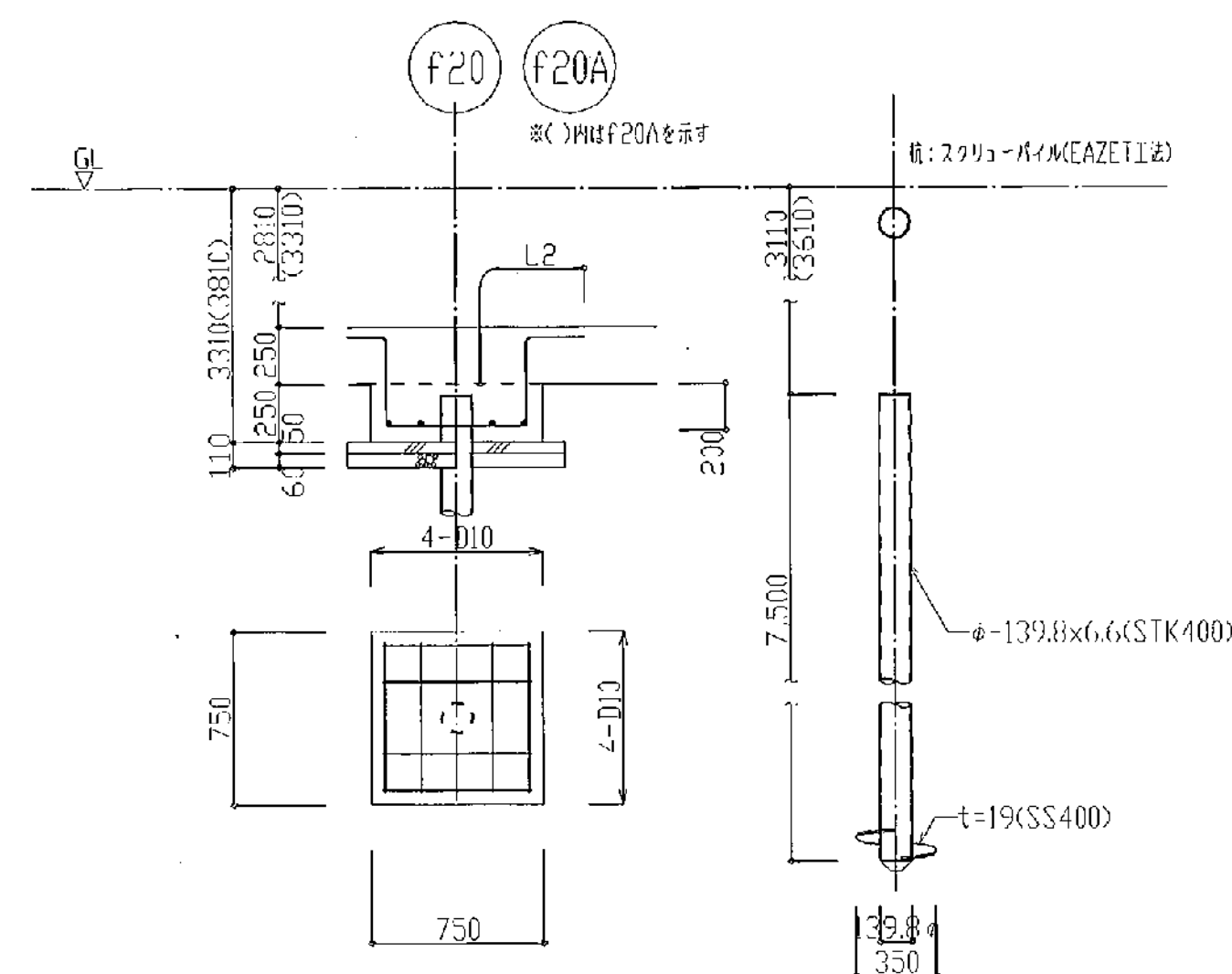


A断面 1/100

B断面	1/100
-----	-------

C断面 1/100

基礎リスト 1/30



配筋詳細図 1 / 30

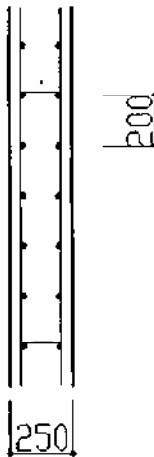
※定着長さは35d以上とする

スラブリスト

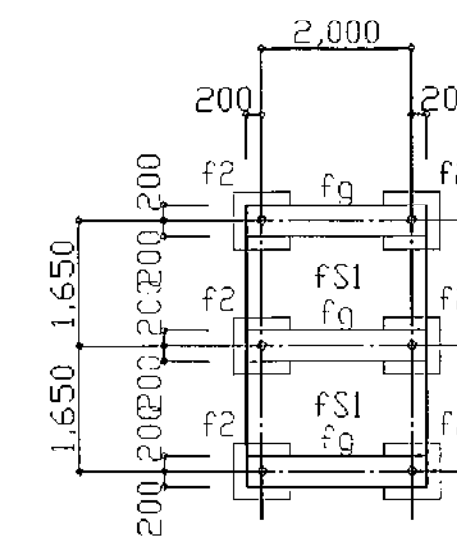
記 号	スラブ厚		短 辺 (主 筋) 方 向		長 辺 方 向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
S20	250	上端筋	D13@200	D13@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	
FS20	250	上端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	給コンクリート t=50
		下端筋	D10, D13交互@100	D10, D13交互@100	D10, D13交互@200	D10, D13交互@200	砂利 t=100

壁リスト 1/30

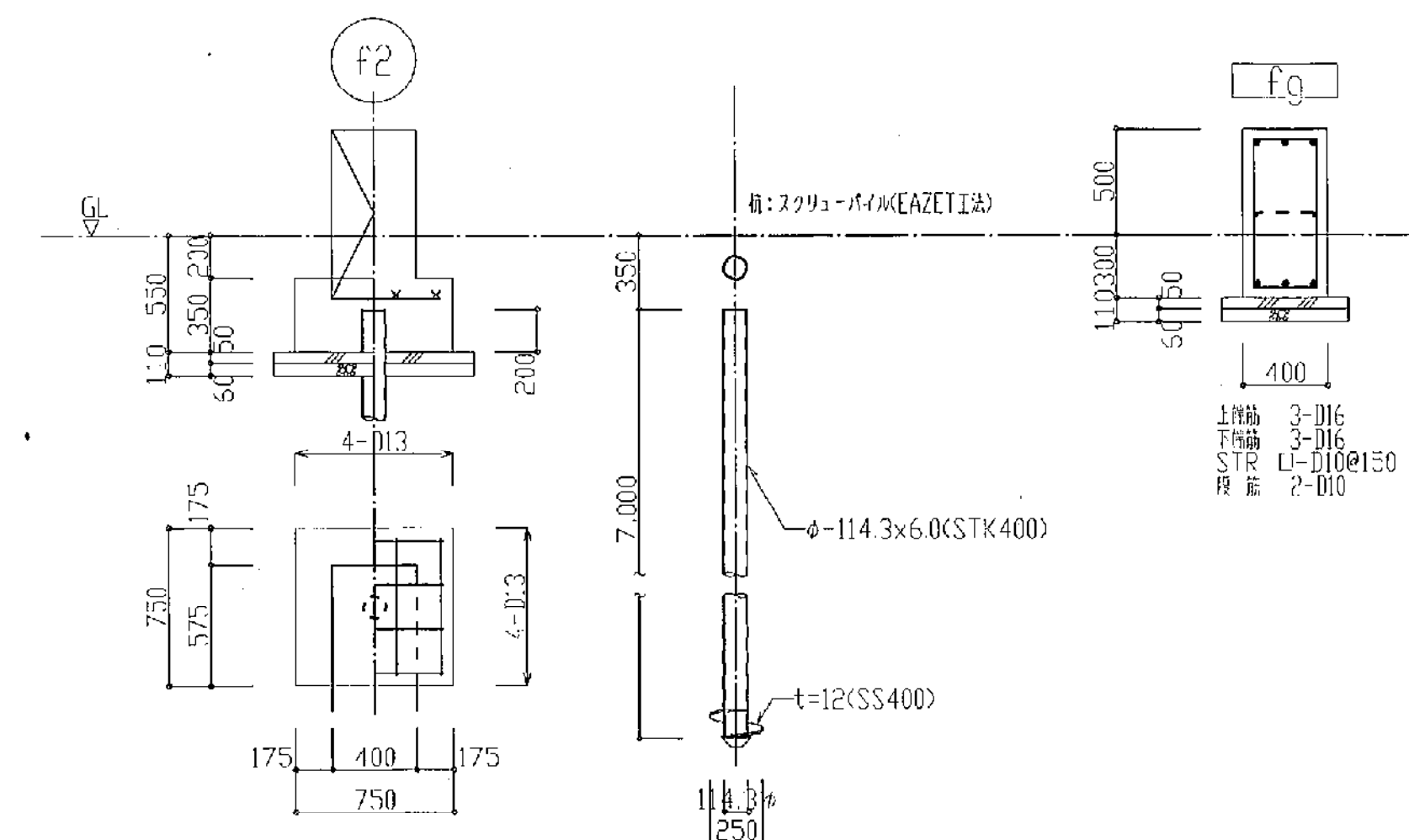
特記事項 1. 中止め筋 D10@1,000以下

記 号		FW25	
縦 断 面			
主 筋	縦 筋	D10,D13@100ダブル	
	横 筋	D10@200ダブル	
間 補 強	縦 筋	—	
	横 筋	—	
	斜め筋	—	
備 考		端部タテ補強筋 4-D16	

受水槽基礎 1/100



基礎・基礎梁リスト 1/30



スラブリスト

記 号	スラブ厚		短 辺 (主 筋) 方 向		長 辺 方 向		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
FS1	180	上端筋	D10、D13交互@200	D10、D13交互@200	D10、D13交互@200	D10、D13交互@200	給コンクリート t=50
		下端筋	D10、D13交互@200	D10、D13交互@200	D10、D13交互@200	D10、D13交互@200	砂利 t=100

工事名		〈俗称〉西郷神社会館新築工事（建屋）			
図面名		外構（3）		縮尺	1/100,30
備考		図主	設計年月	2008.04.07	図面番号
承認	建築士	設計者	設計番号	09-0902	B-23
清田育男設計工房 Seita Yasuo atelier	平塚市	まちづくり事業部	建築住宅課		